

アダムスキー秘話特集

UFO contactee

GAP-JAPAN NEWSLETTER



UFO・超能力・宇宙哲学

コンタクティー

金星から知的メッセージを受けたマリナー2号

AUTUMN
1989

アダムスキーに会った唯一の日本人②

宇宙哲学で奇跡を起こす方法

ヒーリングとテレパシー オーラ透視と反復思念で病気を治す

テレパシー現象の医学的考察

〈連載第9回〉

UFO-宇宙からの完全な証拠

106



〈巻頭言〉 UFO問題の意義	1
金星から知的メッセージを受けたマリナー2号	G.アダムスキー 2
アダムスキーに会った唯一の日本人(2)	向井 裕 10
宇宙哲学で奇跡を起こす方法	久保田八郎 16
ヒーリングとテレパシー	遠藤 昭則 22
テレパシー現象の医学的考察	N.H.M.D. 28
楽しい横浜支部月例会	山木 益巳 30
私は不思議な物を見た	篠崎 典子 31
〈写真〉 富士吉田市上空のアダムスキー型円盤	河合 清美 33
科学—SCIENCE	34
GAP短信	36
UFO-宇宙からの完全な証拠(連載第9回)	ダニエル・ロス 38
本誌/バックナンバー掲載記事目録	45
〈報告〉 山形・仙台合同支部大会／大阪支部大会	46
〈予告〉 長野支部大会	47
〈投稿欄〉 ユーコン広場	48
〈予告〉 1989年度日本GAP総会	49
〈広告〉 アダムスキー全集／英文版ユーコンNo.5／編集後記	50
日本GAP全国月例研究会案内	51



◆金星人からジョージ・アダムスキー
に伝えられた金星のシンボルマーク。2つの图形の内、左側は宇宙
の父性原理(陽)、右側は母性原
理(陰)を意味する。円は宇宙をあ
らわしている。

GAPについて

GAPは「知らせる運動」という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について“知る”機会を与えられるべきであるという見地に基づいて1959年にジョージ・アダムスキーによって創始されました。彼の願いは「最大多数の人が現代の真実を発見して、来たるべき時代に眼を転じること、人間はすべて“コズミック・パワー”的であり、そのパワーの諸法則が宇宙に満ちている事実を確信をもって知ること」にありました。この諸法則は他の世界（惑星）から来る友好的な訪問者からもたらされた“生命の科学”的理解を通じて得体できます。

日本GAPの目的はUFOとスペース・プラザーズ問題を関心ある人々に伝えることにあり、奉仕活動を通じて真実の解明と宇宙の法則の実践を呼びかけることがあります。その中心思想は次のとあります。

1. この太陽系の他の惑星群には偉大な発達をとげた人類が居住しているが、米ソ等の大団政府はこの真相を隠している。
2. 他の世界から来る人々はこの世界の政治家や科学者とひそかにコンタクト（接触）しており、危機にひんした地球に対して救援の手をさしのべている。官民を問わずスペース・プラザーズとコンタクトしている人々が少數存在すると思われるが、通常その真相は洩らされていない。
3. ジョージ・アダムスキーがもたらした哲学は、人類の精神の向上と地球の輝かしい未来を築くために不可欠のものである。

本誌は他の団体・個人と対立するものではなく、政治・宗教と関係のない非営利刊行物です。本誌が読者に対して多少とも役立てば幸いです。

表紙写真

スイス・アルプスのUFO

1959年7月31日、スイスのローザブランシュ山でウイーンのフランツ・ローワー氏が撮影したUFO。先端のオレンジ色光体のうしろに長い航跡が残った。

昭和二十八年にアダムスキーと文通を開始して以来三十六年、昭和三十六年にアダムスキーの要請で日本GAPを創立してから二十八年が経過した。まさに「光陰矢の如し」で、いつのまにか昔日の豊かな長髪は離散し、禿頭の年代になってしまった。その間無数の人に接触し、無数の出来事が身辺を去来した。アダムスキーを中心とするUFOと宇宙哲学の研究促進活動で世界中から膨大な資料を入手し、海外各地を調査し、隠蔽事、驚異的事実等の情報に接して、社会の裏面



再度表面化してきたのかもしれない。それはともかくとして、信・不信の渦巻いた過去三十六年間のUFO研究界を回想すると、UFO研究は人間研究に帰結すると称しても過言ではない。同じ人間でありながら一つの問題に対する信・不信の想念が生ずるのか。してなぜ信・不信の想念が生ずるのか。信する者同士でなぜ争うのか――。こうした事を心理学的、精神分析学的に研究しても始まらないが、始まるのはUFO問題に深く関連する人間の直感力の面である。カントの『純粹理性批判』をまつまでもなく、この直感力なるものが経験から得る知識よりも重要だと思われることは多数のUFO出現にまつわる目撃者の特殊な感覚や想念の状態である。ここに力を發揮するのだが、アダムスキーは昔からこのことを唱えていた。超常的直感力を基盤とするテレパシー、遠隔透視（オーラ透視はその一種）、未来予知その他の能力は万人の内部に潜在するのであって、これは二十一世紀の重要な研究対象となるだろう。

そうしたいわゆる超能力の、超の字を除いた能力開発も現在は隆盛を極めようになつた。国内だけでも民間の研究機関は十数に及び、しかも開発原白人文化に弱い日本人研究者はこうした源泉から出る情報に簡単に踊らされて国内で論争を展開する。

だが現在はアダムスキー問題に関するこのような状況は大きく変化している。UFOの存在を信ずる人が増加し、必然的に大気圏外に目を向ける傾向が

アダムスキーはUFO研究家であつたばかりでなく、昔から精神的な方法で多くの人の苦悩を解消させ、難病患者にヒーリング（精神的治療）を施して多くの奇跡を起こしたと、側近であつた故アリス・ウェルズ女史が直接語ってくれたことがある。

われわれはUFOの推進法を科学的に研究し、時代遅れの噴射推進の次元をはるかに超えた重力場エンジンを開発して本物のUFOを建造し、惑星間旅行を実現させることを望んでいるけれども（マルヒ情報によれば、すでに某国が完成させて飛ばしているといふ）、絶対に軍事目的に使用されではならず、あくまでも平和利用でなくてはならない。それには五十億の人間の友好と調和の確立が先決問題である。

したがつて今後地球人は総力をあげて平和な惑星を建設する必要がある。この世界のあらゆる国の軍備を撤廃させ、全世界から殺人用の拳銃一挺、ナイフ一本に至るまで根絶させ、平和産業の興隆と共に科学力を医療面、宇宙開発、衣食住の確保に向けさせて、我らしめた上、先進惑星群の仲間入りをする、というビジョンを持つ編者のよ

うな人間が一人ぐらいいても悪くはないだろう。ドンキホーテと喧われようが、この理想の旗のもとに馳せ参る人たちの想念波動が、ごく僅かでも周囲に良き影響を及ぼすならば、その輪は広がりこそすれ縮むことはない。

こうして少しずつ輪を広げて平和な惑星にしようというのがGAP活動である。そのためにはまず私たちが精神の向上を目指し、自己の内部に眠っている偉大な能力を引き出して自分自身をスーパーマンにする必要がある。われわれの言う超能力とはスプーン曲げの次元ではなく、絶大な信念の力を応用して劣敗の人生を勝利のそれに変換させるパワーを意味する。そしてそのパワーで他人をも救うのである。苦悩する人に光明を与え、難病の人を癒やし、人と調和して住みよい世界を築こうというわけだ。

そこで今秋の日本GAP総会は超能力者三名による能力開発セミナーとした。これは鬼面人を驚かせる実演会ではなく、人間に大いなる勇気と自信をつけ大変化を起こさせる方法を伝授するための講習会である。しかも平成元年を一代精神革命をスタートさせるための転機として、『愛と幸せのため』と銘打つて、そのノロシを日本GAPが打ち上げる意味で総会を開催するのである。総会の案内は本号49頁に出ている。非会員の方も歓迎するので多数出席されたい。

（久）

Intelligent Message from Planet Venus
by George Adamski / Translated by Hachiro Kubota

UFOの真相 (1)

ジエージ・アダムスキ
★★★久保田ハ郎訳

金星から知的メッセージを取れたマリナー2号

一九六三年五月、ベルギー、アントワープにおける講演会に出席したアダムスキーは、二十四日個人の私邸において数名の出席者と長時間対談し、多くの質問に答えた。この記事は録音テープから収録した連載第一回分。だれも知らなかつた数々の秘話が興味深い。

►一九六二年八月二十七日深夜打ち上げられた金星探査機マリナー2号。

政府はUFOの実体を隠している

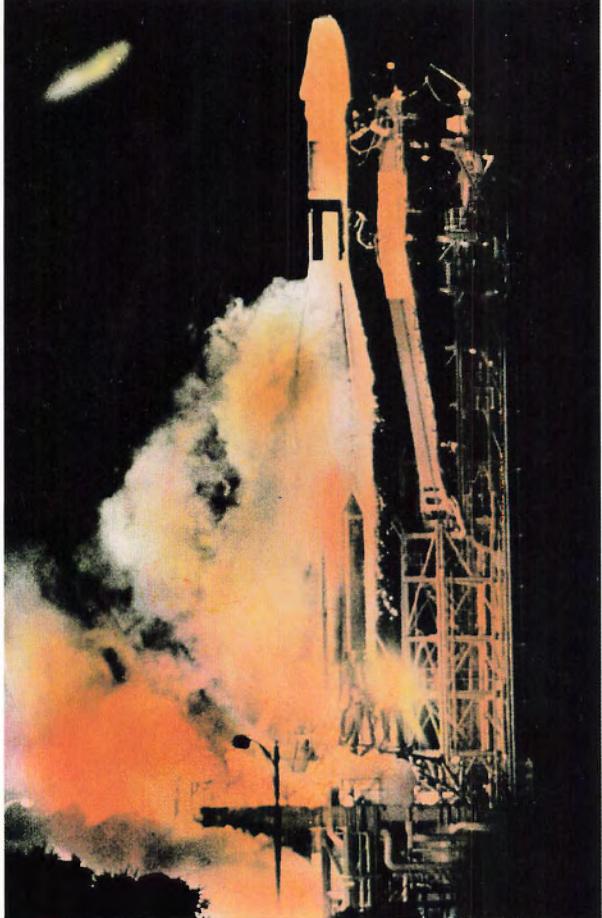
一九六一年、六二年の二度にわたつて、ソ連、アメリカ、イギリス、フランスの各政府は、宇宙空間に浮かぶ一個の物体を確認した。そしてミサイルを搭載して攻撃準備をした敵ではないかと考えた。軍は通報を受けて警戒態勢に入つたが、民間には知らされなかつた。軍は宇宙空間のその物体を注意深く観察した。

ところが、しばらくしてから、この物体が静止しているように見えた。それは宇宙空間の一ヵ所に静止していたのだ。

そこで彼らは考えた。
「宇宙空間で静止できるような物をアメリカではまだ開発していない。ソ連

がそんな物を開発したとは思えないから、ソ連のミサイルでもないだろう」
それで彼らは技術者と数学者を集め、この物体までの距離を計算させた。その結果、距離は地球から約四千八百キロあることがわかつた。

だれでも知つていたことだが、当時、



アメリカ、ソ連、その他の国が、四千八百キロ彼方の宇宙空間に物体をじつと静止させるような技術は持ち合わせなかつた。そこで政府はその物体がUFOであるという結論に達したのだ。

しかし、全軍はいつでも核ボタンを押せるように命令を受けていた。大衆はこのことを知らない。政府は大衆をパニックにおとしいれたくなかつたのだ。

われわれはきわめて微妙な状況にある。大衆は言う。

「なぜスペース・ピープル（異星人）はひんぱんに、多数でやつて来ないのか？」

もしひんぱんに多数で来れば、大衆は異常に興奮し、恐れて、核の発射ボタンを押しかねないだろう。騒ぎがおさまつてから人々は次のように言うか

もしない。

「スペース・ピープルのせいでこうなつたのだ」と。

――政府はこうした状況を把握しているのか。

「政府は知っている。だから政府はとても慎重なのだ。間違いをおこしたくないのだ。このために事件が発生した後、米ソ間にホットラインが設けられた。フルシチヨフとケネディーの間に話しあうことができる。

アメリカのUFO特別調査委員会の最終結論としては、未確認の部分が十パーセントあるというものだった。この数字は大きい。十パーセントが未確認だといわれているけれども、彼らが未確認というときには、それは「わからない」という意味ではなく、政府は正体を知っているのだが、それらに名前をつけたくないのだ。

▲ジョン・グレン中佐 (John Glenn)



UFOを撮影したジョン・グレン

たとえばジョン・グレンは宇宙船に乗って軌道を回りながら、いわゆる宇宙の「ホタル」を撮影している。

私がこの旅行に出発する頃、今から一ヵ月前のことだが、全国ネットのテレビ画面にカメラ（複数）が写し出されていた。それはケープ・カナベラル基地から発射されるミサイルの急速撮影用のカメラと同型のものだということがだつた。

そこでこのカメラの説明をしていた男が、「ジョン・グレンがこのカメラの一台を使って撮ったフィルムをお見せしましよう」と言つた。

〔訳注〕一九六二年一月二十日、米海兵隊のジョン・グレン中佐の乗るフレンドシップ7がケープカナベラル基地から打ち上げられて地球を回る軌道を三周して着水した。彼は宇宙飛行中に不思議な「ホタル火（複数）」のような物を見たと発表して大問題となつた。この後は宇宙飛行士たちに箱口令がしかれたといわれる。

その男はフィルムに写っている物体については何も言及しなかつたが、その左隅には——この写真が放映されたのは約三秒間ぐらいか、もつと短時間だったかも知れないが——完全な形をした空飛ぶ円盤が見えたのだ。しかし男は何も言わなかつた。

このようなことはよくあるのだが、防省はそれらに名を付けたがらない。そしてただ「未確認」と呼ぶだけだ。しかし私たちほどから来る「確認」しているのだが、大衆にとつては未確認なのだ。

――UFOは高次の振動を用いるためにはもつと現実的な見方が必要だ。たとえば時速九百六十キロで飛んでいるジェット機を私たち見ることができる。そして速度を上げないで同じ九百六十キロで飛んでいるのに、あつというまに見えなくなる。それを見てあなたは、それが空気をイオン化するからだ。いや、ただ視界から消えただけのことだ。ただそれだけだ。ほとんどの円盤はそのままに作動しているのだ

――でもそれは実際に発生したことないだろう？

「いや、そんなことはない。実際はこういふことなのだ。

UFOは、いわゆるフォースフライ

ルドを作り出している。この次に出る私の著書の中でジョン・グレンが言つているのだが、彼は宇宙船の中から雲（複数）を見ている。そしてそれらの雲の中にも光の玉のような物が見えたと言つている。

――この光の玉が円盤で、その雲はフォースフィールドが作り出したものだが、そのフォースフィールドは透明なものではなく、かなりぼんやりした、相当に密度の濃いものだ。

――でもそれは実際に起つたのだ。

云々のよう見えたのだ。なぜならその部分の放射線が強烈なために、その結果発生する輝きは、当然、雲が反射する光よりも強いからだ。

――そのフォースフィールドが雲のように見える理由を説明されたい。

「それが空気をイオン化するからだ。いわゆる静電気または円盤から発せられる負の放射線によつて空気がイオン化されるのだ。それは加速するのではなく、逆に減速することによつてイオン化する。

――でもそれは実際に発生したことないだろう？

――水を例にあげよう。それが蒸発するときに、蒸発する状態は見えない。この理由は水が蒸発するときは速度が上がるからだ。ところが水が今日のよう

に雨となつて落ちてくるときは、その活動を緩慢にする必要がある。そして活動が緩慢になればなるほど、それは目に見えやすくなる。

――ということは、フォースフィールドが雲を形成するときは、その振動が高まつているのではなく、どちらかといふと低くなつてゐるのだ

――するとその雲はイオン化されて出

来るのか。

「そのとおり」

—UFOが大気圏外にいるときは何をイオン化する必要があるのか。

「大気圏外ではUFOは急速に飛ぶ雲外にいて、しかも事情がわからないとすると、急速に動く輝く雲のように見えるだろう。

しかし宇宙空間は暗いので、円盤はその中を進行するわけだから、円盤は動く星のように見える。普通の星はそんなに動かないが——。とにかく円盤はすごく速く動くから、船体の輪郭さえも見えない」

フォースフィールドとは何か

——その磁場はエンジン自体が作りだすのか。

「フォースフィールドというのは負の放射エネルギー帯だ。それは円盤または母船から放射され、いかなる破片やホコリの粒子、小さな隕石等さえもはじきとばす。

だからジョン・グレンが地球を回る軌道を飛んでいるときに宇宙の『ホタル現象』を報告したとき、それらが一つとして宇宙船や窓にぶつからなかつたと言つてゐるのだ

——彼がうまく切り抜けたのか。

「いや、違う。傷のつかない窓はない。カリフオルニア州の砂漠地帯へ行つたとしよう。時速三十ないし五十キロの

風が吹いてゐる。そこにはサハラ砂漠と同じような細かい砂がある。時速三十キロの風がその砂を舞い上げる。だからそのハイウェーを車で走つたらば、車のフロントガラスやボディーにすごく沢山の傷がついているのを見えて運転者は仰天するだろう。

さてグレンは時速二万八千キロで飛んでいた。これはものすごいスピードだ。たとえ粒子群が静止していたとしても、彼の乗つている船体がそれにぶちあたついたら、それに傷がついたはずだ。しかしうづからなかつた。その宇宙船には傷一つなかつたのだ

——スペース・ピープルは、なぜ公式な形で権力者たちと接触しようとしたのか。

「大国政府で異星人とコンタクトしない政府を私は知らない。皆、何らかの方法でコンタクトしている。その他の小さな国と政府との接触もあった。私の知る限りでは、現在、金星、火星などに送る目的で宇宙船を建造中の政府はすべてスペース・ピープルの援助を受けてゐる。

オーベルト教授の重大発言

私はある研究所に八日間いたことがある。そこには少なくとも六人の男がいたが、そのなかにオーベルト教授がいた。これは一九五四年のことだ。彼はペリー航空機会社に勤務していた。彼は

『私が?』と聞くと、彼は

パキスタンとメキシコの凄い事件

もう一つ面白い話がある。一九五九年、私はパキスタンのカラチに立ち寄った。飛行機の給油のためにわずか三時間しかそこにいなかつたのだが、そのとき政府の役人たちがやってきて、私に挨拶した。



▶ヘルマン・オーベルト (H.Oberth)

当時、このオーベルト教授も一緒にいた。

（訳注）ヘルマン・オーベルトはドイツのロケット工学の権威者。物理学と數

学の教授で、一九二三年に宇宙空間を航行するロケットの基礎理論を確立し、

後にフオン・ブラウンらの協力で開発した円錐エンジンは、ドイツのロケット工学の進歩に重要な役割を果たした

た。

そのときオーベルト教授が私に言つた。

『われわれだけでは、とてもこんな素晴らしい科学の進歩はとげられない。私たちはずつと援助を受けてきたんだ』

私は彼の言う意味を理解してゐたが、

もつと彼の話を聞きたかったので、「そ

れはどういう意味なのか」とたずねた。

すると彼は『このことはあなたも知

つておく必要がある』と言うので、

次にメキシコを例にあげよう。二年

前、巨大な宇宙船がメキシコを訪れて

いる。その宇宙船はメキシコの航空機のあとを一定の距離をおいて飛行し、ついにはその航空機と並んで着陸したんだ。そこにいたすべての人があそれを目撃した。

これはメキシコの新聞が報じたことだが、だれ一人として首をかしげる者はいなかつたそうだ。

宇宙船の窓を通して、その中にいた人々の顔も見えた。地上に四分間停止したあと、飛び立つたということだ。恐怖心を持たない政府は情報を公開するだろうが、恐怖心を持つ政府は公開しないだろう。もちろん皆さんがあるじのよう、アメリカ、イギリス、ソ連、そしてフランスさえも、UFO問題にかかわっている。これらは戦争を引き起こす力を持つ国だ。そしてさまざまな装置を使って突きとめたスペース・ピープルに関する情報を彼らは公表しようとしている。

しかし（別な惑星から来る）宇宙人が世界中の政府関係者の前に立つことはよく知られた事実だ。ローマ法王もこれに含まれている。

——あの紙に記された文字というか絵というか、あの解説状況と意味について何か話されたい。

「そうだね、確かなことは言えないが、ここで一つ別な話をしよう。

三年前に書かれたある記事がある。それは金星からある信号が送られてきたというのだ。その記事によると、

それは知的な信号だというのだ。信号を受信したとき、それが知的なものか、はいなかつたそうだ。

彼らはそれを金星からの知的な信号だと表明した。アメリカ海軍もそれを率直に言うと、私がここで言えるのは、ここ六、七年のあいだ、金星と私たちの太陽系中の別な惑星群とのあいだに、一つか二つの形式で交信が行なわれてきたのだ。彼らは通信を交わしており、地球人はその信号を解析し、それ以外にも私は沢山の事柄を知っている。

その内容についてはわかっている。これまでに私は沢山の事柄を知っている。

UFO研究の真の目的は

最近かずかずの円盤研究グループが活動している。彼らは自分たちを円盤研究グループと称しているが、実際のところ彼らは研究グループとは言えないと、本を書いている人たちでさえ何もしていないに等しいことがある。彼らがみなやっていることは、ただの目撃報告なのだ。

だれかがUFOを目撲する。それを報告する。出版社がその本を出す。それがだけのことだ。これはUFO研究の目的をなすものではない。それ以上の事を行なう必要があるので、だから彼

らは何も得るものはない。混乱があるだけだ。

しかし本当のところ、政府関係者はほとんどの真相を知っているのだ。UFO目撃事件に関心はないのだと表明した。アメリカ海軍もそれを受信して解説の作業を進めていた。

大学にせよ高校にせよ政府にせよ、これらはUFO目撃事件に関心はないのだと。目撃も着陸も一回あれば充分だ。むしろ彼らに関心があるのは円盤の推進法、乗っている人々、その人々の知識、地球人よりもいかに進歩しているか、などにある。そうなるとUFO研究グループが目撃報告を毎日のようになりしているのと同じように、この種の情報が毎日のように大衆へ流されない理由がわかるだろう。

したがって、いわゆる空飛ぶ円盤が登場して以来、活動してきたUFO研究グループは、ほとんど何もやっていないのだ。彼らがやつた仕事といえば、多くの人に関心を持たせた点にあるけれども、最も不幸なことは、彼らがUFO問題に宗教を巻きこんだ点にある。

UFO問題は純粹に科学的なもので、科学的見地から研究する必要があるのであって、大衆全体に知らされるべきものだ。ある特定のグループまたは仲間だけに伝えるべきものではない。

私たちが言えるのは、カトリックだろがプロテスタントだろうが、あなたにせよ他人にせよ、他のだれもと同じほどに知る権利を持っているといふことなのだ。そして何かの特定なスローガンをかけることによって、こうしたグループは無視されている。

したがって私たちちは一つの小さなグループでなしに全世界に状況を伝える必要があるのである。

もし、あるUFOグループが研究をするグループであるのなら、各科学研究所が研究しているのと同じようなやり方で研究をやるほうがよいだろう。何か不明確な物事があって、しかも証明してもらえる。ほとんどの政府は自国の科学研究所でそんなふうにしているのだ。

心靈とは関係なし

研究所では、『だれかがそう言った』『それを証明した』というだけで無視するようなことはしない。今アメリカにはそのような団体があり、研究装置が必要なために多くの金を使っている。それで私たちにはサービスがあるので、それは人々にも向けられている。多くの混乱をまき散らすようなことはしないのだ。そしていかなる宗教とも関係は持っていない。

この数年間、靈媒、心靈家などが、メッセージと称するものを流しているけれども、これは関係ない。

けれども、情報によつて益を得ようとすると人は、靈媒を通じてメッセージを流す。灵媒は神秘性を望むが、そ

れが仕事なのだ。しかし人々はこの声に耳を傾けてはいけない。靈媒のメッセージなるものに、これまで大きなトラブルがあつたのだ。

(訳注)アダムスキーワーク命当時、多数の心靈的なUFO研究団体が存在し、靈媒を通じて宇宙人のメッセージなるものを流していた。ここはそのことに言及したもの)

こんなことは別に、各種の政府関係や研究所、大学またはカレッジが、科学的な角度からUFO問題に入つていつた。そこにこそ真実の情報が存在するのだ。

私はアメリカのあちこちの大学で講演をしてきたが、彼らはあらゆる源泉から出る情報に全く飢えていた。彼らは何か相当な事が発生していることを知つてゐるので、それであれこれと質問をする。当然のことながら教授先生方はそれに答えることができる必要がある。もし先生が解答を持たねば学生たちは別な所へ解答を求めに行く。

私は教授先生方にも講演を行つた。彼らは何が発生しているかをよく知つており、学生たちに答えられるようになるために解答を知りたがつてゐた。学生も知る権利を持つてゐるからだ。学生の生活は未来そのものなのだ。

あらゆる物がエレクトロニクス化され、宇宙飛行はこんどの航空機と同様に日常的なものになるだろう。そして学生たちはついには宇宙船を建造す

るようになるだろう。だから学生たちは今すぐ知る必要があるのだ。

以上が、政府その他の一流研究機関に関する限り、プログラムに組み入れるべき細目の一部だ。学生たちはその分野に非常な関心があるのだ。

しかしこれまでに活動してきた一般的なUFO研究グループ類は、UFO問題をオカルト、心靈、神秘主義、その他無価値な物事でもつてごた混ぜにしてきた

——

事実を調べるのにはどうすれば可能か。

「何かの方法を用いてテストすることが出来ない場合、それが事実であるといふことをどのようにして知ることが出来るだろうか?」推論は基本的な法則の一つだ。理由とか、何かにあつては

まることを探究するための推論だ。といふのは私たちはあいだに谷間を残しながら一つの山から別の山へ飛んで行くことはできないからだ。私たちは着

実な進歩の連続によつて前進してゆく。あなたはこの世で狭い心を持つてはいけない。広い心を持つべきだ。また物事の一側面だけに対し狭い心を持つてはいけない。問題の両側面を調べるような心を持つて、しかもそれを中庸に保つのだ。そうすると何かがわかつてくる。

われわれの教師のほとんどは、一定の教職にあり、まつしぐらに一直線に進んで行く。しかし私たちはずいぶん

いあいだ教科書をおき忘れていること知つてゐる。過去五年間に私たちには以前ならば二百年もかかるような事をなしとげている。したがつて私たちはあまりに急速に進歩したので、教科書のほとんどはすでに消滅してしまい、書の内容ではこれまで考えられなかつたのだ。

私たちはアメリカでのことを知つてきた。コロンビア鉄鋼会社が二年前に明らかにした。次のように言つてゐる。

『われわれはこれまでに光のスピードが秒速十八万六千マイルあると教えられてきた。そして光より速い物はないと思つていて。だが今は光よりも速い物があることをわれわれは知つてゐる。なぜなら光は他の何かの副産物であるからだ。光はただやつくるのではなく、何かがそれを作り出すのだ。』

そこでわれわれが研究をして、一平方センチあたり千二百本の磁力線が流れていることを発見した。この磁力線は光速以上のスピードで進行している。こんなことはこんにちの教科書には書いてないことだ』

——あなたは戦争について話された。スペース・ピープルは戦争を避けると思つた。

『私はその考え方を保ち続けよう。この問題はおしまいにする。というのはわれわれは一点から別な点へ飛躍するこ

となるからだ。それは混乱を起こすことになる。

われわれは磁力線がものすごいスピードで進行することを知つてゐる。磁力線は他の何かの副産物だ。その“他の何か”が何であるかは私たちにはわからないが、それは結果的に生み出された物よりも速いにちがいない。なぜならこのような磁力線などはすべて結果としての産物であるからだ。

黒い太陽

最近、数名の天文学者が出てきて、太陽は実際には黒いのだと主張した。たぶんそのことをあなたは聞いたことだろう。さもなければ青色だ。

われわれにはそのようには見えない。それが当然だ。というのは太陽はいわゆる大気を持っているのだが、それは太陽独特の大気だ。それから光が空間をつらぬいてやってくる。地球上には周囲に大気があるので、光はそれをつらぬく必要がある。そうなるとこれは同じ事とは言えなくなる。それは異質な事であつて、光は屈折によって変化するのだ

——太陽が一種の火の玉だという現在の学説を、あなたはどう信ずるか。『むしろ次のように言おう。数年前、ユーリイ博士が地球の研究に関連して声明を出した。地球はその中心の核に約八万五千ポンドの鉄をためこんでいる

というのだ。もしこのことが千年かそれ以上も続くなれば、地球は太陽系の第二の太陽になるだろう。なぜなら、そうなると地球は巨大な鉄の玉になるだけで、その本体から原子放射線を出すだろう。この放射線は何かにぶつかると、太陽が輝くように、やはり輝くだろう。両側のこの大気状態の反射のために、放射線が輝くというのは論理的なことだ。

(訳注)ハロルド・C・ユーリー博士は一九八一年没のアメリカの化学者。重水素の分光学的確認と分離により一九三四年度ノーベル化学賞を受賞。天体の成因に関する研究も行ない、米UFO研究界ではよく引き合いに出されている。(ハロルド・C・ユーリー博士)

◆ハロルド・ユーリー (Harold Urey)



私たちには太陽は黒かまたは濃青色であつて光つてはいないのだと言つていいのだから、その放射線も同じことをやつてゐるのだ。その放射線は何かにぶつかる必要があるのだ。
だから宇宙空間はいつも暗いのだ。太陽が光体と思われてゐると、人間が太陽の方向に進行し続けるならば、宇宙空間は特に明るくなるはずだが、実際はそうではなくて暗いのだ。
以上の事が意味するのは、太陽の放射線が空間を進行してきて、何かによつかると、それが抵抗の役目をして、そこで放射線が光るのだ。それまでは光つていない。もし空間にホタルのような小物体または宇宙船などがあれば、放射線がそれにぶつかってそれを輝かせる。宇宙空間を動いている星または輝く粒子なども同様だ。それは反射器の作用をするのだ

「それはあなたがどのように意味するらしいが」。

だ。これはちょうど太陽が輝くのと同じことだ。樹木に放射線が当たると同じで、草に当たつても同じことだ。しかしそこに鏡をおいて光を反射させると、集中とはね返りの増強のために、輝きが増す。ここでも同じ事が起ころう。光を放射させるとそれは見えないが、何かに当てると対象物が鏡の役目をして反射するのだ。

あつて光つてはいないのだと言つていいのだから、その放射線も同じことをやつてゐるのだ。その放射線は何かにぶつかる必要があるのだ。

すでに五年前だが、アメリカにはいわゆるブラックライトというのがあつた。特殊な懐中電灯を手に持つて、その光を壁に投げかけると、光のスジが見えず、まつ暗なままで、そのスジが何かに当たると、そこが明るく輝くの

かによる。神秘主義者はエーテル的なパワーを用いるが、それは誤用されている。エーテル・パワーは宗教的なものではないのだが、しかし神秘主義者はそれを応用して大衆を混乱させている。実際問題として電波は放送局からやつてくるが(ここで話は中断)

根源的な不可視の実体

——エーテル体について、もつと説明できるか。

「万物は人間が見るよりももつと精妙で、それが人間の目に見える物を作りだしている」だけど、ここでエーテルというものを明らかにしよう。

あなたがテレビまたはラジオに SST を入れると、放送局から来るメッセージはエーテル波に乗つてやつて来る。この場合のエーテル波はある特殊な波動または特殊なラインだ。これはいわば不可視なラインで、それに乗つてメッセージが進行するのだ。

音楽もこれに似ている。ピアノとうるさい小物には多くの鍵がついている。それだけのことなら何も意味をなさない一つのかたまた集積物を持つことになる。しかしあなたがピアノの演奏法を心得てゐるならば、あらゆる音を出す鍵を組み合わせて美しいメロディーを奏でることができる。

各鍵はそれ自体の周波数、それ自体の音を持っているから、それを組み合

わせて演奏する方法を知らねばならない。

エーテル波もこれと同じだ。これも他の物と同じように実在するものだ。

(訳注)アダムスキーの言うエーテル波と言うのは、物理学で否定されるエーテル波とは別なものを意味するらしい。単極磁気か?)

——あなたはオーソン・ウェルズが書いた『宇宙戦争』という本をご存知であろう。ウェルズはどのようにして火星に生物がいることを知つたのか。

(訳注)ウェルズはアメリカの映画俳優、脚本家、監督として有名であった。

一九三七年、SFドラマ『宇宙戦争』を自作自演によりラジオで放送したとき、蝶のような体をした火星人がアメリカへ着陸して侵略を開始したというドラマを本物のニュースと勘違いした多数のアメリカ人のあいだにパニックが起つたり、自殺者や発狂者まで出た)「大昔、金星人がこの地球に住んでいたことがある。それから木星人が地球へ来て金星人を打倒し、金星人の寺院やその他の物を破壊した。そしてその上に木星人の寺院を建てたのだ」これが遠い大昔の宇宙戦争にたいして私が持つてゐる唯一の知識だ。

書かれた記録のすべてはすでに消滅した。発掘が行なわれるにつれて長いあいだ埋もれていた古代の都市などが発見されている。

カリフォルニア州では一九四五年頃

一つの洞窟が発見された。これは洞窟であることがわかる。大きな丸い石が落ちて入口をふさいでいたからだ。

人々は中へ入ってから二メートル七十センチも身長のある男女の骸骨を見た。そのことは大昔この地球上に巨

人族がいたことも証明している。
私が現代の宇宙戦争について語るとき、オーソン・ウェルズと同じタイプの戦争のことを言っているのではない。

私が知る限り、太陽系のすべての惑星は宇宙船を持つている。宇宙船を持たないのは地球だけだ。

宇宙の人間はみな同じ姿

——あなたは水星に人間がいることを本気で言おうとするのか。

「無数の太陽系のなかに人間が全くない場所」というものを私は知らない。別な惑星にいる人類は、あなたの私と同じような人間だ。そして同じような姿をしている。違う体型ではない。私が地球上のアフリカ、アメリカ、スカンディナビアその他のどんな国へ行こうとも、同じ体型の人間に出会うが、それと同じだ。

表情 習慣、身長、大きさは違うが、体型は同じだ。よそでは体型が違うという理由が私にはわからない。樹木や植物などにしても同じことだ。私は宗教的な人々が用いるような言葉で話すたくないものだから、この言葉を用いるのだから、この言葉を用いてあることがある。大きな丸い石が落ちて入口をふさいでいたからだ。

金星の温度は一セ情報

マリナー2号が金星へ打ち上げられたとき、二千五百六十万キロの所で観測装置に故障が起こつて連絡がとだえた。地上から関係者が直す必要があるたが、それは全くの奇跡だった。関係者は修理をし、二週間ほどの中断の後、探査機は通信を再開した。

(訳注)一九六二年八月二十七日、米航空宇宙局は金星探査機マリナー2号を打ち上げた。マリナー1号は失敗したがこれは順調に飛行し、十二月十四日に金星から三万四千八百キロで近傍通過する軌道に乗るのに成功した)

マリナー2号は金星の温度を華氏八百度と記録した。この公表がなされたとき、あなたはそれが本当だと思ったか? それが真実だとすれば、なぜ米政府は人間の乗り組んだ金星探査機のために百四十億ドルの金を出すのか? もし人間の血液が沸騰するほどに金星が熱いのならば、なぜ人間をそこへ行かせるのか? それなのにアメリカはそれをやろうとして計画しており、莫大な金を使おうとしているのだ。

『われわれが金星へ到着したとき、全体がフロリダ州のように思えるだろう』(訳注)右の声明は全米科学促進協会の一委員から出た言葉として当時の日本新聞にも掲載された)

るのだ。

の雲に突入していたら、金星の地表と雲の間の位置から金星の状態を記録できただろう。だが、それはやつていな

い。

三万四千八百キロの彼方から金星の地表などを観測記録することはまず無い。

しかし彼らは金星探査で得た知的な理だ。しかも装置類は完全なものではなかった。だから、だれかがニセの情報流したのだ! だが大衆は推理する方法を知らないために、その情報を受け入れている。政府はそれを利用した。ある教授が言うように、大衆はそんなん問題で考えようとはしないのだ。

マリナー2号の話に返ろう。それよりちょうど二年前——私はその関係文書のすべてを持つているのだが——アーマリナー2号の話に返ろう。それよ

り度三万一千五百メートルの高空に打ち上げた。その気球には六インチ望遠鏡が搭載しており、地球の大気の干渉なしに初めて金星の写真を撮影した。その結果は立派に公表された。金星は地球よりも水が多いというのだ。それで一流の教授の一人が声明を出した。いまその名前が思い出せないが、私の最後の書物に出てくる。それは次のとおりだ。

『いや、それは言えない。だがそれはマリナー2号から管制センターへ送り返された知的なメッセージだつた。政府がそれを公開するまでには長年月を要するだろう。年月をかけて大衆の中にその問題を溶け込ませ、大衆をその方向に生長させる必要があるのだ。

自動車が出現したとき老人たちはそれを恐れたが、自動車は街路から馬を追つぱらい、馬は逃げた。大衆が自動車に慣れるには時間がかかる。今、大衆は自動車を欲しがつてゐる。車に溶け込んでくると今度はなるべく早く走らせようとする。

オーソン・ウェルズが火星襲来のドラマを流したとき、数千人の人が自殺したのを知っている人はあまりいない。これと同じことを現代に望む人はいないだろう。多数の人が別な惑星に関する何も知らず、信じようともしないのに、「宇宙人がやってくる」などと

金星から知的メッセージを受けたマリナー2号

華氏八百度あるという情報を得たとき、関係者は否定しなかつた。

しかし彼らは金星探査で得た知的なメッセージについては隠している。彼らは金星からマリナー2号に直接与えられた「知的メッセージ」を確かに持つてゐるのだ!

——その内容はどんなものか。「いや、それは言えない。だがそれはマリナー2号から管制センターへ送り返された知的なメッセージだつた。政府がそれを公開するまでには長年月を要するだろう。年月をかけて大衆の中にその問題を溶け込ませ、大衆をその方向に生長させる必要があるのだ。

自動車が出現したとき老人たちはそれを恐れたが、自動車は街路から馬を追つぱらい、馬は逃げた。大衆が自動車に慣れるには時間がかかる。今、大衆は自動車を欲しがつてゐる。車に溶け込んでくると今度はなるべく早く走らせようとする。

オーソン・ウェルズが火星襲来のドラマを流したとき、数千人の人が自殺したのを知っている人はあまりいない。これと同じことを現代に望む人はいないだろう。多数の人が別な惑星に関する何も知らず、信じようともしないのに、「宇宙人がやってくる」などと

言えばどんなことになるか?」

——あなた以外に円盤や母船に乗せられて宇宙旅行をした人がいるか。

「ああ、いるとも。私は七人ほど知っている。私が確認できる人は七人だと確かに言える。これ以外の人たちが書いたコンタクトのレポートが沢山出版されたが、彼らは日和見主義者で、その分野から金を儲けているのだ。あなたは私が儲けているというかもしれないが、そんなことはない。私には今一万九千ドルの借金があり、それを払わねばならない苦境にあるのだ。

書物というものは何冊書いてもお金にはならない。私の最初の著書(空飛ぶ円盤は着陸した)は全くお金にならなかつた。共著者のデスマンド・レスリーがその書の大部分を書いているから、当然のことながら彼が大部分の分け前をもらう。二度目の書物(宇宙船の内部)はかなり良かつたが、六ヵ月間に一通の手紙が来た。一通の手紙に平均五セントから五十セントの切手を貼つて、そのどれにも手紙を出すといふことになれば、莫大な金がかかる。私はあらゆる手紙に返事を出しているし、しかも食つてゆかねばならない。

私が講演などをやって収入がなければ乞食になつてしまふだろう。ところが一方では『円盤に乗せてやる』とか、『地球で大変動が発生したら宇宙船で大気圏外へつれて行って助けてやる』などと言つて切符を売つたりする者も

あり、愚かな人がそれを買つていて

——地獄の沙汰も金次第というわけか。

「そうだ、金次第だ。広い席に座れるか、それとも優先的に予約ができるのだ。こんなことはいつもずっと行なわれてきた」

——あなたは宇宙旅行で実際に別な惑星へ降り立つたのか。

「そう、降りた」

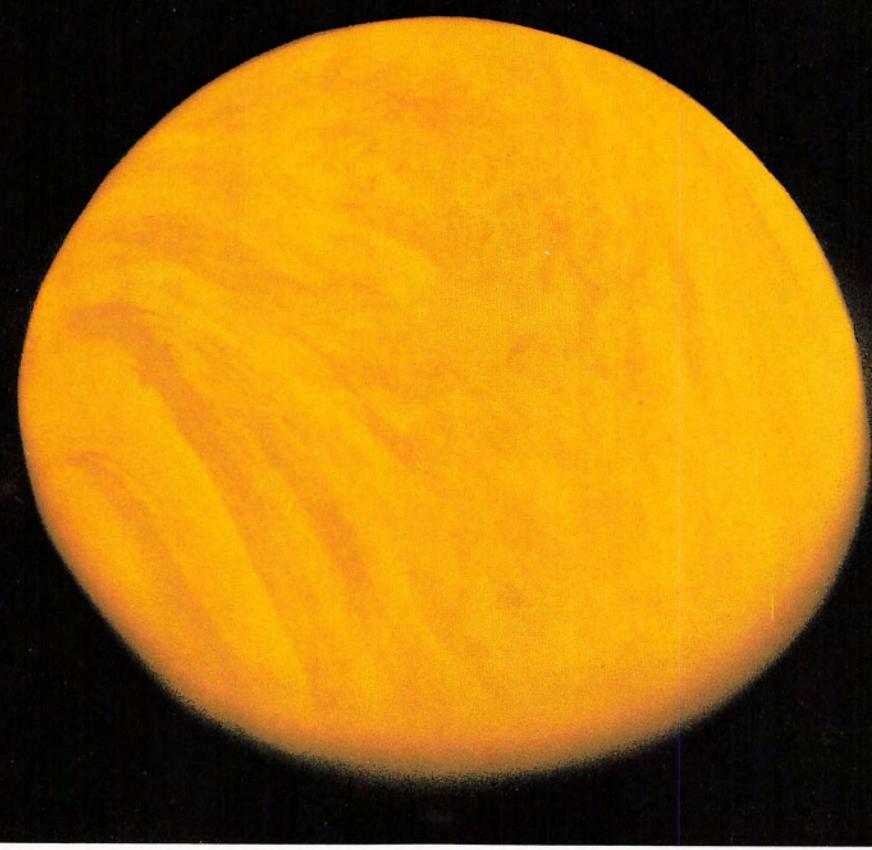
——そこであなたが見た物事について簡単に説明してくれないか。

「そうだね、そこはたとえば私がデンマークに降りたときと変わらない。ただそこにはいろいろ異なる習慣がある

——家などはあるのか。
「ある。ただし非常に異なるデザインの家だ。これは地球上各地で異なるデザインの家がいろいろあるのと同じだ。別の惑星には家庭があり、子供たちもいる。その点、われわれ地球人と変わらないが、違つているのは彼らがはるかに進歩しており、はるかに知的であるという点だ」

——その世界の環境にわれわれが慣れるのはむつかしいか。

「そんなことはない。だれでも慣れるだろう。私がこちらへ来てから寒さに慣れたのと同じことだ」(以下次号)



▲マリナー10号が撮影した金星。

The Only Japanese Man Who Met Adamski
by Yutaka Mukai

アダムスキーニ会った 唯一の日本人(2)

向井 裕(ポール大観)

求道と愛と感動にみちたアダムスキーワン文書簡

はじめに

多くの読者からの感想としまして、
一〇五号のあなたの記事『アダムスキーワンに会つた唯一の日本人』が最も面白

かったという声が各方面からありました」との久保田先生からのお手紙を戴き、ポールもう死んでもいいと思うくらい感激でございます。それに立派な上品な完璧な編集に、会長先生のこの道に捧げる真剣さが伝わつて参ります。有難うございます。お送りいただいた一〇五号五冊は教え子たちに回覧しますして、よろこばれています。

さてお約束のアダムスキーワンの一問一答を思い出す前に、順序としまして、アダムスキーワンから招待状をもらうために私が書き送つた手紙の内容をまず思い出し、ご披露させていただきます。

* * *

アダムスキーワンへの手紙

敬愛するアダムスキーワン様へ

一九六四年六月四日

(大好きだった長兄の命日)

プロフエッサー・ポール向井より

あなたの国アメリカと日本が不幸な戦争をしていたころ、私は陸軍の職業軍人を夢見て六年間軍隊の学生でした。あなたも昔、五年間騎兵隊に居られた。そうですね。日本が敗戦のときまで、大部分の日本人は日本が勝つていると想い込まれていました。いわゆる大

本當发表によつて情報が統制されたりました。だからです。竹槍でアメリカの爆撃機B29を打ち落とせると信じ込まれて

敗戦日本はあまりにも貧困でした。仇討ちどころではありません。私の家族も同様に、食べるものとて何もありません。サツマイモの葉もクキもつる

襲でグラマン艦載機が私たちの頭すれに飛んできても、みんな穴に逃げただけ。私は誰もいなくなつた重機関銃座に走りより、グラマン機めがけて三十発乱射しました。もちろん当たりました。とたんにこわくなり、私もやはり穴に逃げこみました。

ヒロシマ、ナガサキに原爆が落とされて一九四五八年八月十五日、天皇の敗戦宣言が出来ます。それをラジオで聞かされたとき、直立不動の姿勢で立つたままの私は、急にへなへなと地べたに座り込んでしまいました。十四歳のときから神国日本で洗脳されていた私は、私ひとりになつてもタコツボ式穴の中に入つて戦い抜こうと思つていたのに、日本は降参したのでした。くやしさのショックで腰が抜けてしまつたのでした。

復員して帰つた故郷も焼け野が原でした。そのとき私はアメリカに対する仇討ちを考えていきました。私の友だちの一人は腹を切つて死に果てました。私は切ると痛いので生きています。切腹の作法は習つて知つていましたが、切腹の勇気が出なかつたのです。

も食べました。その上、私の家族は病気とたかわねばなりません。大好きだつた長兄の病名はケツカクでした。二十九歳の若さで死別しました。次兄も三十三歳でケツカクで死にます。そして兄嫁もケツカクでこの世を去ります、四人の子供を残して。

大好きだつた長兄が死んだという電報を受けとつた六月四日、私は故郷へ帰ることは出来ませんでした。なぜなら、丁度、私が軍隊の監獄(重営倉)に入れられた日でしたから(筆者注)。投獄の物語は長くなるので省略します)。十八歳のときのこの体験は、出獄してからも軍隊社会の『冷たい白い眼』の経験として、しばらくひきつがれます。自分自身のひがみから周囲の人達の眼が白く冷たく見えるのでした。

兄たちとの死別と求道の人生へ

このときから私は落伍者の道を、裏街道を歩みはじめたようです。逆いえば、何かを求める求道の入口に居たのかかも知れません。ですから敗戦後は兄たちの病気のモトのモトを探りはじめたのでした。

夢に現れた長兄の助言で

アメリカ占領下の日本にあつては、当然英語を勉強しなければなりません。大学受験のために私も英語を勉強はじめました。しかし中学で二年しか英語は習つていません。あとはドイツ語三年、中国語一年、ロシア語一年。全

そんなとき、大好きだった死んだ長兄が夢に現れます。私の名を呼び、「ドイツ語をやれ」というではありませんか。英語で受験する方針をドイツ語に切り替えます。が、ドイツ語の本も辞書もない。探します。医者から借りることが出来ました。この英語ばかりの時にドイツ語とは、スペインでは疑わえたこともあります。結果的にはドイツ語で受験した者はごく少数だったため、全員合格でした。英語受験の人の大部分は落とされました。大好きだった長兄が守つてくれたものと、兄に感謝せずにいた私は、今でも私は夢と現実の境目を知りません。夢も現実も同じものだとさえ思つております。

然の浄化作用が病気だから、捨てておけば必ず病気は治る。退院すれば治る。苦しさや熱は、手のひらで和らげることが出来る。手を当てること、すなわち手当てだ。そういうながら百人の患者を手のひらの手当てで治していきます。私自身が百パーント信じ込んでいるから、どんどん治つてていきます。

しかし三ヵ月後、はじめて患者の死に逢います。大きな疑問が湧いてきます。病気のモトが毒素にあるから、それに逢います。大きな疑問が湧いてきます。病気のモトが毒素にあるから、それ負けて死ぬ。浄化負けのメカニズムがわからない。毒素のモトがわからない。馬鹿目だ。なやみはじめたとき、次々と患者の死の知らせを受けます。完全に中止。そんなとき、毒素のモトは食生活、食物の陰陽のカタヨリにある、といつて食物だけで病気を治している桜沢如一師にめぐり逢うのでした。

ハングー一つ持つて、私の体を試験管とした食物の実験が京都の下宿ではじまります。草ばかり一週間食べたり、肉だけで三日間すごしたり、水ばかり飲んだり、豆の粉だけ、トウモロコシの粉だけ、一品ずつの実験。カキ氷を一度に二十杯食べたり、断食断水をやったり、玄米も食べました。そして、人間の正しい食物とは何か、正食、自然の法則、宇宙の秩序、陰陽を実験するのでした。そして疲れなさい体の状態を求めるのでした。食物学的、生物学的、

学生時代の治療行為と 食生活の探究

陸軍士官学校の教育は最高のものと思いつ込まれていた私は、シャバの大學生を馬鹿にする高慢さも手伝つて、大學の入学式の日、大學へはいかず、京都で、てのひらの治療に入門します。三日間の講習を終えたとき、私は世界中の医者の誰よりも自分が有能な医者になれたと単純に思い込んでいました。大学のことなど忘れて故郷へ帰り、患者の治療に当たります。病院へ行き、入院患者を無理矢理退院させ、治療に専念します。めくらへびにおじずの私は、病気はいいことだといいます。自

大学の講義を受けずに卒業

その当時の日本の大学は自由でした。大学の講義を全く受けずに、卒業試験の十八課目の論文すべてを、「人間の法

律のモトは自然の法則にある。宇宙の秩序、陰陽だ」と書きなぐりました。十八科目のうち、十一科目は六十点の合格。一科目は最高点九十点。そして六科目は零点でした。

受講をやめて講義録プリントを買いました。なおさらわかりません。何でノンパンカンパンでわかりません。

卒業したものの、就職などできる筈もありません。故郷に帰つて「でも先生」になりました。各科目三枚だけのプリントを丸暗記して、六十点もらい、めでたく卒業したものの、就職などできる筈になりました。なやみはじめたとき、次々と患者の死の知らせを受けます。完全に中止。そんなとき、毒素のモトは食生活、食物の陰陽のカタヨリにある、といつて食物だけで病気を治している桜沢如一師にめぐり逢うのでした。

ハングー一つ持つて、私の体を試験管とした食物の実験が京都の下宿ではじまります。草ばかり一週間食べたり、肉だけで三日間すごしたり、水ばかり飲んだり、豆の粉だけ、トウモロコシの粉だけ、一品ずつの実験。カキ氷を一度に二十杯食べたり、断食断水をやり、玄米も食べました。そして、人間の正しい食物とは何か、正食、自然の法則、宇宙の秩序、陰陽を実験するのでした。そして疲れなさい体の状態を求めるのでした。食物学的、生物学的、

教え子とかけ落ち

私より年上の生徒がいる高校の夜間部の授業が始まるのです。第一时限目の授業、社会科。食物の陰陽しか知らない私は、ガタガタ足が震えるのです。軍隊時代の先輩の話がよみがえつてきました。十八歳のときの軍隊の投獄のときから、戦争で死にたくない、死ぬのがこわいと思い始めていた私は、先輩

「敵陣へ向かつて空襲するとき、先輩はこわくなかったのですか？」

先輩は私が投獄されたことを知つていて、立つて走るとき、正面いつてガタガタ足が震えるのですよ、誰でも例外なしに。それでも走らなければならぬのですよ」

この短い言葉に私は満足でした。そうでしたか。私は安心するのでした。

第一时限目の授業、人が新しい何かに向かうとき、みんな足をガタガタ震わせているのだ。授業は終わりました。

夜間部の生徒（大人たち）とは、酒も飲め、朝まで語り明かすことも出来、『でも先生』のスタートは楽しいものになりました。授業は終わりました。

教科書を極端に嫌う私でした。自分でガリバンを切つてプリントにして生徒たちに配りました。大本営発表の後遺症から、

法律のモトをしゃべりまくりました。社会科の時間に料理の実習もしました。野草の油炒めでした。プリントは、

どうとう公開ラブレターのガリ版ずりにまで発展していきます（筆者注）この辺のことは「恋人を得る秘訣—易と自然医学」向井裕著（国立国会図書館蔵）に詳しくありますので省略します。そして職場を休んで三ヵ月も、横

浜日吉の桜沢如一の家へ教え子の女生徒と転がりこみます。いわば婚前旅行でした。

神の一大奇跡が発生！

復職して結婚。また陰陽、食物の話をはじめます。病氣治しの宣伝が行きとどいて、教え子たちは患者を連れて来ます。繁井君が、ボリオ（セキズイ性小児マヒ）を治してくれといつてくる。宣伝の手前、いやとはいえないが、ボリオ治しは初めてのこと、緊張する。妻は当然反対します。

私は、親などの付き添いの人はことわり、五歳の坊や、山下雄二君ひとりを預ります。といつても妻が主として面倒を見なければならない。一週間だけ目をつぶってくれと妻にたのみます。一日目、二日目、坊やは何も食べません。水さえ坊やに飲ませません。びい泣いてばかりの坊やも、三日目には流す涙もなくなっています。マヒした右足をひきずつて、お茶碗カゴの中に伏せてある茶碗を持ち上げ、茶碗についている一滴の水滴でもなめようとする坊やを、コラッと叱りつけます。茶碗をものとのところに置いて、坊やは叫びました。

「おっちゃん、お腹すいたよ。」

「よし、食べるか」といつて、玄米おにぎりを差し出す。生まれてはじめて見る、おかずなしのこの黒いおにぎりを

ぱくつきます。「おっちゃん。おいしいわ」という。「いくらでも食べていいよ」「うん、おいしい」何だっておいしい筈だ。三日間も食べていないのだから。まさにサリバン夫人がいう通り、「空腹が最高のコツク」なのですね。

四日目の朝が来ました。たくさん玄米おにぎりを食べててくれる坊やに、早く足が動いてくれよと声をかけ、足をさすつてあげる。手を当てるだけの手當ともします。しかし、妻は、もう坊やを家へ帰そうといい出す。治らないのはまだいいとして、取り返しのつかない、死ぬことにでもなつたら、と心配しはじめます。

まだ一週間の期限まで日数はある。きっと治ると、自分自身にいいきかせる私だつた。神とは何か知らないけれど、その神に祈るだけしかない。五日目の朝が、重ぐるしい朝が明けます。坊やは早、目を覚ましている。座つていて。そして叫びました。「おっちゃん！ 足動いてるッ！」「へえー？」と坊やのところへにじり寄りました。坊やは神だつた。玄米も神だ。お茶碗の水滴も神だ。繁井君（坊やをつれて来た人）も神だ。教え子たちも神だ。妻も神だ（お神さんだ）。ついでにオレも神だ。みんな一つだ」と。

坊やは得意気に足の指先を動かせて見せる。教え子達が見に来た。「ほんとに動いてる！」「スゴイ、先生！」「贝尔賞もらえるでー」と口々に叫ぶ。

三日三晩の断食断水に坊やはよく耐えてくれた。神は居た！ 奇跡を起してくれた。ありがとうカアちゃん。六日目の朝、今度は坊やの右足の関節まで大きく曲げられるようになつた。

七日目、期限ぎりぎり、親が迎えに来る。一九五一年五月二十一日。坊や達と記念写真を撮る（筆者注II写真前列中央が筆者。左が坊や。その左が坊やの父親。筆者の右が妻。そして祝福してくれた教え子たちの皆様）。

アダムスキーサン。このとき私は神を見たような気がします。あなたのいう通り「地球人の神は遠い場所にいるのではなく、近くの万象の中に、人間自身の内部にいる」（筆者注II改訳『宇宙からの訪問者』久保田八郎訳二七九頁。以下引用頁数は同書による）。

あなたも叫んでいますね。「私は自分の考えを大声で口に出したいような気がする。一つだ。すべてが一つなのだ。どこもかしこも。分離はない！」と。

（同書二五三頁）

私も叫びたい。「坊やは神だつた。玄米も神だ。お茶碗の水滴も神だ。繁井君（坊やをつれて来た人）も神だ。教え子たちも神だ。妻も神だ（お神さんだ）。ついでにオレも神だ。みんな一つだ」と。

このボリオ治療の成功から十年あまりがたちました。私の食物、生物学の研究は自然医学としてまとまつてします。あなたの国の自然医学者三百人に論文をプリントして送りました。この論文の最後には「一週間以内にボリオが治せなかつたら、千ドル罰金を払いましよう」と結びました。あなたの国四人の自然医学者から招待状が来ていました。でも私は一年間滞在希望でしたからビザが出ないままです（筆者注IIその後まもなくして、アメリカでソーワクチンが開発され、ボリオにかかる人はほとんどいなくなりました）。

あなたの本の久保田八郎訳を、私は自然医学、食物学の立場から読みました。そして驚きました。オーソン等の食物の教えは、私たちの正しい食物、正食と完全に一致したからです。レストランで「ファーコンはメニューを見て、ピーナッツバターつき黒パンのサンドイッチとラップコーヒーそれにアップルパイ一個を注文した。私も同じものを注文した（同書一七三頁）』とあるではありませんか。これは私たちの正しい食物の選び方から見れば、抜群の正しさを示しているのです。

「非常に粗いまつ黒なパンの小さな塊と、初めは肉だと思ったものを一切受けとつた。パンには黄金色の皮がついていて、主としてクルミで作つたのかのような味がしたが、穀類の味も含



▲セキズイ性小児マヒが奇跡的に治った坊やと筆者（前列中央）。

んでいるのがわかつた。こげ茶色の「肉」の切れを噛みながら、内心、その味を上手に料理されたビーフにたとえていると、それは植物の乾燥根だと説明された。『故郷の金星では、なまの植物を料理します。すると、もつといい味になるのですが、宇宙旅行中は乾燥したものを運ぶのです。それは肉の中にあるすべての蛋白質を含んでいますし、人体に吸収されやすいので、特に栄養価が高いのです。その根一切れは、地球のステーキの一ポンドに相当します。また他の食物のステキな調味料にもなります』（同書二七〇頁）とあるところを読んだとき、あなたをホンモノのコンタクトマンだと、私は確信を得たのでした。お手紙を差し上げ、あなたにお目にかかりたいという気持ちが毎日大きくなるばかりです。

「私たちとは食物のほとんどを『生きている』状態で食べることを好みます。そして私たちの惑星に豊富にあるおいしい果物や野菜などをおもに食べています。あらゆる点で私たちはいわゆる『菜食主義者』ですが、まさかの場合には、ほかに食料が得られないときは肉も食べます（同書一八〇頁）』とあるところも、私たち桜沢如一（ノーベル物理学賞のアレキシス・カレル著『人間この未知なるもの』の訳者・角川文庫）の提唱する正食、身上不二の原則と、寸分違わない結論と全く同一のものです。

桜沢如一は、あなたの国で受け入れられ、宇宙の秩序や陰陽という言葉も普及し、玄米食でさえ、あなたの国の人々によろこばれています。

しかし先進異星人の食物観は、それこそ宇宙的ですし、オープンマインドに驚くばかりです。まさかの場合は肉も食べます、というところは、とても好感がもてます。これはスバラシイことです。スゴイことです。正食の専門家の私が、あなたから、異星人から正食を教えられています。うれしいことです。ありがとうございます。

病気のモト“よどみ”の発見

あなたに絶対にお逢いしなければならないと決心させたのは、次の言葉と出逢ったからです。

「海の底深いところや水面では、絶え間のない活動が行なわれていて、内部の活動が停止している池は、かつての清純な水をゆっくりと濁らせる大量の外来物によって古くなっています。いわゆる『よどみ』が起こったのです。肉体の病気と崩壊はこれとほぼ同じ過程から生じます。地球人は自然の法則によつて生きることを知らないために、個人的『よどみ』を起こすのです。

肉体の病気と崩壊はこれとほぼ同じ時折、地球でも平均年齢よりもはるかに長寿を保ちながら若々しい印象を与える人がありますが、それは並外れた精神活動、関心、熱心さなどの特質を

保つ能力によるものです」と。

この『よどみ』の発見こそ、地球人から病気をなくし、先進異星人に仲間に入り出来る地球人の第一歩になるもので。ゼッタイにそうです。右の言葉にふれたとき、私の全身に電気が走りました。あなたに絶対お会いしなければならないのです。

ラジオ体操とケツカク菌

私の父、向井芳太郎は高松市内の小学校の校長を十七年勤めた人でした。眞面目だけがとりえの人でした。香川大学付属小学校の入学試験に落第した私は、父の小学校へ通うハメになりました。おかげで、校長の息子というので、先生方にチヤホヤされます。

しかし、父は家では厳格でした。泣き虫の私は、冬の寒い朝、ハダカで外へぼうり出されたり、押し入れに泣きやむまで閉じこめられたりしました。兄二人と姉一人を持つ私は末っ兒の甘えん坊でした。男兄弟三人いるとケンカが絶えません。次兄は腕力が強く、私を泣かして喜ぶ毎日がつづきます。私は長兄に助けを求めます。いきおい長兄と仲よくなり大好きになります。長兄にくついていないと、必ず次兄にたたかれて泣かされるからです。

その大好きだった長兄がケツカクにかかります。父は必死になつて私を鍛えようとします。病弱な私に朝な夕な

ラジオ体操を強制します。いつまでもスポーツ嫌いなのは、父からラジオ体操以外を禁止されていたからでした。

兄一人がケツカクになつてから、私はケツカク菌をおそれました。ケツカク菌がこわかつた。ケツカク菌は日当たりのいいところでは弱いと聞かされました。ケツカク菌を日陰で吸い込んでいけないと思ったからです。長い距離でも息を止めて走つて、日当たりのいいところへ出て、ハアハア息をする私でした。

それほど神経質な青白い顔をした私が十四歳のとき志願して軍隊へ入りました。身体検査では要注意の印を押されました。軍隊生活の六年間で鍛えられ、やつと一人前の体になったようです。そして今となって、病氣のモトが『よどみ』にあると思えるようになつたばかりの私に、あなたの訳本の『よどみ』が、どんなに私を感激させたか、お察しください。

病原菌説批判

ご承知のとおり、コッホは百年前にコレラ菌を発見して今日の西洋医学の一つの柱『病原菌説』を確立しました。しかし、これには次のエピソードがあることをあなたは聞かれたことと思います。コッホに反対するペッテンコールの弟子は、コレラ菌を飲んでもコ

レラにかかるないことを生体実験によって証明するため、コレラ菌を飲んだのです。おそらく、その当時は純粹なコレラ菌を分離することは不可能でしたから、その弟子はコレラ菌の培養液と一緒にコレラ菌を飲んだのです。彼はコレラにかかる死にました。実験は失敗に終わりました。勝ち誇ったコッホは西洋医学の主流に君臨するので敗れたペッテンコールを支持するものです。

コレラという病氣のモトはコレラ菌ではなくて、コレラ菌培養液がコレラ菌を繁殖させ、コレラのモトとなるのです。この培養液こそ、あなたのいう人間の体内の『よどみ』、余分なもの、日本の貝原益軒『養生訓』の宿食なのです。今でも私の体は、あなたの『よどみ』を知つて高周波振動により震えています。決して食ひゆすりではありません。

タコを上げて雷をつかまえたベンジヤミン・フランクリンは、自伝の中でこう言っています。「イギリスでは、二百年（注：今から四百年前）にはカゼをひく人はいませんでした。カゼのモトは食べすぎ飲みすぎ、そしてなまけすぎなのです」と。カゼのモトをフランクリンは決してウイルスにあるのではなく、体内の『よどみ』にあると断言しているのです。フランクリンはすぎ飲みすぎをして、どんなに体内に『よどみ』を持っているか私は知りました。

キリストもシャカも四十日四十夜の断食をした後、悟りを開いています。私も七日間の断食断水を七回経験しました。そして、地球人がどんなに食べすぎ飲みすぎをして、どんなに体内に『よどみ』を持っているか私は知りました。

昔の日本人は祖父母からこんなことを教られていました。「ごはん一粒には仏（神）が三体宿っている。もつたいない。床に落ちたごはん粒は全部拾つて食べないと罰が当たる」と叱られたものです。この頃の母親は言います。

聖書と断食

「悪靈にとりつかれた病氣（例えばガン等）を治すには、断食によるしか方法はない」と聖書にあるのを御存知でしょう。体内の食べすぎによる『よどみ』の解消法は、食べすぎないこと、そして最も近道は断食にあるとするのは合理的な考え方ですね。

キリストもシャカも四十日四十夜の断食をした後、悟りを開いています。私も七日間の断食断水を七回経験しました。そして、地球人がどんなに食べすぎ飲みすぎをして、どんなに体内に『よどみ』を持っているか私は知りました。

昔の日本人は祖父母からこんなことを教られていました。「ごはん一粒には仏（神）が三体宿っている。もつたいない。床に落ちたごはん粒は全部拾つて食べないと罰が当たる」と叱られたものです。この頃の母親は言います。

「床に落ちたごはんはバイキンがついているから捨てなさい。キタナイのですよ」と。これでは食物を大切にするどころか、神を否定し、バイキンを恐れさせる教育を毎日していることになります。

前出の二教授は骨髄造血説に対しても腸造血説を唱えます。聖書にも「人は泥から作られた」とあります。人は泥から生まれた植物を、口を通して腸によって吸収し、血とし肉とします。その意味から、血球は腸によって作られるとする方が合理的な考えでしよう。

日本のサムライはハラカリをやりました。腸のある腹が一等大切な部分であることを知っていたのです。

ペッテンコヘルの弟子の生体人験の失敗から、地球人のダラクははじめ您的です。自分自身の体内の「よどみ」を反省せずに、病原菌説やウィルス説という安易な道を歩みはじめるのです。聖書の「悔い改め」を、食い改めて体の「よどみ」を解消する方法を節食や断食になると解釈しないで、ただ観念的に悔い改めが終わるとサッカクしているのです。ウィルス説は、自分自身の反省ではなく、責任を他に転化することですから、広き門で、多くの人に受け入れ易い安易な門でした。そしてウイルスを敵として攻撃しはじめるのです。ウイルスは我々と同じ“生きもの”ですから、必死になつて変幻自在、これに対応することを学習するの

ですね。

動物好きなあなた

アダムスキーサン、あなたも動物がお好きのようですね。同書二五六頁には

泥から作られた」とあります。私は一層から生まれた植物を、口を通して腸によつて吸収し、血とし肉とします。その意味から、血球は腸によつて作られるとする方が合理的な考えでしよう。

日本のサムライはハラカリをやりました。腸のある腹が一等大切な部分であることを知っていたのです。

ペッテンコヘルの弟子の生体人験の失敗から、地球人のダラクははじめ您的です。自分自身の体内の「よどみ」を反省せずに、病原菌説やウイルス説という安易な道を歩みはじめるのです。聖書の「悔い改め」を、食い改めて体の「よどみ」を解消する方法を節食や断食になると解釈しないで、ただ観念的に悔い改めが終わるとサッカクしているのです。ウイルス説は、自分自身の反省ではなく、責任を他に転化することですから、広き門で、多くの人に受け入れ易い安易な門でした。そしてウイルスを敵として攻撃しはじめるのです。ウイルスは我々と同じ“生きもの”ですから、必死になつて変幻自在、これに対応することを学習するの

アダムスキーサン、あなたも動物がお好きのようですね。同書二五六頁には

うのです。神に従つてゐる我々は決して神の罰は当たりませんが、人間たちには大きな罰が当たるでしょう。例えばガンで苦しむとかの罰です。可哀そ

うな人間たちね」と。

猛獸も人間が勝手に作ったものです。猛獸といわれるライオンや熊に人が野原でばつたり逢つても、何も人がしなければ去つて行くものだと、多くの冒險家は語ります。ミツバチの針にさされると大変だといわれていますが、ミツバチおじさんはミツバチとお友達ですから、アミの面もかぶらず、素手でミツバチの巣から箱の中へミツバチを誘導します。その箱の中にはミツバチの好きなミリンが塗つてあるから、ミチバチたちはそのミリンに夢中になつていて針でさすのを忘れてゐるので

す。

動物たちは、みんな人間の言葉がわからりますね。ウイルス達もわかります。先日も、教え子達と遊んでいました。教え子の一人がいました。「ウイルス君にコラツといつたら、みんな走つて行つたよ」と。

アダムスキーサン、お逢いしたいのです。私は七月二十日から八月末まで夏休みです。その間にお目にかかりたいと思います。ヴィスターに参ります。あなたのご都合をお聞かせ下さい。万国共通返信用切手券を同封します。心をこめて、あなたのポール向井より。

(以下次号)

アダムスキーサン、動物好きなあなたなら、きっとウイルス君たちがささやく次の言葉を聞かれる事でしよう。

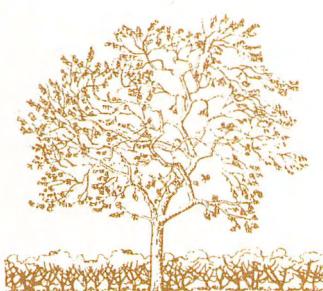
「我々ウイルス族の仕事は、地球人のいやがるウンコ屋（屎尿処理人夫）をして、大地に帰す聖職についている私達をきれいに浄化する仕事に従事しています。このウンコ屋をなぜ殺そうとするのですか。人や動物の死体を分解します。このウンコ屋をなぜ殺そうとするのですか。人や動物の死体を分解して、コラツおじさんの話になりました。教え子の一人がいました。「ウイルス君にコラツといつたら、みんな走つて行つたよ」と。

この話にみんな笑いました。きっとウイルス君も笑つたことでしょうね。猛獸もウイルスも敵ではないのです。サタンも人間の無知から神をサタ

アダムスキーサン、動物好きなあなたなら、きっとウイルス君たちがささやく次の言葉を聞かれる事でしよう。

「我々ウイルス族の仕事は、地球人のいやがるウンコ屋（屎尿処理人夫）をして、大地に帰す聖職についている私達をきれいに浄化する仕事に従事しています。このウンコ屋をなぜ殺そうとするのですか。人や動物の死体を分解します。このウンコ屋をなぜ殺そうとするのですか。人や動物の死体を分解して、コラツおじさんの話になりました。教え子の一人がいました。「ウイルス君にコラツといつたら、みんな走つて行つたよ」と。

この話にみんな笑いました。きっとウイルス君も笑つたことでしょうね。猛獸もウイルスも敵ではないのです。サタンも人間の無知から神をサタ



大奇跡……宇宙哲学で 奇跡を起こす方法

宇宙哲学の実践応用で奇跡的に願望が実現する。そのノウハウと実例を解説し、読者に大いなる勇気と希望を与える講演録。

〈日本GAP会長〉

久保田八郎

宇宙哲学とは何か

宇宙哲学というのはジョージ・アダムスキーやが説いた宇宙的思想を意味します。これは彼の著書『宇宙哲学』『テレパシー開発法』『生命の科学』の三部作の総称もあり、アダムスキーや哲学ともいいますが、宇宙哲学とも呼んでいます。したがって私たちが普通に宇宙哲学という場合は右の書名を指しているのではなく、アダムスキーや哲学の別称として用いているわけです。

右の三部作の内、『宇宙哲学』はアダムスキーやの宇宙的思想の概要、『テレパシー開発法』はだれにも潜在しているといわれる超能力の開発方法、『生命の科学』は人体の細胞の実体と人間の想念との関係、心靈現象の誤りなどを解説したもので、いずれもアダムスキーや全集（全八巻）の中に含まれています。未入手の方は本号四六頁をごらん下さい。

この記事は本年五月四日、山形県天童市における山形・仙台合同支部大会、五月二十一日、大阪府吹田市における大阪支部大会での講演を骨子として補筆したもの。出席者に多大の感銘を与え、高次元な霧雨氣をかもし出した。聴講者の中には実践して奇跡的治癒を起こした人もある。

表した當時、アメリカ人でこれを読んでもアダムスキーやが『生命の科学』を発表するよ。

をお読み下さい。

で実践した人たちのなかには奇跡的な出来事が続出したということです。アメリカ人というのをきわめて率直明快な民族で、良い意味でいいますと素直な性質を持っていますから、教えられたとおりに実行して奇跡が発生する現象が多かったのも当然だと思われます。この「素直さ」というものが重要な要素を帯びていることをまず記憶しておいて下さい。ひねくれた人や文句を言ふに来るような人には奇跡は起こりません。

万物を支える「宇宙の意識」

アダムスキーやの『生命の科学』には人間を含む宇宙の森羅万象が『宇宙の意識』(Cosmic Consciousness)といふものによって創造され支えられている。この宇宙の意識といふものは万物の創造主ともいふべきもので、神と呼べるものですが、神というと宗教的な響きがあるためにアダムスキーやは宇宙の意識という造語を用いたと思われます。それはともかくとして、アダムスキーやによれば宇宙の意識には創造的パワー、英知等が含まれており、人智をはるかに超えた絶対的实在であるということですから、私たちが現象界を見る場合に、まずそのことを認識してかかる必要があります。

がここにある」と思います。もう少し感性の高い人は「ああ美しい」と感じます。そして大抵の人はそれでおしまいます。しかもしもっと感性が高くなれば、その花に何かの創造エネルギーの波動のようなものが流れてい、それが花全体を生かしていると感じます。そのエネルギー波動というものをアダムスキーやは宇宙の意識と呼んでいるわけです。

ところで、もっと感性が高くなると、花を生かし支えている宇宙の意識なるものは当然のことながら人間をも生かし支えているはずだと感じます。そうなると花と人間を生かし支えている宇宙の意識なるものは共通した根源的なものであるから、これを逆に言えば、花も人間も本来一体であつて分離していな、と感じるようになります。こうして万物一体感なるものが生じります。この万物一体感を極度に高める感覚、この万物一体感が発現します。

たとえばこの薔薇の花が持つている感情や意志といったものを感受することができます。この万物一体感を高めるところが、また花に向かって呼びかけると、花がこちらを向いて頭を下げる挨拶するようになると、アダムスキーやは説明しています。

偉大な宇宙の意識の力

私たち人間は自分の個としての存在を自覚し意識しています。この普通にいう意識なるものは内部に宿る宇宙の

薔薇の花を見た



講演中の筆者。
▲山形・仙台合同支部大会（山形県天童市）で
撮影／松村芳之

意識の一部であつて、これは絶対的な実在物です。この内部の宇宙の意識が、表層に存在する人間のマインド（心）に絶えず正しい指令の印象を与えているので、一般人はマインドを想念で充満させていたるため、言い替へば考え方ばかりして、内部から来る印象を受けることができません。しかし時折、それをインスピレーションまたは靈感（Impression）を伝えたのだとアダムスキーは言つています。靈媒が死者の靈からメッセージを受けたと称するいわゆる靈界通信なるものも、實際には靈媒の体内の細胞から来る印象だと述べています。この辺の詳細な事は『生命の科学』をお読みになるとわかります。

さて私たち人間は内部に宿る宇宙の意識によって生かされ支えられているのです。この辺の詳細な事は『生命の科学』をお読みになるとわかります。

スキーは言つています。靈媒が死者の靈からメッセージを受けたと称するいわゆる靈界通信なるものも、實際には靈媒の体内の細胞から来る印象だと述べています。この辺の詳細な事は『生命の科学』をお読みになるとわかります。

このことには、實在する宇宙の意識が、實在する人間に影響を与えていて、それが靈媒の靈から受け取られるのです。靈媒が靈から受け取った情報は、靈媒の靈から受け取られたとき、ふだんは抱えられてもしないような重い物を、超人的な力を發揮して抱え出したりします。これは、人體内の宇宙の意識の力です。その他、人間の力の限界を超えるような物事を可能にさせるのも宇宙の意識です。

奇跡を発生させる方法

こういうふうに宇宙の意識は人間に超人的な力を出させますから、逆に人間が何かの願望を実現させようとする場合、強固な信念を起こして「必ず実現する！」という想念を発し続ければ、

内部の宇宙の意識が強大な力を發揮して、実現する方向へ手助けしてくれるのです。これをアダムスキーは『生命的の科学』で次のように述べています。

「まずわれわれはアイデアを生み出す意識なるものを考えてみましょう。言いかえれば、何かを現象化させようと

思ふ場合に、それを生み出す意識の能力に対する絶対的な信念と確信を持つて、その物事の意識的な青写真を持つのです。次にその青写真中のアイデアを捨てないようにし、結果（実現）にいたる絶対的な確信を持ち、言葉に

のですが、このことに気付いているのとしないのとでは生き方に大変な相違が生じます。奇跡的な現象を起こすのは、實に人間の内部の宇宙の意識であるからです。たとえば『火事場のバカ力』といわれる現象がよくあります。

家が火災で大切な物を運び出す必要にせまられたとき、ふだんは抱えられてもしないような重い物を、超人的な力を發揮して抱え出したりします。これは、

よる命令を与えながら、明瞭なイメージを描きなさい」

これは自分が何かを実現させたいと

いう願望を起こしたとき、「×××は必ず実現する！」という強烈な反復思念をして、すでに実現してしまった光景

をイメージとして心中に描き続けることを意味します。すると本当に実現するのです！ これが奇跡を発生させる方法です。

私はむかしからこの方法を応用し、多くの人にも伝えて、かなりの成果をあげてきました。「×××は必ず実現する！」という言葉をミラクルワード（奇跡を起こす言葉）と名付け、実現してしまったイメージを描くことをミラクルイメージ（奇跡を起こすイメージ）と名付けていますが、今は後者を簡単にイメージ法と呼んでいます。

私自身もこの二つの方法を併用して何度も奇跡を実現させていますが、具体的な実例は省略します。

ところが、このミラクルワードとイメージ法は日本GAPの専売特許だと思っていたのに、豈圖らんや、これと

GAP会員の奇跡発生の実例

ミラクルワードとイメージ法を応用して奇跡を発生させた実例は日本GAP会員間で沢山ありますが、ここでは代表的な例を二、三あげましよう。

これは私が講演などでよく引用する実例です。

(1) 欲しくてたまらなかつた高級自動車が入手できた例。

静岡県の伊豆半島に住む会員の高梨和明氏は二十年來の古い会員で、宇宙哲學の熱心な実践家であり、UFOの観測も熱意をもってよくやっています。以前から自家用車を持っていましたが、UFOの観測用に天井が開閉す

場合は脳波をアルファ波の状態、すなわち心が非常に落ちついた穏やかな状態になるようにしてから、映画のようないくつもイメージを描く方法を応用しているのだそうです。

アメリカでは有名なジョセフ・マーフィー博士がやはり信念をもつて言葉

をとなえたりイメージを描いたりする方法を教えて、無数の悩める人に奇跡

を起こさせています。これについても後述しましょう。

こういうわけで、ミラクルワードとイメージ法は万人に応用できる真理であつたのです！ これは宇宙の法則ともいえるでしょう。こんな素晴らしい方法があるのでですから応用しないといけません。

る特別仕様の車がどうしても欲しくなつてきたのです。遊びに使用するのではなく、大宇宙の彼方から来る偉大な需品です。しかしそのためには二百万のお金が必要でした。

ところが七、八年前の二百万は氏にとって大金であり、逆立ちしてもそんなお金は出てきません。しかしアダムスキーフィーをよく理解する氏は決してあきらめることなく、ここはひとつミラクルワードとイメージ法を応用して入手を実現させようと思いました。

自分がすでにその車を嬉しそうに運転して山道を疾走し、開いた天井から夜空が見え、そこにオレンジ色に輝く数機のUFOが見えて歓声をあげている光景を明瞭にイメージとして描き続けながら、「必ず入手できる、必ず入手できる!」という言葉をとなえ続けました。

そして數ヶ月後に思いがけぬ所から二百万元のお金が入つてきて、当時としては高級車だったトヨタ・セリカを見事に入手したのです。このお金は奥さんの実家のご両親が「好きなように使え」といつてポカッと出してくれたのです。私もこの車に何度か乗せてもらつて一緒にUFOの観測に行きましたが、乗り心地は最高でしたね。そしてまるで宇宙の花火大会とでもいうよに夜空に沢山のUFOが乱舞する妻

い光景を見たこともあります。

(2) 海外旅行に行くための休暇が奇跡的に取れた例

山形県の会員で紫田文子さんという熱心な女性がいます。現在は結婚して子供さんがありますが、まだ独身であつた頃の昭和五十九年八月に日本GAP企画の海外研修旅行『第二次エルサレム宇宙考古学の旅』が実施されることを知つて、どうしても参加したくなつきました。あの聖地をひと目見たいと思うと体が震えています。

しかし当時の彼女は会社に勤めており、十二日間の休暇をすることは百パーセント不可能でした。大体、GAPの海外研修旅行では「カルナはなんとかなるが、会社の休みが取れない」という人が圧倒的に多いのです。それほどに日本の企業はきびしいのでしょうか。

しかし紫田さんは屈しませんでした。「必ず旅行に参加できる!」というミラクルワードをとなえ、自分が大勢の皆さんと一緒に楽しく旅行に参加しているイメージを描き続けていました。

すると全く奇跡的に十二日間の休暇が取れて、喜び勇んで旅行に参加できましたのです! オリーブ山の展望台から市街を目に輝かして眺めていた彼女の横顔が今も私の脳裏に浮かんできます。パレスチナの大地を歩む彼女は、間違

いなく奇跡を起こしたのでした。

(3) 心臓病が治った例

首都圏に住む古い会員のある男性の

方は、むかしから持病として心臓が悪く、思うように働けない状態で、生活も楽ではありませんでした。病院へ通つてもなかなか治りません。心臓病といふのは治りにくく、へたをすると命取りになります。

しかしこの男性Yさんは救いの女神から微笑を投げかけられました。あるとき『生命の科学』を読んで、人間の肉体は自分の信念にしたがつてどのようにもなるという真理を発見したのであります。

それからというのもYさんは、自分の肉体の内部に完璧な健康体の青写真が潜在していて、その青写真を絶えずビジョンとして描き続ければ肉体もやがて健康な状態に変化してくるはずだと考えて、そのビジョンを描き続けたのです。その結果、心臓病は完治してビジョンどおりの健康体になりました。一時期東京月例会に元気な姿を見せておられたことを覚えてますが、今もまだ会員です。もう病人ではありません。

ん。

(4) 理想的な花嫁をみつけた例

東京に住む会員のTさんは、独身だ

つた頃、理想的な花嫁を見つけることを夢見ており、「必ず見つかる!」という信念を持ち続けていました。

あるとき一人で旅に出て観光バスに乗つたとき、隣の席に座つた女性となげなく会話を交したのがきっかけとなり、愛が芽生えて、やがて結婚しま

した。この女性がまさしく理想的な花嫁だったのです。この場合Tさんの強烈な信念が不可視のヒモノのように伸びて、その女性を引き寄せたとしか考えられません。

想念が肉体に及ぼす影響

以上の実例を単なる偶然の結果だと考える人が多いかもしれません。この現象界で「偶然」というものはあり得ないとアダムスキーフィーは言っています。どんな現象でもそれは原因があつての結果で、すなわち因果関係であり、これをカルマの法則ともいいます。

右の各実例で原因となっているのは本人たちの信念、すなわち確信に満ちた想定であり、また心の中で描き続けたイメージです。これが内部の宇宙の意識に刻み込まれることによって、宇宙の意識が実現の方向にむかつて強力な働きかけをするらしいのです。科学的には未解明なメカニズムですから、「するらしい」としか言えませんが、多くの実例からみてこのような未知のメカニズムが存在することは帰納的にいつて間違いないでしょう。

マーフィーもこれと同じことを述べていますが、彼の場合はアダムスキーフィーによれば、潜在意識は宇宙的パワーを持つもので、人間の信

念に満ちた強烈な想念やイメージが、この潜在意識に刻み込まれると、潜在意識が実現の方向に支援をするのだと言っています。ただし潜在意識は絶対に公平であるから、建設的、肯定的な明るい希望に満ちた想念（これを私はプラスの想念と呼んでいます）では、その反対の消極的、否定的な暗い想念（これを私たちはマイナスの想念と呼んでいます）でも差別なしに、両方に対して公平に手を貸すのだと説明しています。

だからこそ「人間は自分の思いどおりの人物になる」というエマーソンの言葉が生きてくるのです。特に肉体の健康・不健康は、ほぼ百パーセント本人の想念の内容で決まるのです。常に「自分は健康だ！」といふ明るいプラスの想念を持っている人は健康になるし、「自分は弱い不健康な人間なのだ」と思ひ込んでいる人は病気になります。

日本GAP東京本部役員の田中正氏の奥さんのお姉さんは看護婦生活三十年というその道の大ベテランですが、その方の話によりますと「入院患者の精神の状態を観察すると、明るいプラスの想念を持つ患者は治るけれども、暗い悲観的なマイナスの想念を持つ患者は治らない。これは百パーセント間違いのない事実だ」ということです。これもアダムスキーやマーフィーの理論を裏付ける有力な傍証といえるでしょう。

この潜在意識に刻み込まれると、潜在意識が実現の方向に支援をするのだと言っています。ただし潜在意識は絶対に公平であるから、建設的、肯定的な明るい希望に満ちた想念（これを私はプラスの想念と呼んでいます）では、その反対の消極的、否定的な暗い想念（これを私たちはマイナスの想念と呼んでいます）でも差別なしに、両方に対して公平に手を貸すのだと説明しています。

だからこそ「人間は自分の思いどおりの人物になる」というエマーソンの言葉が生きてくるのです。特に肉体の健康・不健康は、ほぼ百パーセント本人の想念の内容で決まるのです。常に「自分は健康だ！」といふ明るいプラスの想念を持つ人は健康になるし、「自分は弱い不健康な人間なのだ」と思ひ込んでいる人は病気になります。

以上、想念が肉体に及ぼす影響について述べましたが、強烈な想念は病気治療ばかりではなく、願望をも実現させますし、逆に自分を不幸のどん底におとしいれる原動力にもなりますので、人間にとつて想念の持ち方ほど重要なものはありません。前述のように強い信念を帯びた想念は宇宙の意識の援助によって実現するからです。

アダムスキーやマーフィーの神の法則の理論的な書ですが、マーフ

地球以外の惑星にはすべて人間が住んでおり、しかも偉大な進化をとげている。この異星人たちは精神が肉体に及ぼす影響を熟知し、超プラスの想念を持続けるので、肉体が老いることはなく、地球式に年齢を換算して数百歳から一千歳までも生きると述べています。地球人でもプラスの想念で健康を保つ人がいる事実を考えれば、別な惑星群の信じられないほどの超長寿もあり得ないことではないでしょう。この詳細はアダムスキーエ全集第一巻『宇宙からの訪問者』に出ています。

マーフィーが奇跡発生を指導した例

イーの著書には奇跡発生の実例が豊富に出ていますから少し紹介しましょう。

ジョセフ・マーフィーは米カリフォルニア州の神学、法学、哲学、薬理学、化學の学位を持つ人で、精神の法則の指導者として名高い人です。この人の著書は沢山出でおり、日本でも訳書が産業能率大学出版部（東京都世田谷区等々力六一三九一一五）から何種類か出版されていますが、その内の『あなたにも超能力がある』（中川啓二訳）の中に出ている実例をいくつかあげてみましょう（出版元了解済）。

（1）紛失物を発見した例

一人の女性が五カラットのダイヤの指輪をなくして狂氣のようになりました。そこでマーフィーは次の方法を教えたのです。まず自分がなくなつた指輪をはめていたイメージを描き、その固さや感触などを感じ、眠る前にその指輪をはずして宝石箱の中に入れる場面を心の中に描き、無限の中では何も失われる物はない信じ、指輪が見つかったことを感謝する「神よ、ありがとうございます」という言葉をとなえながら眠りにつく方法です。

これを実践した三日目の晩、彼女は三週間ほどイメージを描き続けたら会社の人事課長から電話があり、会いたいと言つて来ました。訓練のクラスは満員でしたが、開講日の一日前には、その内の一人がやめて、結局青年が採用されたのです（同書八三頁）。

この青年が正しいと願い感じたアイデアは、どんなものであろうと潜在意識に刻みつけられ、実践するということを本人が理解していたのだとマーフィーはつけ加えています。

かねてから航空パイロットを志望

した例

ていた青年が、そのための教育を受け免許証を取つたけれども不景気で容易に航空会社に就職できませんでした。やっとある航空会社が十人のパイロットを募集したとき、なんと二千五百人の志願者があり、そのうち九割は青年よりも経験の深い人たちでした。

だが青年はあきらめなかつた。マーフィーの教えを実践したのです。まず自分がすでに就職してパイロットの制服を着て、フライトに出るために飛行場にむかって車を走らせている光景や、訓練に必要なクラスに出席しているところを想像しました。つまりイメージを描いたわけです。

三週間ほどイメージを描き続けたら会社の人事課長から電話があり、会いたいと言つて来ました。訓練のクラスは満員でしたが、開講日の一日前には、その内の一人がやめて、結局青年が採用されたのです（同書八三頁）。

この青年が正しいと願い感じたアイデアは、どんなものであろうと潜在意識に刻みつけられ、実践するということを本人が理解していたのだとマーフィーはつけ加えています。

(3) 吼いをかけられて恐怖と絶望のどん底におちいった婦人が助かった例

したが、そのグループから抜けたのです。それを恨んでグループの人たちが彼女が破滅するように祈っていると聞いて、本人は吼いをかけられていると思ひ、そのためにすべての事態が悪化していました。

そこでマーフィーは大要次のように教えたのです。「相手の吼いはあなたに何の影響も与えはしない。實際には自分自身が恐怖心によつて自分に吼いをかけている。他人の暗示が自分の考え方を動かすもとになつてゐるのである。力は自分の中にある。だから自分で自分を苦しめているだけだ。相手が利用しているのは一種の暗示にすぎない。

暗示といふものは自分がそれに力を与えてやりさえしなければ無力なものだ。自分の中の無限の愛と生命と力に一体化するようにつとめることだ」

これで彼女は安心して、相手に力を与えていたことを笑いとばせるようになつたのです。一、二週間したら教会のメンバーの内、五人がひどい病気にかかるて、うち一人は死んでしまいました。

マーフィーの説明によれば、この若

て、このような現象を『ブームラン現象』と言うのだと述べています(同書二三頁)。

ブームランというのはオーストラリアの原住民がむかし使用していた原始的な木製の武器で、遠くにいる敵にむかって投げると回転しながら飛んで行きますが、もし敵に当たらねば元の位置に帰ってきます。

これと同様に、人間のひどい恨みや憎しみの想念は、相手に気づかれないか、または気づかれても相手が問題にしなかつたならば、その想念は自分自身に返ってきて、逆に自分自身を傷つけることになるのです。このブームラン現象によつて自分のマイナス想念で自分自身を傷つけている人がいかに多いことでしょう。

恐怖心こそ自分を傷つける魔魔

一方、前述の例のようく他人から憎まれてゐる、呪われてゐる、バカにされていると思ひ込んで恐怖におびえてゐる人もあります。この場合、恐怖心が自分を傷つける魔魔なのであって、他人が魔魔なのではありません。した

がつて魔魔も神も自分の内部に存在しています。外界にいるのではありません。外

祈禱師から「おまえは午後六時に死ぬだろ」と宣告されます。そして實際にその男は座り込んで、死んでしまうのです(同書二二頁)。

これなどは祈禱師の吼いの波動が心臓を停止させるのではなく、すさまじい恐怖心が自分の体内の諸器官を無力にしますが、もし敵に当たらねば元の位置に帰つてきます。

ですからこの頃は精神神経免疫学という分野がアメリカで勃興しています。そのいわんとすることは、騒然たる現代社会のひづみによつて人間にはストレスがたまり、それが続くと肉体は防衛反応が過剰になり、自律神経が失調し、これが免疫機構に影響を及ぼし、ついには破壊する。こうなるとリューマチ、エイズ、癌、その他の難病にかかりやすくなるので、なんといつてもストレスを除くことが先決問題であり、それを除くことによつてある程度病気は治るというわけです。

ストレスを除く最大の武器は何か?それはなんといつても明るい希望に満ちた建設的なプラスの想念です。

このことをよく心得て、常に明るく樂しい想念を持ち続けるならば、健健康を保ち続けるでしよう。現在病氣の人も健康になるでしよう。それには初めに述べたようにミラクルワードとイメージ法を応用して「自分は健康だ!」と、となえ続けながら健康になつてしまつたイメージを描き続けるとベスト

です。ただしここでは医学を否定するものではありません。医学は高度な科学であつて、この科学の恩恵に沿して助かっただ人がどれほどいるかわかりません。ただ現代の医学は想念と肉体との関係を知らない人たちの故障した部分を修理するためにあるようなものですが、医学自体が精神の重要な意味と機能を理解してゆく段階にありますから、それにつれて肉体に対する人間の考え方も変わつてくるでしよう。

しかし、信念の力で自分の病気を治療を受けなければ治るといわれた患者は、やはり病院で科学の恩恵に浴するべきです。だけどその場合も「治る、治る」ととなえ続け、治つてしまつたイメージを描き続けるならば、良い医師にめぐり合い、間違いのない立派な治療を受けるようになるでしょう。自分のプラスの想念がそのような病院へ自分をつれていき、良き結果をもたらすのです。このミラクルワードとイメージ法は、本人に何もしないでいて奇跡を生じさせられるではありません。優秀な学校を志望する受験生は、それなりの勉強をして実力をつけておく必要があります。ただ同じ勉強をするにしても、メクラメックボーン勉強をするよりも、志望した学校に合格してそこで楽しく学んでいる光景をイメージとして描きながら勉強を続けますと、内部の宇宙の意識

が本人を合格する方向に引っ張つて行くことになり、具体的には合格するための参考書や予備校の良い先生にめぐり合うことになるのです。

しかしどんなにイメージを描きながら勉強しても志望校へ入れない場合は、「その学校へは入らないほうがよい」という内部の宇宙の意識の指令ですから、他の学校に変えるほうが結果的に良いことになるでしょう。

地獄の生活から脱出するには

この混乱に満ちた惑星・地球上に住む人々は難儀な目にあいながら過ごしています。環境の悪化もさることながら、私たちを悩ませるのは主として人間関係です。誤解、中傷、嫉妬、悪口、攻撃などの渦巻く世の中にいて、自分が平安な恵まれた生活を送るのは容易ではありません。しかも公害による環境破壊、政治の腐敗、経済界の変動その他で不安を帯びた想念波動帶の大海上の中に沈んだような気分におそれる人もあるでしょう。世紀末に地球に大変動が発生するという恐怖心を起こさせることを目的としたような書物も出来まわっています。

しかし最もいけないのは身辺の人間関係の悪化です。家庭、職場、友人間の対立や争い、非難攻撃などが、どれほど人間の心を蝕み、歪ませていることか。そしてそのマイナス想念によって、いかに思ひたくない結果を招いて

いるか。人によつては地獄のような生活をしている人もあるでしょう。これを脱却して天国のような平安な生活に入るにはどうすればよいか?

解答はただ一つ。自分の想念の根本的な切り替えにあります。具体的に言えば、自分をどんなに非難攻撃する人がいても、絶対に相手を悪く思わないようにし、むしろ「あの人はずは良い人なのだ」と思い、相手がにこやかに微笑して自分と握手しているイメージを鮮明に描き続けるのです。そうするとやがて必ず奇跡が発生し、ある日、本当に相手が微笑しながらやつてきて謝るかもしれません。そうでなければ相手がブーメラン現象を起こして自分自身が傷つくか、どこかへ去つてしまふでしよう。

このような奇跡を起こすのに愛とか

友情とかの抽象的な言葉や理論をくり返しているだけでは効果はありません。実際に強烈な善意を起こして、「あの人はずは良い人なのだ」となえながら和解してしまったイメージを描き続けることが根本的に重要です。これが奇跡を起こす方法です。

最高の想念で最も平安に生きる方法

もつと高次元な想念として「万物と万人は良くなる、必ず良くなる!」といふ言葉を中心ととなえ、この世界が天国のようになつたイメージを描きながら生きれば、これは最高です。

なんとなれば、万物と万人を創造し支えている宇宙の創造パワーたる宇宙の意識なるものは、万物と万人の生成発展を意図しているはずで、少なくとも人間を苦しめるために人間を創造したとは思えません。したがつて「万物と万人が良くなる!」という想念波動は、宇宙の意識の生成発展波動と同調することになると考えられるからです。これを実践する人には素晴らしい奇跡が次々と発生するでしよう。これが絶対的に安全に生きる秘訣です。

なお、マーフィーの本には神とか祈りとかの言葉が頻繁に出てきますので、宗教的だと思つて抵抗感を起こす人がいるかも知れませんが、マーフィーの言う神は多数のクリスチヤンが考えてゐるような遠い空間にいる神ではなく、人間の内部に存在する無限の生命力、愛、英知などを意味しているようですから、これはアダムスキーリーの言う宇宙の意識を神と言い替えていたにすぎません。祈りという言葉も、強烈な信念を帯びた実現させる言葉の反復思念と同義です。

マーフィー著の『あなたにも超能力がある』には心靈的な事柄がヨツビリ出でますが、これは気にするほど私があつても絶対に相手を悪く攻撃する人がいても絶対に相手を悪く思わず、「いや、あの人はずは良い

人なのです」と言つて愛と祝福の想念を送る人が一人います。それは『異星訪問奇談』の主人公・春川正一氏です。その他これに類した想念を持つ人が日本GAP東京本部役員、東京月例研究会の常連のなかに少なからずいます。この人たちは宇宙哲学の実践応用により素晴らしい成果をあげており、生き甲斐のある人生をすごしています。宇宙哲学というのは理論に終止するためのものではなく、これを応用して自己の内部に秘められている無限の能力を引き出し、自分と大宇宙との密接不可分な関係を認識して、万物一体感を高めることにあります。そしてこのフィーリングが高まれば高まるほど他人の難儀が他人事とは思えなくなつてきますから、今度は他人を助けようという意欲が高まるのです。

余談ながら前述の春川氏は凄い超能カーミラクルワードとイメージ法も行なうようにすすめており、奇跡的に治った人がGAP中でかなりいます。しかし根本的には春川氏の遠隔思念波動が治癒の原因になつてゐるようです。以上の内容に関して不明な点があれば日本GAP久保田宛にお問い合わせ下さい。長い回答を要する場合は、録音用のカセットテープをお送り下さればそれに吹き込んで返送します。

ルーフングヒーリング

●遠藤昭則

オーラ透視と反復思念で病気を治す方法を公開

1 ヒーリング(治療)とは何か

古代から病気の治療として民間療法的に使われてきたもの。そして近代の医学界ではまだ認められてはいないが、厳然と存在するもの。人間の生命力を使つてテレパシー的に治癒してゆくもの。それがヒーリングである。

ヒーリングには直接患者の近くで行なうものと遠隔治療として行なうものがある。そしてヒーリングに必要なことは患者の方がそのテレパシーを受け入れる状態でなければいけないということである。

2 ヒーリングの体験

私の微々たるヒーリングの体験としては次のようなものがある。しかしこれらはほんの初步的な段階のものであり、これを読んでいる会員の方のほうがいるかに素晴らしいヒーリングの体験をお持ちのことであろう。

私の場合は、ヒーリングはテレパシ

ーだという確信を持つて行なう。こちらの力で治すというよりも、こちらの放つ想念によって相手の身体の細胞群が動き出すという氣持である。

(a) 腰痛の生徒
「想念」とは「想」つまり「情報」を持つ「念」のことであるから、作用して当然である。

私はギター部の顧問をしているのだが、ある時ギターを弾いていて腰しお炎になつた生徒がいた。痛くて指が動かないらしい。見ると指の根元が腫れぼつたくなつていて。そこで肘から指までのいわゆる経絡のよう、金色に見える線の上を人さし指で一センチぐらい離れて辿つていった。指先からは青い霧が出ていることを思いながら、そして指から余分なエネルギーが放出され、冷えて行くことを思い描いた。

それから三十分静かに手を休めておくよう言つたら回復した。三十分後には元気にギターが弾ける状態になつた。

(b) 腹痛になつた生徒

突然腹痛を起こした生徒がいた。遠足の前日であり、休むことになつては大変である。そこで相手の腹の中に乳白色のパワーを思い描いた。すると苦痛が和らぎ、しばらくして痛みは消えてしまつた。

(c) 癲癇の子の場合

教室でOHPを見ていた時に突然癲癇の症状が出てしまつた子がいた。急いで周囲の子達を廊下へ出し、その子の首の後ろに手をあててなだめるようにその部位に繰り返し声をかけた。すると症状が和らぎ眠つてゐる状態になつた。

(d) GAP会員本山恒明氏のお父さんの場合

昨年(昭和六十三年)本山氏から手紙を頂き、お父さんが内臓の病気で入院するのだが、なんとかそれがうまく回復するようにできないだろうかといふことであつた。そこで写真と電話で疾患部を連絡し、山形支部の月例会で次のようなことをしていただいた。それは写真が名前を中心にして、その周囲に会員の方たちで円を作り、身体の疾患部にある色を思い描くこと、お

医者さんもとても親切にして下さり、手術も全く安心してうけられ、順調に退院されたということであつた。

3 オーラの形状と病気

オーラには病気の様子が現れるのだが、私にはオーラが良く見える日と見えにくい日があるので、詳しくは分からぬ。一番現れるのは肉体の病気である。片方の目が弱つてゐる方は、そちらのオーラの放射が少ない(図1)。カゼで高熱の時は赤い点々のようなオーラがその人の周囲に時々現れることがある(図2)。

筋肉の痛みに於いてもその症状が現れることがある。テニスをしすぎて胸下の筋肉を痛めた人はその部位が黒く

はり内臓の疾患だということであった。そこでその部位を見て、とにかくそこにはピンク色のオーラが必要だという印象が起きたので、その旨を伝えた。またあと「大豆」という言葉が頭の中浮かんできた。そこで大豆を食べるよう伝えた。しばらくして分かつたのだが、これが今流行つていて大豆であった。私の頭の中に浮かんだときには、まだ酢大豆の酢の字も出ていない時であつたが、やはり意識の働きといふものは素晴らしいものである。また二つの病院があるがどちらが良いだろうというので、遠隔オーラ透視をして、そこに入院することになり、中のお医者さんもとても親切にして下さり、色が白く見える方が良いと伝えた。

することによって見える時もある。図5は今年（平成元年）三月十九日に数名で集まって遠隔ヒーリングをした時に相手の方を見たものである。私の図と安藤澄雄氏の図をあげておく。二人とも黒く見える位置は同じであることには注意されたい。安藤氏は毎日オーラ透視練習をしており、それをノートに記録し続けている。現在ではかなりの段階にまでなっている。氏によると、とにかく記録することであり、そうすれば自信もつき、能力も向上するとい

うことである。氏はこれからもその力を増大してゆくことであろう。

精神的な病気においてはどうか。この場合はなかなか見つけるのが難しい。しかし肉体的な疾患、例えば脊髄部の損傷などによる場合には明らかにその部位に黒い点が出る（図6）。

精神的な原因によるヒステリー症状

の場合は、図7のように激しいオーラになる。あるとき図8のようなオーラをしている女性を見た。オーラの外側が少し波打っており、所々に黒い点が混在している。そして汚さを感じるのである。身なりはちゃんとしており、顔立ちも整っている。それなのに汚い

この人は早く自分を浄化して良い才

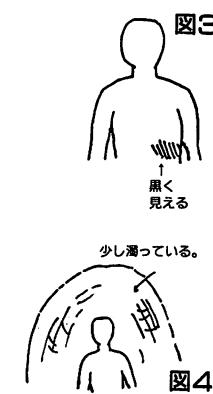


図3



少し漏っている。

見えた（図3）。腎臓に疾患のある方は全体的にぼんやりとしたオーラになっている（図4）。癌の場合は全体的に白いオーラの放出が見えない。これは体内でそのパワーを使っているために外に放出されないのでだろう。

また写真を通して遠隔オーラ透視を

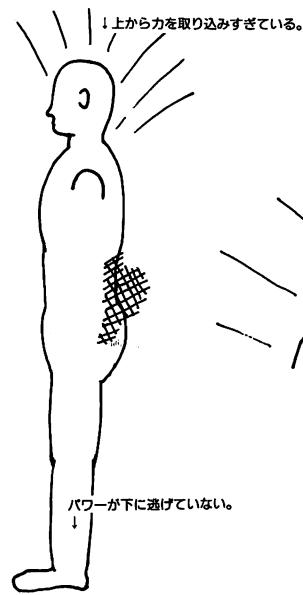
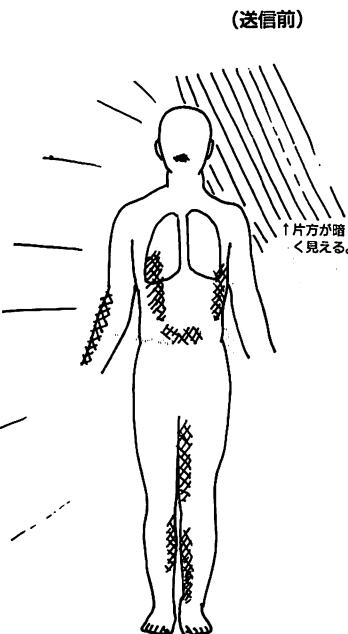
図1



図2

図5

筆者の透視



(送信後)



安藤氏の透視



図6



図8

一ラにしないと、いつまでも暗い想念を持つたままになるだろう。肉体の場合でもう一つあつた。会員の方であるが、血液の免疫性が少ない方がおられた。昨年お会いした時には肝臓の辺りに黒い色が見えていたが、だんだんにその色が少なくなってきた。そして今年の一月になるとその色が全体の五分の一定程度になつた。免疫性が一〇%出てきたということだつた。そして二月の月例会でお会いしたときに免疫性が五〇%になつたということである。黒い色の固まりは見られず、黒い点がほんの少し点在するまでになつた。どうして肝臓と免疫性とが関係するのか分からぬが、とにかくこのような変化があり、医者よりも詳しく述べ重宝がられた(図9)。

このように見てくるとオーラとは人間のエネルギーの余剰分が外に放出された時に見えるものようである。従つて体内のある部位で普段以上にエネルギーの消費が必要な時はそのオーラ放射は弱くなる。また骨折した人などでは治癒してからその部位のパワーが強くなることもある。これはそのところにあり余るパワーが補給されるためであろう。

人間の極端な想念に對してオーラが変化するのはどうしてかと言う方がおられるかも知れないが、それは簡単なことである。オーラがエネルギー放射であることや、それを意識しないために、それが弱いのかといふことや、その対処法も分かつてくるだろう。

ただ注意すべきことは、例えば赤いオーラはその人がその色を放つことによつて安定を得ていることだ。この色によって性格の良い悪いは判断できな

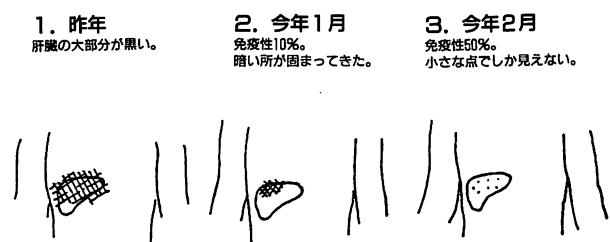
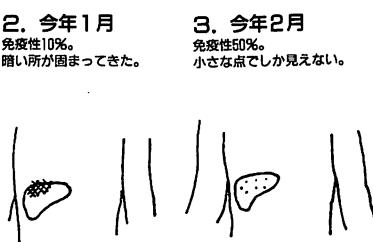
1. 昨年
肝臓の大部分が黒い。

図9

2. 今年1月
免疫性10%。
暗い所が固まってきた。3. 今年2月
免疫性50%。
小さな点でしか見えない。

モソン分泌腺などもエネルギー場を放つてゐるが、それらは人間の極端な想念つまり感情に影響を受けてそれに対処した働きを始める。そこでエネルギーの一場も変化する。そうして全体としてのオーラが変化するわけである。あるから、よく言われるように入間の想念、つまり念の力によつてオーラが変わるものではないのだ。ましてや神智学などで言われるアストラル体やエーテル体などとも関係はない。ただ付け加えておくならば細胞同士を納めておく鎌型のような目に見ないパワーがあるようだが。

そういうわけで、人間の精神状態もオーラに反映されるのであるから、極端な形をしたオーラを持っている人はできるだけ早く自分の想念を良い方向に切り換える必要がある。そうでなければ心だけではなく肉体の病氣にまで発展しやすいからだ。

古典的な心理学にあるように人間を数種類の性格的パターンに分けて決めつけることはできないが、各人のオーラの色、形状から推測することは幾分かは可能であろう。そしてデータを集めることによつて、この人はどのようないくつかの方法も分かつてくるだろう。

ただ注意すべきことは、例え赤いオーラはその人がその色を放つことによつて安定を得ていることだ。この色を結果の世界の物で代用することによって安定を得ていると言つてゐる。そこで自身の内に存在する力に気付いていく人は安定を得ていくのである。

4 人間のエネルギー場

このように病氣と人間の放つオーラとの間には相関関係がある。では、このエネルギーはどこからどのように放出されているのか。それは現代の科学ではまだ分かっていない。西洋科学では電磁場、静電場などの二次的な結果としての値を計測しているにすぎない。また、プラナ、気、生命力、オルゴン等、時々昔からオーラを生み出すパワーに対する呼び名はいろいろある。そしてそれはこの宇宙を動かしている万物に共通なパワーである。“宇宙の意識”なのである。

最も新しい心理学の探求家K・ウィルバーはその著「アートマン・プロジェクト」の中で、人間は自身の内に存在する“力”に潜在的に気付いている。が、それを意識しないために、それを結果の世界の物で代用することによって安定を得ていると言つてゐる。そこで自身の内に存在する力に気付いていく人は安定を得ていくのである。

い。赤は積極的に他の人とつながりを持つてゆく色である。そのため、ヒーリングによって相手のオーラの色を変えようとしてはいけないのである。相手はその色の放射によつて安定を得ているのだから。

これについてはもう少し科学の発達を待つかないだらう。神はこの分野の挑戦をいつでも手を広げて待ってくれているのだ。

しかし、それでもオーラは誰もが遙かな昔から放つてきているのだ。そして人間の赤ん坊から子供を経て大人になるにつれてオーラの形になつてくる。これは神經系統と関係があるかも知れない。人体には外に見える色ともう一つ内部に見える色とがある。その内部に見える色の所はだいたい神經の束が集まっている所が多い。

神經の電線が完全に体内に張り巡らされるのは、二十数年来をすぎた頃である。つまり大人にならないと完成した人体とはならないのである。さらにそこに充分なホルモン分泌が行なわれている必要があるが。

子供こそが神を表現しているという人がよくいる。しかし聖書には神の似姿として人間が創造されたとある。神のエネルギーの通り道は神經であると言われる。またテレパシーの受信経路も細胞から神經を通して脳髄へと行くことがアダムスキーの『テレパシー開発法』に出てくる。これはスペース・ピープルからの情報であろう。そこで神經の完備された二十数歳の人体こそが神を現すものであり、大人の方が子供よりもテレパシックな感受力においてはるかに優れている筈なのである。しかしこの地球では子供の方がテレパ

シックであると思われている。それだから子供に戻りたがる大人が依然として減らないのである。

大人になるにつれて感受するチャンネルが増えてくる。そこで今まで慣れ親しんでいた暖かくせまいチャンネルから広い世界を知ることになる。しかし暗いチャンネルばかり選ぶようになつてくるために受像機である肉体自身にもガタがきて、ああ子供の頃は良かつたと溜息をつくようになる。

もつと悪くなると自分で病気を作り出してしまふ人もいる。自分のチャンネルが拡張された素晴らしさに気付く人は少ない。そして明るい建設的なチャンネルをさらに増やそうとする人はもつと少ないのである。ただ疲れていつもの習慣的なチャンネルを促され、次の日も同じことを繰り返すだけなのだ。これではいけない。自分の肉体を良くするためにも明るい建設的なチャンネルが必要である。もちろん、チャンネルではないチャネラー（靈媒）などはやめた方がよい。自分をだめにするだけだ。スペース・ピープルはそのような人々は望んでいない筈である。彼らも私たちと同じ常識ある人間なので整つてくるのである。

正しいテレパシー感受経路の拡張は肉体の細胞と神經中枢の活性化につながる。だからこれは健康法でもある。そこでオーラの形状も大人になるにつれて整つてくるのである。

5 人間の七つのチャクラ

前述した体内に色の見える神經中枢の所は昔から不思議な所として扱われてきた。そしてヨガではチャクラと呼ばれており、氣功においてはそれらの部位に名前がつけられている。それらに共通することは、超能力、即ち人間の眠れる能力を開発するために扱われていることだ。

ところがヒーリングではどうか。これは重要な問題である。病気の人の内部を見るとその色が良くない所があるので。これは私だけかと思い、人に聞いたり本で調べたりしたが、どうもそうではないらしい。そして病気が治るとそれらの色は正常な明るさに戻るのである。ただそれぞれのカルマがあるのでその人に関連のある所の色がよく見えるが。

そうしていろいろな人を見て総合してみるとだいたい七つのチャクラと呼ばれている所に相当してあるのである。しかしそれらは光としてしか見えない。また最近の心理学の世界では、自分が感情の発散を通してリラックスを得るという療法があるが、その過程において先の位置周辺に緊張が生ずることもあるということである。

以上のことから考えるとこれら内視して見える色は何かの二次的な放射であり、そのもとになっている所が健康であればその輻射も良くなると思われる。色は波動である。この場合は何の波動であろうか。肉体が健康なときには色がよく見えている。強健になるとささらに濃くなる。氣功師のオーラも濃い。ということはその部分の神經の働きが良くなり、細胞群が活性化して良き波動を放つていて色として見ているということになる。

ここで私の例を出そう。三月の初旬、私は内臓の調子を悪くしてしまった。そこで三日間静養していたのであるが、三日間に渡つて明け方五時頃に目が覚めた。いつもは布団の中でごろごろしている私なのだが。そしてその三日間の夢は、内容は違うがすべて景色にオレンジ色の夕陽のような光があるのだ。どうして同じ色ばかりを見るのだろうと三日目の朝、寝床の中で考えた。

ふと調子の良くない所の下、腸の辺りを内視してみた。するとオレンジ色の光がそこに見えているではないか。私はこれだ、と思い、内臓の細胞群にその色をゆっくりと広げてやつた。すると体内が水で洗われたような気持ちになつってきたのである。これには驚いた。清々しく気持ちが良かったのでそのまま見ていたが、いつのまにかうと六時の目覚ましのベルで目覚めた。身体はすつきりと調子が良くなつていて、その内視することが大切になつていてのである。

る。ヒーリングの初め、途中、そして治つたかどうかということを知るために。

安藤氏は経絡を透視する能力を開発しようと記録ノート片手に努力されている。氏は忍耐強い方であるから、これも達成されるであろう。要是生命力を見ようとすることがある。

6 ヒーリングの方法

(a) 心の調整

病気は自分を見つめなくなることから生ずる。これは車の運転と同じであつて、自分の心の状態が良くなくなつてきていたら、車を安全な所に止めて、一休みする勇気を持てるかどうかということと同じである。病気は一つのことをしていて突然何かを頼まれた時に自分の心にブレーキをかけてそちらに切り換えることができなくなつている時に生ずることが多い。

そこで治療に入るにはまずその人の心にゆとりと余裕を出す必要がある。

そうして想念の状態を良くしてからいよいよヒーリングに入るわけである。この部分が一番大切である。ゆとりが生まれて病気のことなど忘れてしまつたら治つてしまつたという例が数多くあるのだ。

(b) 夢の活用

病気の時に見る夢は大切である。本人の願望ばかりではなくて、細胞の働きや本人の持つている想念に対する警

告、そして対処の仕方などを象徴として表していることが多いからだ。そこで病気になる前と今の夢の内容について相手に聞いてみよう。

以前私は次のような夢を見た。

①身体がだるく、朝起きると熱のあるような状態が二ヶ月ぐらい続いていた。

ある日、機械の前のイスに座つて身體を調べられている夢を見た。そして胆のうが弱つっているということをそこに

いた人が言つたのである。数日間、そのことを気にして調整していたら身体の不調は治つてしまつた。

②夢の中で家の中から窓越しにたつ巻きを見ていた。目が覚めてから考えてみると前日に極端な感情を使つたことを思い出し、それがたつ巻きとなつて出てきたことが分かつた。そこで気持ちを和らげることによつて身體が不調にならなかつたことがある。

③調子の良くない所が治らないものか

と思っていたある日、夢の中で電氣石を首のうしろにつけよ、そして金も必要である、という場面が出てきた。

そこで友人に電氣石をかりてきてそこにつけて見ると、なんと調子が良くなつてしまつた。その時にはその石の波動を感じながら行なつた。

④ヒーリングをするための心の持ち方

と肉体の調整

ヒーリングをするためにはこちらの

心の状態も良くしておかなければならぬ。心の良くない状態の人には治して

もらおうなどとは誰も思わないであろう。ましてやその良くない状態が相手に移行しては大変である。

肉体のパワーも蓄えておく必要がある。オーラは見る側にパワーが少ないと見えてこない。そして自分自身の生

命力を見るようにしていると必ずオーラは見えてくる。見えてこなくても感

じてくるはずである。

⑤オーラと内部の色を見る

まず全身のオーラを見るような感じ

るような状態で見てみよう。そしてそれを記録する。それから部分ごとに見

てゆく。さらに下の丹田と言わ

れる内部の光の色、足のオーラの陰り

のある部分、肝臓のあたり、脾臓のあ

たり、胃のうしろを見る。それから胸

のまん中の内部の光の色を見る。次に

横からオーラを見る。出の悪い所はな

いだらうか。よく出ているのはどこだ

ろうか。

(f) 情報の手による感知

相手の患部や原因が分からぬ時は、掌を相手の身体の三センチぐらいの所

に近付けてみる。決して触れないよう

に。そして頭の中の映像を見る。それ

ができるたら手を離して相手の患部

を内視する。そして手は内臓の内部を開いて見せてくれるという確信を持つ

全集第六巻) 第十課にある『意識による旅行』の応用である。そして自分自身で練習をしてみよう。

まず心をリラックスさせていただきたい。各部分は探査する時に想像すればよい。注意としては明るく美しく見るように。見て行く順番は、もとN A S Aの大気物理学者バー・バラ・アン・ブレナン女史の方法を参考にしよう。

それでは探査してゆこう。始めに心臓の中に入つてみる。周囲を眺めまわしてみて、各組織は良いだろうか。良い感じだろうか。次に肺へ移動してみよう。内部の空間に浮かんでいる気持ちで眺めてみるとよい。ゆっくりと見

てみよう。

次に消化系統へ行こう。口から中に入り口腔の中を見回す。美しくなつてゐるだろうか。それが良ければ食道を通り胃へ移動してみよう。そして小腸、大腸へ。すべて良いだろうか。

今度は肝臓へ戻ろう。それからゆっくりとすい臓、脾臓へ。それらはうまく機能を果たしているだろうか。

生殖器官へ移動してみよう。

もしこれまで見てきた所でどこかが

気になつたら、そこに愛と調和の乳白色のパワーを与えよう。もしその浄化が必要なら、浄化している気持ちになろう。

この要領を会得したなら、いよいよ他の人を見てあげるとよい。必ず記録をとること。

これは『生命的の科学』(アダムスキーキー) である。

㊱ 宇宙の意識からのメッセージ

宇宙の意識は万物を知るものである。

従つて相手の持つ情報も分かるのだ。

初めは悪い所はこらしいといふことしか分らない。その原因は三つ考えられる。

①必ず分かるという確信が少ないために意識に働きかける力が弱く情報量が少ない。

②情報が発せられているのだが、身体の細胞が不活発、または緊張状態のために分からぬ。

③情報が発せられているのだが、脳の方で増幅される量が少ないためよく分からぬ。

そこで①、②、③を乗り越える方法を自分で考え出さなければならない。

①を乗り越えるためには内視する練習を積み重ねて、必ず分かるものなのだと心に思わせるしかない。

②と③は『テレパシー開発法』の応用である。自分自身で考えていただきたい。やはり自分から開発しようという意志がないとだめなのである。

③の例では次のようなことがあつた。今年の三月のある日、総武線の上りに乗つていた時のこと。ふと誰かが話をしているような気がしてそちらを振り向いた。するとそこには2人の女性が親しく話をしていた。しかし声も聞こえず、内容も分からない。つまり肉体は話をしている印象を感じて脳へ伝えただのだが、その内容までは脳で増幅さ

れなかつたのである。それが聞ける状態になると老子の「谷の神々の声を聞えられる。

(I) 肉体の経路としての活用

ヒーリングを行なうには、

①自分の内部にある意識と相手の意識との間に距離はない。

②私が思えば相手の細胞に必ず伝わっている、と思うことである。そうして『生命の科学』の第七課を確認するよ

い。その課には日本でいえば念力についてのことが詳しく書かれている。

(II) ヒーリングには反復思念とイメージ法が良い

ヒーリングを行なうには明確な「治すのだ!」という気持ちと細胞に呼びかける力が必要である。アダムスキ

ー氏にもかなりの治病例があつたそうである。

『宇宙哲学』はこういう所にも応用で

きるのだ。『UFOとアダムスキー』(アダムスキー全集第三巻)にも『生命の科学』の応用によって一本の育ちの悪い

リンゴの木が美しい花を咲かせる素晴らしい木に変わつたことが出てくる。

細胞に呼びかけるにはイメージを思い描くことが一番であり、そのイメージを思い描くには言葉を繰り返し唱える反復思念が必要なのである。

ヒーリングのための細かいテクニックについてまだ研究中であるのでいずれ発表したいと考えている。

手乗りセキセイ・インコを手の上に

乗せ、行つてほしい場所を明瞭に思い描く。するとインコがそちらへピョンと飛び移るというようなことを大学生の頃によくやつた。

人間の肉体細胞や体内の水分、そしてそれらの分子群もそのような呼びかけによつて自分から変化をするはずである。ヒーリングのテクニックはいろいろあるが、このような方法が基本で

あろう。

アダムスキー氏は耳の不自由な人に意識から意識に話しかけることによつてその人の耳を治したということがあ

るそうだ。

7 植物との対話

私たちも動物とのテレパシー練習は

よく行ない、かなりの成果を収めてき

ている。しかし植物や単細胞生物に対

してはほとんど行なつていかない。

植物が動く筈がないと思つてゐるの

である。しかしそうではない。植物に

は明らかに動物の筋肉に見られるよう

な動きをする機構が茎にあることが發見されているのだ。その一番身近な例

はアサガオのツルである。それはあた

かも触覚のように空間を動きまわり、

棒を見つけると巻きついて行く。人間

だけでなく、万物に話しかけることができるのだということを身体でもつて実感してゆく。

この原稿の下書きを書いている途中、電池のパワーがなくなつて昨日から止まつていた目の前にある直径五センチばかりの時計がひとりでに動き始めた。

電池が再充電されたようである。これも電池に対する呼びかけであろう。

8 意識の海

こうして私たちは万物を生かし動かしている宇宙の意識の海の中にいるこ

とが分かつてくる。

美しい花が調和しあつて咲いている花畠のように、私たちはその中に暖か

い愛のフィーリングを宇宙の英知の生命力から受けているのだ。私たちの肉体が健康な経路となるとき、そのパワーは万物へと放射されて行くものとなるのだ。

以上、ヒーリングとテレパシーの応用法について述べたが、これにはオーラ透視が重要な役割を果たすことを強調したい。オーラ透視はアダムスキーの宇宙哲学と関係ないと言つて否定的反発的態度を示す人がいるけれども、そんな人のオーラを見るとき濁つた汚い色をしていることが多い。アダムスキーもオーラ透視力をもつ超能力者で、常にこの能力を応用していたという。

著書の中でそのことに言及していないだけなのである。

テレパシー現象の医学的考察

N·H·M·D

パート1

アダムスキーエ全集第六巻『生命の科学』の第四課から、以下のような命題を読み取ることができる。

- (1)個人の記憶はDNAレベルで保持され、かつ子孫へ遺伝されてゆく。
- (2)人間のDNAには過去に存在した全生物の記録が保持され、遺伝されてきている。
- (3)細胞のDNAレベルと中枢神経の間には、双方向情報通信メカニズムがある。
- (4)肉体細胞はDNAのレベルで外界からの想念波動を感じ、それを心へ伝達する。

テレパシーのメカニズムは(3)および(4)の解説によって説明され得ると考えられるが、大変難解な問題を含んでおり、ここでは生体の磁場感受のメカニズムをアナロジー（類推）として示すにとどめる。

分子生物学と量子化学および物理学の知識をまじえての推測だが、DNAの二重螺旋構造内の塩基のπ軌道によってDNA内に電子の流れが存在して

おり、しかもDNAはスーパーソレノイド構造をもつて細胞の核内に収まっているので、そこには磁場が形成されている。

ここでDNA自体が超伝導体であると考えれば、ジョセフソン効果が存在して、隣接する細胞のDNAとの間に電流が発生していることになる。

この電流は外部磁場の変化に影響され、その変化が既知または未知の感覚受容器を刺激して、中枢神経系に向かうインパルスを発生させる。このようにして磁場を感受できるとしたら、類似のメカニズムによって『想念波動』を肉体細胞が感受し、それを心に伝えようというアダムスキーエの説明も理解しやすくなるだろう。ただしモノポールが関係するとなると、まだしばらく科学の発達を待たねばならない。

(1)および(2)についてもDNAの蛋白質合成・遺伝形質発現機能という化学的側面だけでなく、『波動』の感受と保持、そして発信機能という物理的側面および高次脳機能における『思考』『意識』『記憶』のメカニズムの解説も必要で、これには生物物理学、分子生物学、量子化学、神経科学等の英知の結集が必要であろう。

テレパシーの研究は従来の心理学的アプローチよりも、生命現象としてのテレパシー発現機構をDNA—細胞—マインド（心）系から科学的にアプローチすることが来世紀の課題となろう

が、驚異的なテクノロジーの進歩によつて、案外近い将来、本物のオーラ画像診断装置や想念検出装置が開発されようかもしれない。

他方超能力者自身による研究が一番の近道となる可能性もあり、その意味で個々人レベルでの能力開発もテレパシーの解明に非常に重要であるといえよう。

パート2

人体の恒常性維持には主として神經系、内分泌系、免疫系が大きく関与しているが、神經系は自律神經によつて内蔵諸器官を統御し、内分泌系はホルモンによつて体内の標的細胞の活動を制御している。これらの系はそれ相互作用をおよぼしあい、フィードバックシステムを構成すると同時に、大

脳の精神活動によつて影響を受け、そのバランスの崩れがいわゆる心身症や免疫能力の低下状態を引き起こす。

神經系における情報伝達は神經纖維を伝わる電気的なインパルスと、神經細胞（ニューロン）間のシナプス（神經接合部）およびニューロンと効果器（心）間のシナプス（神經接合部）において、想像波動（物理的）現象との関係はいまだに不明である。

マインド（心）→DNA系の『記憶』プロセスにおいて、想像波動（物理的）量子的？パルス信号）→DNAの物理的変化（逆もまた同様）による波動の保持という國式を想定すると、細胞のDNAを構成する原子・分子は細胞分裂時に確実に入れ代わってゆくが、DNAの基本的構造は維持されている

に『想念波動』も考慮に入れなければならぬ。精神活動によつて想念が発生すると、それが波動 and/or 粒子（実体は不明となつて）人体内を瞬時にして浸透してゆき、細胞とDNAに直接影響を与えると考えられる。するとDNAにはその想念波動に対応した物理化学的变化が起ることにより、想念が人体細胞のすべてのDNAに等しく記録されることになる（ここでホログラフィーを連想されるかもしれない）。

こうしてDNAレベルでの個人の活動の記録の保持＝記憶のメカニズムが成立しているというのがパート1の(1)の部分的説明となろう。

一方、大脳における記憶のメカニズムの研究においては、ミクロのレベルでのニューロンネットワークの局所的な回路でのシナプスの増強が明らかにされており、シナプスの可塑性とその変化のもとになる化学物質の解明が進められている。しかし、この分子のレベルの過程とマクロのレベルでの記憶現象との関係はいまだに不明である。

マインド（心）→DNA系の『記憶』プロセスにおいて、想像波動（物理的）量子的？パルス信号）→DNAの物理的変化（逆もまた同様）による波動の保持という國式を想定すると、細胞のDNAを構成する原子・分子は細胞分裂時に確実に入れ代わってゆくが、DNAの基本的構造は維持されている

ので、その構造自体の特性が『記憶メカニズム』の鍵を握っていると想像できる。そして一個の細胞におけるDNAのある一つの変化も、身体のすべての細胞のDNAにまったく同様の変化を生じさせると想像することも可能である。

以上、メンタル・テレパシーに対する細胞テレパシーとも言えるメカニズムについて考えてみた。

次に想念・感情と関連して大脑における高次精神機能の研究を見ると、最近開発・普及のすんだいたプロジェクションCT(=PET・陽電子断層撮影装置)、磁気共鳴画像装置(MRI)、そしてSQUID(超電導量子干涉素子)等が有力な画像診断装置として期待されている。生体においてPETから脳局所の化学的機能解析、MRIから形態的解析、SQUIDによる機能的局所解析が可能であり、これらによる脳の統御的機能の研究が補助的に進めば、人間の精神機能の解明も夢ではなくなる。

そしてもしそれらの装置を超能力者の能力発現時に適用すれば、大脑における『超能力中枢』の局所固定と、そこでの生化学的变化の解明が可能になるかもしれない。具体的には、たとえば透視能力発現時における脳内の解剖学的責任部位と、そこでの生化学的变化・神経伝達物質の解明が可能となり、それにより逆に人体外部からの透視

能力中枢を活性化する方法が開発されれば、精神性や能力開発訓練とは必ずしも関係なく透視能力を発現させ得る。これは他の『超能力』についても同様である。

以上、推論に推論を重ねて述べてきたが、いざれにせよジョージ・アダムスキーの『生命の科学』と『テレパシー』開発法はその高度な精神性もさることながら、超絶した先進科学をわれわれに示唆してくれているというのが実感である。

ペーパー3

1. 反復思念の生理心理学

2. θ rhythm resonance (シーティー波共振)

ある特定の思考または想念のリズミカルな反復(反復思念)を行なうと、大脳の前頭葉から下行性神経路を通して大脳辺縁系へも神經インパルスの周期的刺激が伝えられる。辺縁系には動物実験で報酬系として知られる外部からの電気刺激によって快感を生じる部位があり、これはドーパミン作動神經の分布とほぼ一致している。ヒトの場合、辺縁系内の中隔核といわれる部分が快感発生部位として特定されており、また脳内の他の部位同様、辺縁系にはオピオイドレセプターの存在も認められている。

反復思念による律動的神經インパルス刺激が、上記の中隔核を中心として

神經伝達物質であるドーパミンと内因性オピオイドペプチド(エンドルフィン)を増加させ、爽快感または快感が生じると思われる。さらに辺縁系から視床下部そしてその支配下にある自律神經の作用により、何らかの影響が内臓諸器官にもおよぶと考えられる。

反復思念を三十分間続けると辺縁系の刺激により気分と情動の変化が生じ、六十分では神經内分泌系及び自律神經に支配される内分泌器官にも変化を生ずる場合がある。筆者の体験では前胸部の、おそらく胸腺(免疫系のTリンパ球の成熟に必要な器官)における脈動感や腰椎部の単発音が発生し、その後テレパシックな感覚が一時的にせよ若干向上した。

反復思念を一週間続けた後、精神の高揚感と共に外界が光り輝いて見えるようになつたという報告があるが、このような『光輝感』は意識の変性状態(altered state of consciousness)つまりASCといわれる変性意識であり、これは心理学的には空間感覚、時間感覚、自己感覚、主観と客観、言語感覚等の喪失や恍惚性、一時性、受動性、宇宙識によつて特長づけられている。

したがつて反復思念の究極状態は自己意識の無限膨脹感、すなわちアダムスキーの言う宇宙の意識との一体化の発生であろう。ただし他の方法によつてもこの状態に達することは可能であるなど、超常感覚と θ 波との関連が報告されている。またR.A.モンローの体外離脱体験時にも θ 波が観察されると、開眼覚醒状態で前頭葉・頭頂葉優位に θ 波が安定的恒常に出現し、外部刺激によく反応できる一定水準の覚醒状態を保つている状態であることが報告されている。またR.A.モンローの体外離脱体験時にも θ 波が観察されると、開眼覚醒状態で前頭葉・頭頂葉優位に θ 波が安定的恒常に出現し、外

動物実験によると、大脳辺縁系の海馬から θ 波の発生が確認されており、そこから大脳皮質への神經投射により皮質ニューロンにも θ 波が出現する。

考えられている。意識の覚醒状態は脳幹部の上行性網様体賦活系(ARAS)つまり、Ascending reticular activating systemの作用によって維持されるが、『開眼覚醒状態で感覚入力が研ぎ澄ましていてθ波が出現している状態』とは、ARASによつて覚醒状態が維持された上で、海馬θ波が大脳皮質・大脳辺縁系・脳幹部に渡り(中枢神経系全体が一体となつて)共振して出現してゐる状態(θ rhythm resonance)であると考えられる。(synchronized という用語はθ波等の速波がθ波等の徐波に変化する)と意味する。

この現象で特長づけられる覚醒状態(alertness)は、『いつみればESP(Extra sensory perception)に対するI-ESP (Intrinsic sensory perception)』へ歸ぐる意識状態を間接的にあらわしており、これがアダムスキーの言う印象感受状態に対応すると考えられる。そしてこのI-ESPがFeelingであり、スペース・デザーが言うところのState of alertnessまたは意識的意識に通ずるのである。

I-ESPの“一”、お Instinct, Intelligence, Inherence の “一” やある

3、超能力遺伝子

個人個人の種々の能力が親から遺伝されてきているのと全く同様に、『超能力』の表出も遺伝によつて左右される。先天的に或る超能力の現れる個人

の差があるが、それはつきつめればすでにgene(s)(遺伝子) DNAのレベルで規定されていると考えられる。そこに先天的な『超能力遺伝子』の存在が予測できる。

何らかの練習により体质変換が生じて超能力が発生するというのは、人体の全DNAレベルでの質的変換が基礎になるものと思われる。これは強力な想念作用、イメージング、反復思念等によって可能になるであろう超能力の後天的獲得?ということになる。ただしこれがバイオテクノロジーと結びつき、そこに何等の倫理的規制がなければ、超能力による形質変換と、それによる人間改造の危険性が生じ、そうなればアトランティス文明末期の状態と相似形になるであろう。技術的に可能なら何でも実行しようとする現在のバ

イオテクノロジーや医学分野の方向性は、まさに『アトランティスの教訓』と逆の方向に突き進んでいるようになる。超能力研究に深い思慮と最高度の理想が要求される所以である。

まことに、この素晴らしい成集いで、支部代表の清水さんがとてもしっかりと下さっているので、非常な楽しみです。支部月例会での話しされていたことを知つておられるという後天的獲得?ということになる。ただしこれがバイオテクノロジーと結びつき、そこに何等の倫理的規制がなければ、超能力による形質変換と、それによる人間改造の危険性が生じ、そうなればアトランティス文明末期の状態と相似形になるであろう。技術的に可能なら何でも実行しようとする現在のバ

イオテクノロジーや医学分野の方向性は、まさに『アトランティスの教訓』と逆の方向に突き進んでいるようになります。そこで、すでに全国の近況報告が終了して連日の激務の疲れが出たため、きようはまだ遅れて会場の横浜勤労文化会館に到着した。会議室に入つてみると、すでに全員の近況報告が終了していたようであった。着席してホットと一緒にやかに語りかける。

清水「山木さん近況はどうですか

山木「最近実行している事は、東京月

例会におけるテレパシー練習で、遠藤氏が『自分の周囲に青い霧をイメージすることによって周囲の人や物を浄化するようなファーリングを起こす』といふ指導をされていますが、それをヒントにやつてみた事です。

つまり私は仕事がCE(カスタマーエンジニア)ですので、かなり神経をつかいます。不快な気分になることも多いですが、そんなときには自分が開拓するイメージを描き、その人物が良くなつてゆくようにしてあげます」

なるほどねえ、といった表情を浮かべる出席者の方々。きょうは雨天のために総勢五名。少人数である。

私たちの研究のひとつであるテレパシー(透視や想念感受など)は、まだ日本では公認されていないようだが、米国などではすでに国家レベルでの研究が行なわれている。もちろん科学分野としての研究であり、決して心靈的なものではない。米国のデューク大学が開発したESPカード(ゼナーカードともいう)は単純な图形五種類から成るもので、テレパシーの送信や受信能力の開発に非常に有効である。

またテレパシーは決して特殊な能力ではない。アダムスキーの語るところによれば、テレパシー能力は万人の内

楽しい横浜支部月例会

Pleasant Meeting of Yokohama Branch by Masumi Yamaki

山木益巳

本誌15号の素晴らしい内容に感動しております。デザートセンターの特集が圧巻ですが、横浜支部でも大反響を

かのように感受できたと伝えられてい
るから、オーラ透視などお手のものだ
ったろう。

以前、私が直接指導を受けた故龜田
一弘氏は、とても透視力の発達した方
だった。また知人の遠藤昭則氏は毎月
東京月例会でテレパシー練習を指導さ
れているが、この方もかなりテレパシ
ー能力をお持ちである。そして私自身
もいくらかのテレパシー体験があるの
だが、二つほど述べてみよう。

高校時代のことであつた。あるクラ
スマートがESPカードを学校に持つ
てきたのである。たちまち數名がカ
ード透視をトライし始めた。私もその中
に入つて透視練習をしてみたのだが、
これがなかなかおもしろい。

昼夜休みにカードを借用し、実験室に
閉じこもつて一人で透視の練習をして
いたところ、カードの図形がハッキリ
と透けて見えたのであつた。カードは
かなり厚いためにケイ光灯にかざして
も図形が透けることなど全くない。

私はその体験によつて自分の内部に
確実にテレパシー能力があることを確
信したのであつた（これは透視）。

またときどき対談しているとき、相
手が話そうとしている内容がわかるこ
ともある。以前はそんなときには相手
に「今こんなことを考えていますね？」
と質問したり、あるいは自分からその
内容を話したりしたものだつた。

「なぜわかつたんですか？」それ、今私

が言おうとしていたことですよ」と言
われると、いつもいたずらっぽく笑つ
たものだが、今は相手に対して失礼か
と思い、やめている。これは想念感受
である。

なぜこのようなテレパシー現象が発
生するのかは現在の科学では解明でき
ないが、科学がもつと進歩すれば解明
できるだろう。

さて日本GAP横浜支部月例会は、
このあとゼナーカードによるテレパシ
ー練習や、本誌最新号の感想を述べあ
つたりして、なごやかな雰囲気のうち
に終了した。毎月すてきな集いがもて
ることに対し、特に支部代表の清水
正氏に感謝の意を表したい。

Strange Things I Witnessed
by Noriko Shinozaki

このあとゼナーカードによるテレパシ
ー練習や、本誌最新号の感想を述べあ
つたりして、なごやかな雰囲気のうち
に終了した。毎月すてきな集いがもて
ることに対し、特に支部代表の清水
正氏に感謝の意を表したい。

私は不思議な物を見た

篠崎典子

昨年（六十三年）六月二十九日（水）、

名古屋市で開催されている名古屋支部
主催のUFO写真展を見るために、当
時住んでいた甲府を朝七時二十二分に
出発して、途中塙尻で乗り換え、昼の
十二時近く頃、台風の影響でドシャブ
リの名古屋に着いた。

駅の観光案内では会場の『アピタ緑』
を探して、十七時の『しなの27号』で
名古屋を出発するつもりでいた私は、
「地下鉄を乗りついで、その後バスで二

十分三十分はかかりますよ」という案
内の方の声をあとに急いで。

地下鉄を乗りつぎ、『あらたま橋』で
バスを待つていたが、十五分という待

ち時間が惜しくてタクシーに乗つた。
ところが『アピタ緑』は休館だつた。

タクシーの運転手さんは大変氣の毒が
つてくれたが、結局近くの駅に降ろし
てくれた。

このときは本当に自分のうかつさに
ガックリきた。どうして前もつて確か
めなかつたのか——。

私は徳川美術館を見学して十七時の
『しなの27号』に乗つた。いつたい何を
しに往復八時間以上もかけて名古屋ま
で来たのか、われながら情けない気持
だつた。

塙尻で娘に電話をかけて、二十一時
三分には甲府に着くからと伝えたあと、
十九時十三分に各駅電車は塙尻をゆつ
くり出発した。

外は雨もあがり、だいぶ暗くなつた。
私は窓に顔をつけて車内の明かりをさ
えぎるように両手で目のまわりを覆つ
た。夜の暗闇が視界にはいつた。

いくつの駅を通過したか覚えていな
い。黒いシルエットの山がつらなつて
見えた。

とたんに、山の中腹に五円玉くらい
の大きさのオレンジ色（山に沈む太陽
の光に似ている色）の光の玉がクルツ
クルツと、すごいスピードで回つてい

「アツ！」と驚いた私は、なんともい
えない最高に満ちたりた喜びを感じて
顔を窓に張りつけた。走っている電車
の中から見ているのではつきり分から
ないが、一回転することに中の光が外
に流れるような感じがした。

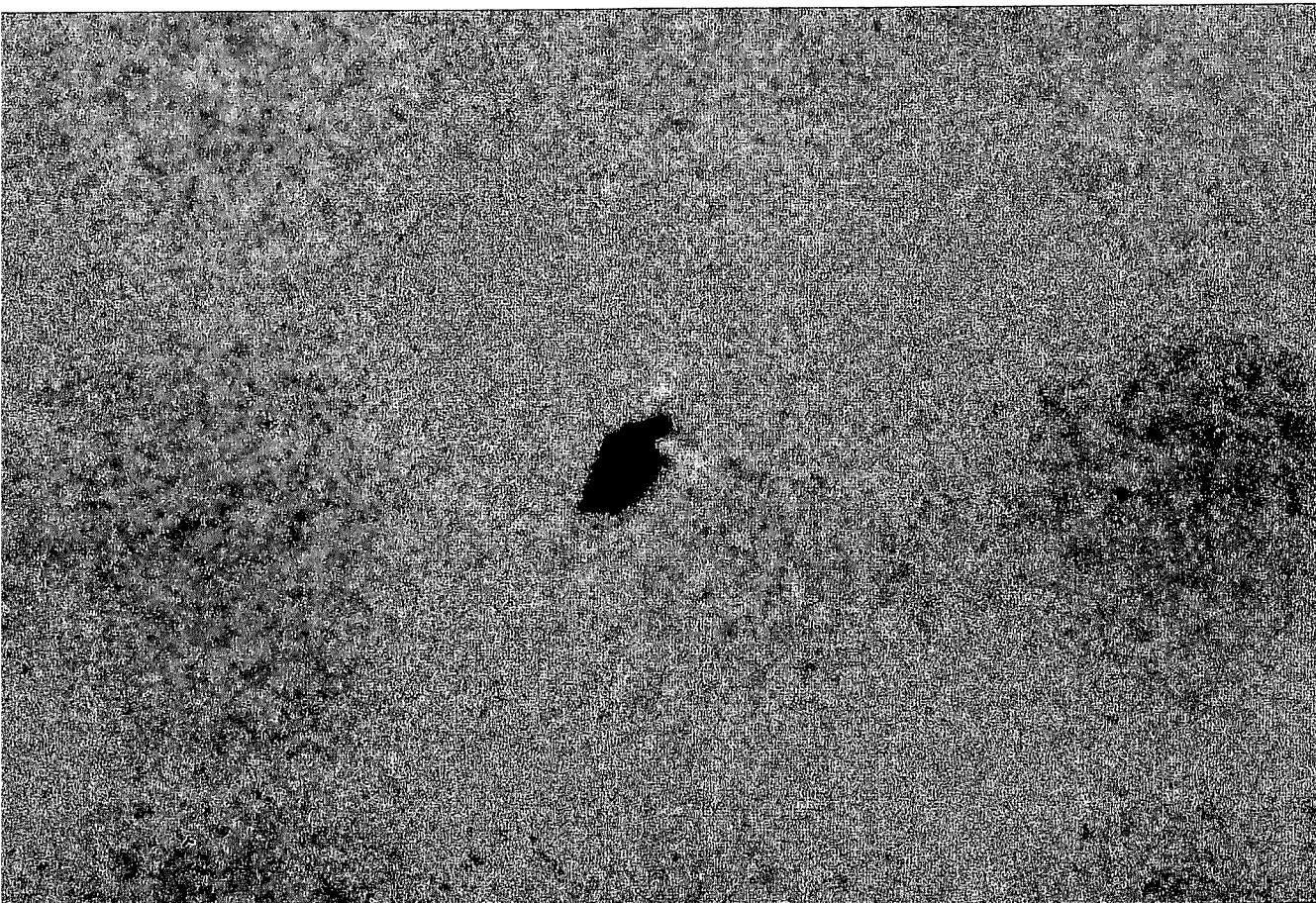
そしてまた私はまばたきをした。今
度は山と山の谷あいに白い光体が回転
するのが見えた。計二つの物体がいた
のである。これは今でもUFO以外の
何物でもなかつたと思ってる。

しかしながら別な不思議な物を見た。
山の中腹にオレンジ色の球体を見てび
っくりしていたとき、電車に近い暗黒
の平野の中にホテルの建物みたいな物
が見えて、しかもその建物の屋上の所
に二～三個、同じようにクルクル回る
物体があつた。

私は山のオレンジ色の球体と見くら
べてみたが、球体の方は完全に中腹で
独自に回つてゐるようで、その辺一帯
には人家の灯火はまつたくなかつた。

それから一週間後の水曜日、転勤で
松本を引き揚げる主人について行き、
私は一人で松本から昼間（二時頃）の
各駅電車に乗り、目をこらしてそれら
しい物を探したが、山の二個の球体も
ホテルらしい建物も見つかなかつた。

これはいつたいどういうことなのだ
ろうか。社宅の奥さんに話したら笑わ
れたけれども、今でもそのときの光景
を鮮明に覚えている。（他にも頻繁に目
撃しているという。編者）



An Adamski-type Saucer Appearing Over Fujiyoshida, Yamanashi-Pref.
Photo by Kiyomi Kawai

●富士吉田市上空のアダムスキ一型円盤

昭和62年4月のある日、三重県久居市の会員・河合清美氏(36)が仲間7名と富士山へUFO観測を行ったあと、富士吉田市(山梨県)の浅間神社に立ち寄って本殿前広場で空中にテレパシーで呼びかけたところ、突如10数機のアダムスキ一型円盤が出現して上空を乱舞した。驚いた河合氏は手にしていたカメラでその内の1機を見事にキャッチした。このときは10名ほどの人も目撃している。

(ミノルタα9000／100~200mmズームレンズの200mmで撮影／フジクローム100(原画はカラー)）

（国内外紙に掲載された科学記事を抜粋紹介。各記事末尾のカッコ内数字は掲載月日を示す）

低温核融合反応、試験管で達成

二十一世紀の夢のエネルギーといわれた核融合反応を従来の超高温の条件下ではなく室温で試験管程度の簡単な実験室レベルの設備で達成した——。事実とすれば高温超電導の発見よりも大きな今世纪最大級の発見で、米国と英国の研究者が三月二十三日、米ユタ大学（ソルトレークシティー）で発表した。英サウサン

ブトン大学のマーチン・フライシュマン教授（六三）と米エタ大学のスタン・ポンス教授（四六）の二人の電気化学者で、二人とも電気化学界で業績のある科学者として名が通っている。

核融合反応は水素の同位体である重水素や三重水素などの原子核を融合させた時に出る膨大なエネルギーを利用しようため、核融合反応がエネルギー源として利用できるようになれば、人類はエネルギー問題から解放されるといわれる。しかしそのためには重水素と三重水素の原子核をバラバラにしたプラズマ状態にし、



▶実験に使用した試験管を手にするポンス教授（左）とフライシュマン教授。

原子核同士を超高温で閉じ込めて反応させなくてはならないと思われてきた。そのため欧米、ソ連、日本は国家プロジェクトとして、何百億円もする巨大な装置を建設し、競い合ってきた。今回の核融合反応はこうした常識を一挙に覆すものだが、多くの学者は半信半疑だという。今回の二人の実験装置は実に簡単で、研究者自身が「あほらしいくらい簡単」と言い、「ファインシャール」紙は「試験管の中の核融合」と名付けている。発表によると、大きさは不明だが、重水素を入

体（UFO）と遭遇、「ディスカバリー」が追跡され、一時的にコントロール機能が失われる事態が発生していた、と報じた。

同紙によると、UFOとの遭遇は「ディスカバリー」と米航空宇宙局（NASA）との交信で判明したもので、全米各地のアマチュア無線家がこの交信を傍受したことから明るみに出たという。

ボルティモアの男性が記録した交信テープによれば、「ディスカバリー」の乗員されたタンクにパラジウム製とプラチナ製の二本の電極を立てただけ。これに電流を流しただけで重水素の核が結び合わされ、そのうちのいくつかは融合したという。融合反応が起きた証拠として従来の化学反応では絶対に生じない三重水素や中性子、ガンマ線が検出され、同時に多くの熱が発生したことを挙げている。しかし、どのような過程で核融合するまでに至ったかは研究者自身も分からないという。二人は投入したエネルギーよりも発生したエネルギーの方が多くなる条件も確認できたという（3・24 読夕）。

フォボス2号、交信絶

三月二十八日のソ連国営タス通信によると同国の火星探査機「フォボス2号」は二十七日、地上との交信を絶ち、現在も交信不能となっている。2号は二十七日、火星の衛星「フォボス」の表面を撮影するため方位を転換したが、その後地上への映像伝送はない（3・29 読夕）。

ソ連宇宙船に日本人飛行士

NASAは「ディスカバリー」がUFOと遭遇した事実はないと否定している（3・30 信毎夕、31サンケイ）。

ソ連宇宙船に日本人飛行士

ソ連宇宙総局と日本の東京放送（TBS）は三月二十七日、TBSもしくは同社の推す放送記者を日本人飛行士としてソ連の宇宙ステーション「ミール」に滞在させることで合意、協定書に調印した。

在させるところで合意、協定書に調印した。アメリカのスペースシャトルに搭乗する日本人飛行士は一九九一年七月に打ち上げ予定なので、日本人宇宙飛行士の第一号になるかもしれない。

五月末候補者を二人に絞り、二人はソ連でトレーニングを受け、最終的に一人

がソ連宇宙飛行士二人と宇宙船「ソユーズ」に乗り込む。宇宙飛行は「ミール」に滞在の六日間を含め計八日間となる（3・28 読）。

たばこ→肺ガン、危険率二十年前の二一

四倍

米国ではたばこで肺ガンになる危険率が過去二十年間に男で二倍、女では四倍も増えているという。最近出された米国公衆衛生監視の喫煙と健康に関する報告書に表れた数字だが、日本でも似たようなデータが得られている。平山雄・予防がん学研究所長が四十歳以上の成人、約二十六万人を対象にした十七年間の追跡調査によると、昭和四十年代、一日の喫煙本数が二十一～二十九本の標準的な喫煙者の肺ガン相対危険度は四・三倍だったが、五十年代半ばになると八・八倍に上昇。こうした傾向はすべての喫煙本数で見られ、多いほど顕著だった（3・28 読夕）。

異常雲、騒ぎ再び起つる

シベリア上空などで昨年八月から十一

月にかけて、ドーム型をした巨大な「異常雲」が相次いで発生していたことが三月十五日明らかになった。日航の機長報告などから分かったもので、同社は一万

台を警戒してう回路をとるなど緊急対策に追われる一方、東京天文台や気象庁に協力を求め異常雲の解明に取り組む。

一例として昨年十一月二十七日ロンドン発成田行き日航402便「ボーイング747-300」がシベリア上空を高度一万一千㍍で飛行中、現地時間の午前一時十分ごろ、北緯六度二分、東経八度四六分のシベリア上空付近で突然右

手前方水平線上に半透明のドーム型の異常雲が出現。瞬く間に同機の進路を覆

い、機体がこの中に突つ込みそうになつた。このため機長はあわてて進路を変えう回したという。再び起きた空のミステリー現象に専門家も首をかしげている

(3・16日経)。

「オボスの写真」を撮影

三月二十六日、ソ連の無人火星探査機「オボス2」から管制センターに送られ、来た火星の衛星「オボス」の表面の写真。オボス2は八年七月に打ち上げられ、ことし一月火星の周回軌道に入ることに成功していた(3・27読)



低温核融合の実験に各地で成功の情報

東京農大工学部の小山昇教授らは三月三十一日、この「低温核融合」を独自の方法で実現したことを明らかにしたといふ(4・1読)。試験管を使つた低温核融合の再現実験に米テキサス農業・鉱業大学の研究チームが成功したと同大のスパークスマンが三月九日発表した(4・10読)。米ジョージア工科大チームも四月十日、低温核融合の実験を行ない、核融合反応の直接証拠となる中性子や三重水素(トリチウム)の測定に成功したと発表した(4・11読)。ソ連のタス通信が四月十二日伝えたところによると、モスクワ大学の研究チームが常温核融合の確認実験に成功し、核融合反応によるとみ

られる熱と中性子の発生を観測した(4・13読)。低温核融合で世界的なフューバーを巻き起こした米ユタ大のスティンリー・ボンス教授は四月十七日、新たに低温核融合実験を行なった結果、これまでよりもっと多量の熱エネルギーが発生、実験の効率が高まつたと発表した。同時に教授は同実験が六十を超す大学、民間研究所で部分的ながら既に実証されていることを明らかにした(4・19読)。

低温核融合、各地で否定の見解

世界的に注目を集めている低温核融合の確認実験を行なつていた日本の北大工学部・理学部の研究グループは、「最初に発表した英米研究チームの実験結果は、単に化学反応によるもので、実験方法やデータの取り方にミスがあつた」と結論づけ、予定していたグルーピー共同の追試は行なわないことを四月二十一日までに決めた(4・22読)。化学結合の研究で一九五四年度ノーベル化学賞を受けた米国のライナス・ポーリング博士はこのほど英科学誌ネイチャーより書簡を送り、英米の二科学者が達成したとされる低温核融合は化学反応にすぎないと指摘した(5・10読)。英原子力エネルギー委員会スポーツマンは八日、同委付属研究所の科学者が低温核融合実験を行なつたが、大規模エネルギーの発生に失敗したと発表した。英政府の権威ある研究所に「失敗」と断定されたことは、成功説に致命的な打撃とみられる(5・9読)。

常温核融合説は「イカサマ」

米マサチューセッツ工科大学(MIT)の著名な核物理学者ロナルド・パーカー博士は五月一日付の「ボストン・ヘラルド」紙の会見記事の中で、ユタ大のボン

ス、英サウサンプトン大のフレインシュマン両教授が三月に発表した常温核融合成績説は「科学的ホラ」であり虚説だと発表した。MITプラズマ核融合センター所長を務めるパーカー博士は「私が突き止めた限り、常温核融合成功説はイカサマであり、こんな連中は科学界から追い出さなければならぬ」と強調した(5・2毎)。

ボリオ・ワクチン開発のソーエク博士、エイズ退治でも「ホームラン」?

小児マヒ(ボリオ)ワクチンの開発者として知られる米国ジヨナス・ソーエク博士が六月八日、カナダのモントリオールで開かれている世界エイズ(後天性免疫不全症候群)会議で、エイズに効くワクチンの開発に成功しつつあることを明らかにした。現在、臨床実験を進めているが、チンパンジーを使つた実験では体内のエイズ・ウイルスがこのワクチン投与で完全に死滅する大きな効果を示したという。同ワクチンの実用化の時期について同博士は明言を避けたが、エイズ患者には大きな朗報である(6・9毎)。

エイズ薬副作用を除く新薬

エイズやガン患者への大量投薬の副作用が治療の上で大きな障害となつていて、米のバークレーにある医学研究財団アリン・ファンデーションのケネス・N・マツムラ開発部長(四)はこのほど、この副作用をほぼ完全に取り除く新薬の開発に成功したと発表した。骨髄破壊の防止に威力を發揮する(5・8朝)。

ワープロ上手ほど首や肩の疲れ少ない

ワープロ上手な人がキーボードを見ないで打つアンドウチッカは、作業の姿勢からみても、キーボードを見ながら打

新型ホログラフィー電子顕微鏡を開発

物質表面の凹凸を原子の大きさの百分の一まで観測できる新タイプの電子顕微鏡が日立製作所基礎研究所の長我部信行研究員らによって開発された。厚み方向の変化をとらえる分解能では世界最高といふ。超微細なひずみが問題になりつづける半導体技術や、物質表面の研究などに大きな役割を果たしそうだ(5・29朝)。

宇宙研ロケット、大型化へ

日本政府は、文部省宇宙科学研究所が金星やすい星に探査機を送り込める大型固体燃料ロケットを開発することを認め方針を固めた。これまでには宇宙研が開発するロケットは「直径一・四㍍まで」という「たが」をはめられていた。これにより宇宙研は鹿児島県内之浦町のロケット打ち上げ場の限界とされる直徑二・五㍍の固体燃料ロケットまで開発を進めることができるようにになる(5・29朝)。

日本の宇宙開発戦略、二〇〇〇年ごろ無人往還機

宇宙開発委員会は二〇〇〇年ごろまでに無人宇宙往還機「HOPE」を開発、実用化するとともに、有人の往還機「スペースプレーン」の基礎的、先行的研究を進めることを基本とする方針を固めた。「HOPE」は現在開発中の純国産「H2ロケット」で打ち上げる(6・5朝)。

つ目視法より疲労が少ないことが関西医科大学の中迫勝講師(男)『衛生学』の調査で確かめられた。この理由は原稿や画面、キーボード間の視線移動が少ないことのほか、打つ時の姿勢で力の変動が目に視法に比べて少ないためとわかつた。(5・17朝)。

GAP短信

GAP News

★栃木支部UFO写真展、大盛況

去る五月三日から七日までの五日間、宇都宮市の栃木会館で開催したUFO写真展は連休を含み、さらに新聞等で大きく宣伝されたため、計一、五八六名もの入場者があり大成功を収めた。今日は写真パネルの展示に加えて「UFOとアダムスキー」と題するオリジナルスライドの映写、GAP会員撮影のUFO写真コーナー、テレパシー実験コーナー、栃木支部作成になる三八頁もある「UFO入門書」の無料配布、ビデオ映写コーナー、その他、渡辺克明代表と会員による盛り沢山企画が成功的の要因となつた。右の写真

○写真展開催を企画

栃木支部は五月の大成功に続き、來たる七月二十一日（金）から二十四日（月）までの四日間、栃木県鹿沼市の福田屋百貨店にて同店と下野新聞社との後援のもとに「宇宙からのメッセージUFO写真展」と銘打つて盛大に開催する。会場では五月と同じくUFO写真約八十点の展示のほか、ビデオコーナー、スライドコーナー、テレパシーコーナー、カセットコーナー、書

籍コーナー等を設ける予定。同百貨店宣材、地元新聞社等がPRする。



去る五月三十日から六月四日までの六日間、広島市中区のメガネのタナカ本店四階ギャラリーで、日本GAP主催のUFO写真展を開催。毎日新聞と広島テレビが取材報道し、会場がわかれにいく場所であつたにもかかわらず、計二百二十名の入場者があり盛況を呈した。会場が狭く、写真の展示、アダムスキー全集やユーロコン等の読書コーナーだけという内容だつたが落ち着いた和やかな雰囲気のもとに入場者は静かに熱心に見学した。この写真展は東京本部の委嘱による升田裕子さんほか三名、計四名の女性のみによる活躍で

★広島UFO写真展も盛況

来たる八月十二日より十五日までの四日間、新潟市内の大和デパート七階大ホールで新潟支部主催のUFO写真展が盛大に開催される。写真パネル約七十点、スライド映写、ビデオ映写、本誌とア全集の展示即売等、多彩なプログラムを星富治夫支部代表を中心企画。お盆休みを含むため大盛況が期待される。毎日午前十時より午後七時まで。JR新潟駅より徒歩二十分、バス七分。駅前バス乗り場8番線より信濃町行きに乗り古町で下車。市役所隣。

★東京本部も大UFO写真展を企画

八月十八日（金）より二十一日までの四日間、東京本部は久方ぶりに都内でUFO写真展を大々的に開催する。会場は武藏野市吉祥寺のデパート「パルコ」八階ギャラリー。期間中は各種のイベントを盛り込み、会場側の宣伝と相俟つて大盛況が予想される。JR新宿駅より中央線にて十五～六分の吉祥寺駅下車。駅前すぐ。毎日午前十時より午後八時まで。

★山形・仙台合同支部大会、盛況

去る五月四日、山形県天童市の中央公民館で開催された第十回両支部主催の合同支部大会は三十五名の出席者があり、真剣な雰囲気のもとに開催され、大成功裡に終了した。大会中UFOらしい物体が遠山の上空に出現。さわめきが起つた。詳細は本号48頁。

実施されたもの＝左の写真

★新潟支部も八月にUFO写真展

★大阪支部大会も大成功

五月二十一日は大阪府吹田市の市民

会館で大阪支部大会が開催され、二名の出席者があつて大盛況であった。

会場は高次元な素晴らしい雰囲気に満ちて、遠く秋田県、鹿児島県から馳けつけた人もあり、旧交をあたためた。

翌日は支部の内輪だけで京都の鞍馬山の聖地へ調査を行つた。詳細は48頁に掲載。

★長野支部大会を今秋開催予定

今年十一月五日（日）午後一時より長野県諏訪市湖岸通り一一八一九のホテル「諏訪湖イン」あるが、大広間にて長野支部が大会を開催する。雄大な諏訪湖を一望する湖畔の集いに多数の参加者が期待される。詳細は本号49頁。

★全国支部組織網を改編

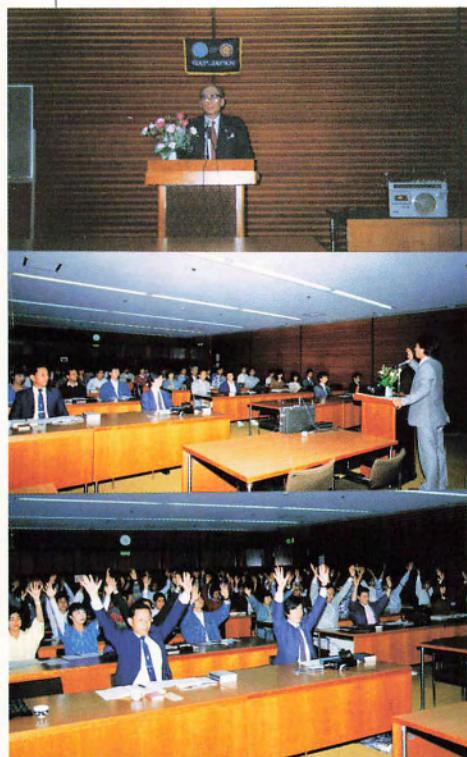
日本GAPは諸般の事情により全国支部ネットワーク（組織網）の改編による一新を企画していたが、五月末をもつて福岡、群馬、長崎の三支部を廃止し、他の十七支部の存続が決定して新生ネットワークが確立した。今後は全支部が東京本部を中心に団結を強化し、GAP活動に大活躍を続けることになつた。

★大盛況、東京月例会

近来、東京月例会に関心が高まり、毎回土曜日の開催にもかかわらず多数の出席者がある。六月十日の月例会は雨天ながら七十三名の参會者があつた（定員八十名）。これは久保田会長の高

GAP短信

GAP News



◆東京月例会。上は久保田会長の解説講義。中と下は遠藤講師によるテレパシー開発指導。

●今年八月のみは会場側の都合により
第四土曜日の二十六日に変更する。会
場は従来どおり上野公園の東京文化会
館四階大会議室。午後一時半より。

●今年十一月のみは日時と会場を左記
へ変更するので注意されたい。

日時＝十一月四日（第一土曜日）午
後一時半より六時まで。

会場＝東京都千代田区北の丸公園内
「科学技術館」六階第一会議室

度な解説講義、遠藤講師によるテレパ
シー開発指導などの真価が認められて
きたためと思われる。なかには「東京
月例会に出席し続けると不思議に良い
事ばかりが起こる」という人もある。
日曜日に開催すれば超満員になるだろ
うが事情により毎月第二土曜日に決め
てある。余裕のある方は出席されたい。

★東京月例会の日時会場臨時変更

●今年八月のみは会場側の都合により

●東京月例会の使用テキストは八月よ
り「生命の科学」（アダムスキーカ全集第
六巻）に決定。これと「アダムスキー
論説集」（同第七巻）を持参のこと。

★今年度GAP総会

今年度総会は九月二十三日（二日連
休の初日）に昨年と同会場「銀座ガス
ホール」で盛大に開催する。多数出席
されたい。詳細は本号45頁の予告を。

●今年十一月のみは日時と会場を左記
へ変更するので注意されたい。

日時＝十一月四日（第一土曜日）午
後一時半より六時まで。

会場＝東京都千代田区北の丸公園内
「科学技術館」六階第一会議室

この研究実践集団で、宇宙的カルマ形成
を志向する神士淑女の集まりである。
宗教や心靈とは一切無関係。詳細は入
会案内書に説明してあるので、日本G
AP宛ハガキで申し込まれたい。専用
振替用紙と共に発送する。または郵便
局備えつけの振替用紙に入会する旨を
記して日本GAP宛送金してもよい。
ただし正規入会は四回分以上の会費納
入を原則とする。

★今年度海外研修旅行

日本GAPは毎年海外研修旅行を実

TEL ○三一一二一一八四
七一（玄関右横のエレベータ
ーで昇る）

★日本GAP会員募集

日本GAPは予約購読の会員制を設
けている。現在の会員数は約一千二百
五十名。会費というのは本誌代金の前
納であつて入会金は不要。一冊は送料
共一一〇円だが会費四回分（四冊分）
は四千二百円、六回分で六一〇〇円、
八回分で八〇〇〇円、十回分で九九〇〇
円となり、前納回数が多いほど割安
となる。いずれも消費税を含まない。

会員になると月例会、地方支部大会、
東京総会等の諸会合に出席でき、会長
その他の超能力者から指導を受けて、
個人的トラブルの解消、難病治療その
他の援助を受けることができる。しか
し何よりも日本GAPの集いは高次元
の晴朗らしい宇宙的雰囲気に満ちてい
るので、この波動を浴びるだけでも心
身ともにリフレッシュし、活力を充電
できる。日本GAPは単なる趣味のサ
ークル活動の次元を超えた宇宙的思想
の研究実践集団で、宇宙的カルマ形成
を志向する神士淑女の集まりである。

宗教や心靈とは一切無関係。詳細は入
会案内書に説明してあるので、日本G
AP宛ハガキで申し込まれたい。専用
振替用紙と共に発送する。または郵便
局備えつけの振替用紙に入会する旨を
記して日本GAP宛送金してもよい。

ただし正規入会は四回分以上の会費納
入を原則とする。

★本誌書店卸しネットワークの拡大

GAP（知らせる運動）で最も効果
があるのは「書店卸し」であるという
結論に達している。本誌は流通機構を
通さず会員有志により直接に書店へ卸
されているので、この枠を拡大するこ
とがアダムスキーリー問題を広めることに
なる。この書店卸しに多数参加された
い。ハガキで申し込めば案内書を送る。

★原稿・資料募集

本誌の記事原稿を募っている。UF
O目撃、宇宙哲學研究実践、宇宙科學
等の原稿・写真・資料等を歓迎する。
原稿書きが苦手な人は会長または地方
支部関係者が面会して体験談を聴取
原稿に仕上げるので日本GAP宛連絡
されたい。ただし宗教的心靈的性質の
ものは一切お断り。

本誌に広告掲載を希望する方はハガ
キでその旨を連絡されたい。料金表を
送る。

施して多大の成果をあげているが、今
年度は「アメリカ南米宇宙ロードの旅」
と題してアメリカ西部のロサンゼルス
を皮切りにデザートセントラルのコンタ
クト地点、パロマー山のアダムスキーリー
住居跡、パロマー天文台等を見学後、
南米ペルーへ飛び、インカその他の古
代の遺跡、ナスカの地上絵等を見学す
る。参加申込者は二十名以上になる見
込みで、八月九日に成田を出発、二十日
に帰国する。結果報告は本誌次号に掲
載の予定。

UFO 宇宙からの大証拠

金星、火星、月に関する真相

●ダニエル・ロス／久保田ハ郎訳

連載第9回

第8章 月の示す生命環境

ここ十有余年の間、月について真剣に考えたことのある人は少ない。人々は月探査期間中の諸発表により、人々は

月が荒れた、人を寄せつけそうもない所だと信じさせられた。真実に反する月の姿を受け入れた結果、アポロ計画が終わるや月への興味を失つてしまつた大衆を責めることはできない。

このイメージに挑戦するものは他に何一つ公表されず、私自身もまた一九

七四年までは、他のすべての人々とともに宇宙空間に浮かぶこのわれわれの仲間に世界に思いを馳せることはなかつたのである。次に述べることは、以

前私がNASA（米航空宇宙局）の公式発表を鵜呑みにしていた段階から後

に劇的に方向を変え、それとは別のはるかに正確な月の姿を得るに至つた過程を、おそらく読者にかいま見せるこ



一九六九年十一月、アポロ12号の司令船が月面上空八十キロの位置から撮影した月のクレーター群。

重要なアダムスキーの著書

この本の最初に述べたニューヨーク州でのUFO群目撃の後、私はこの問題に関する本を二、三読んでみた。それらは、UFOの実在を示す良い例を載せてはいたが、もつと踏み込んだことを、つまりUFOミステリーの裏にひそむ事実に関しては、単なる憶測をし

てゐるにすぎなかつた。また重要なことをとして、私が本を読む上で、バカげた安っぽい内容のものや、この問題をねじ曲げようとする狙いの心靈的なものは一切排除したことを探しておきたい。

UFOに関するいかなる証拠及び正確な情報も、この世界の宇宙科学の正しい理解と結び付くはずだということを、私は知っていた。私がジョージ・

アダムスキーオの著書『空飛ぶ円盤は着陸した』(アダムスキーオ全集第一巻『宇宙からの訪問者』第一部)を発見したのはその頃のことである。それは納得できる証拠に裏打ちされた素晴らしい情報を伝える本だった。

彼の一冊目の著書『宇宙船の内部』(『宇宙からの訪問者』第二部)を読むに至つたのは、その後わずか一週間目だった。この本には、UFOと惑星間の問題に対する直接的回答が示されていた。それは、私の心を高揚させたという程度の表現では、とても言い尽くせない程の感動を私に与えたのである。この本はその全編が真実的印象に満ちていた。しかし、いわゆる科学的教育を受けていた私は、彼の月に関する記述内容にはまだ疑問の余地があることを率直に感じていた。これは一九七四年のことである。

それ以前の私は、おそらく最初の月面着陸に関する以外は、NASAのアポロ計画に対してあまり興味を持つことはなかつたのだが、NASAが月の生命をほんの少しも示唆したことがないということは承知していた。そこで、最初の時点における私の立場は、「いったい、それは可能なのだろうか?」というものであつた。

私は元来、一人で徹底して物事を考える性格があつたため、「すべての(月の生命に関する)解答を得るまでには、相当量の調査・研究が必要になるだろ

う」という予想は、私にとってごく自然な帰結だった。そしてこの研究がある程度の成果に至るまで、私はそれを一つの可能性として受けとめていたのである。

NASAの疑惑情報

月に関するNASAの公式『証拠』に対し、熟練した宇宙研究家たちが異議を唱えてきた事実を知るまでにそう長くはからなかった。近年になって、生命のない月環境を示すNASAの公式発表とは矛盾する数多くの隠蔽情報が暴露されていたのだ。意欲的な研究家たちにより明らかにされた数々の矛盾点は、人気科学雑誌やUFO関連雑誌上でかなりの話題を呼び、その内二

~三人の著者は、その研究結果をもとに独自の本も出版している。しかし、これらの新事実も公にはほとんどなすすべがなく、月に関するNASAのいなかげんな、そして用心深い公表結果の鎧(よろい)をへこますことはできなかつた。私はこれらの出版物を二~三精読した後で、月に関する記事、そして宇宙や他の惑星群に関連するすべての資料を収集しようとした。私は、数々の科学雑誌、NASAの出版物、ナショナルジオグラフィックス誌、宇宙に

のだが、それは、最初は資料として不適当だと考えて除外した記事などの中からも、後で数々の手掛かりを得る上では役に立つたものだ。物事の探求は、はじめパズルを完成させるようなものである。後でより良く全体の絵が見えてくるまでは、互いに結び付きそうもないピース(片)群があるものだ。私は、数々の月面地図、月面写真集、信頼出来る記録文書類等の収集も行なつた。ほとんど出回っていない、目立たない出版物などから的情報も精密に調査した。同時に私は参考文献類の収集も進めていた。また文通によって、他の科学研究家たちからの情報も得ていた。宇宙計画で得られた多くの貴重な情報が、これまで公式には発表されていないのである。

UFOの分野にかかわった多くの人々は、その本質を追及する上で明らかな限界を見せていた。UFO群の存在を事実を提示する上では、客観的で申し分なかつたが、同時に彼らは記述の中でも、宇宙科学に関するうわべだけの知識および研究能力を露呈していた。彼らの議論の根幹を成すべきものが、それゆえに主観的であり意味をなさない憶測なのである。

月に関する私の資料がふえて、その形が整うにつれ、アダムスキーオの初期の記述内容は、もはや可能性以上のものであることが明白となつた。それは正しかつたのだ。実際、私には他のあ

る事実が見えてきたのである。彼の記述内容は、当時(一九五五年)一般科学には受け入れられなかつたが、情報機関群はそれがきわめて重要な情報であることを知っていた。極秘のうちに彼らは、自分たちの秘密研究と一致するこの情報を受け入れ、それを踏まえて活動していたのだ。つまり情報機関群は、この情報を確証し得るすべての望遠鏡観測結果に対する隠蔽工作を行なつていたのである。

大天文台の秘密月面観測

ドナルド・キーホーは、一九五五年出版の著書『空飛ぶ円盤に関する陰謀』の中で、一九五三年にウイルキンズが「謎の橋」の発見を発表して以来、多くの個人天文学者連が月に望遠鏡を向けるようになつたことを述べている。必然的に、奇妙な光景が他にも目撃され、二~三の報告が報道機関に届けられて、も不思議ではなかつた。しかし、ウイルキンズとオニールによる最初の発表以後、彼らは話すのをやめるよう圧力を受けていたのだ。この橋の発見は、奇妙な新発見ドーム群を紹介したワイルキンズ博士の著書『われらの月』が出版された後でなされている。

複数の大天文台が、国防省の命令で月の秘密観測を行なつていた事実を、キーホーが突き止めたのはその頃であつた。彼は、パロマーラ山、海軍天文台、



▲パロマ天文台。米カリフォルニア州パロマー山頂にそびえるドームの高さは60メートル。200インチ反射望遠鏡を設置した世界トップクラスの大天文台。撮影／久保田八郎（フジGSW6×9・65mm・フジクローム100）

さらにその他の天文学施設群において、著名な天文学者たちが観測にたずさわり、そのプロジェクトに参加しているという確証を得たのである。円盤基地やさまざまな型の巨大建造物の存在が、きわだつた多数のクレーター群の内外で確認されていた。それは米国政府のために国防省が行なった最高機密研究だつた。しばらくしてNASAが、この同じ官僚支配態勢の指揮下に入つたのである。政府がその統制を緩め、運を天にまかせて、その配下の宇宙局が自由に真の発見事を発表することを許したなど、真剣に考える人がいるだろうか？

それらの秘密研究は数々の巨大天文台において遂行された。パロマー山の望遠鏡は直径二百インチ（約五メートル）という世界最大規模のものである。これらの巨大天文台の外にいた観測家達にとって（月面の）建築ブームや円盤基地群の様子を観測できる機会はまづなかつた。そこそこの規模の望遠鏡を用いたとしても、その分解能には限度があつた。六〇十五インチ（約一五三十八センチメートル）程度の望遠鏡を用いていたアマチュア天文家たちは、パロマー山のそれと比較すれば、ほとんど双眼鏡を覗いていたようなものである。

私設の観測装置ではとてもその活動 자체を識別することはできなかつたものの、その結果発生する現象群は時折

**アダムスキーオーを
信じていた米国防省**

充分な大きさを持ち、はるか彼方の月面における説明不可能な異常現象として姿をあらわした。この種の観測結果は、天文学雑誌上ではごく簡単な記事になつただけだが、たまたまその情報を複数の通信社が取り上げたことがあれば、UFO目撃の報告が新聞紙上で取り上げられた時と同等の反響を得たのである。

しかし、サイレンスグループはそれらを放つてはおかなかつた。キーホーによれば、アマチュア天文家たちの報告は明確というよりも、どちらかといえば示唆的なものだつたにもかかわらず、それらの報告はさらに推測を呼び、結果的には月の秘密研究の事実を引き出すことができたのだという。この種の報告が検閲者グループの関心を呼んでいたとは知らない個人天文学者連の多くは、情報局員の突然の訪問を受け、次々と質問を浴びせられ、基本的に彼らの脅迫的姿勢に直面していたのである。

は眞の月環境を提示することはできなかつたが、アダムスキーザ著書類は、数々の宇宙船同乗体験を通じて彼が直接手に入れた情報を大衆にもたらして、そこには月面環境の完璧な姿が描かれていた。

一般天文学界は、多年信じてきた理論をもとにそれはあり得ないことだと否定したのだが、米国防省はアダムスキーザ情報を受け入れ、逆に一般天文学を否定したのだ。米国政府はUFO問題と秘密月研究の結果を熟知していたのである。

一九五〇年代から一九六〇年代の初期にかけて、国際的に高い評価を受けたアダムスキーザを通じ、世界中の多くの聴衆が惑星間旅行者（異星人）とその宇宙船に関する真相を聞いた。世界講演旅行中に彼は各国の政府首脳及び実力者たちから丁重なもてなしを受け、また米国内では政府関係宇宙産業の要人たちと頻繁に接触している。

アダムスキーザは、彼が科学者たちから時折得た機密情報を公表することはしなかつたが、米国政府がいかに彼自身の示した情報を早い頃から確認していたかを、他のだれよりもよく知っていた。

宇宙開発計画の進行中、サイレンスグループの指揮による隠蔽工作がさらに行はれていたが、それは別な惑星から来るUFOの裏にひそむ眞実性を、完全に失墜させようとした彼らの計画

を保証するものだった。アダムスキーザの時代には広く受け入れられていた惑星間UFOの裏にひそむ眞実は、政府が示した偽りの宇宙発見事でもって時流とともに相殺され、徐々におき替えられてしまつた。航空宇宙局がつまらぬ宇宙探査データをもとに、『公式』に月の生命不在のイメージを作り上げることができれば、このUFO問題は訳のわからないミステリーとなってしまうであろうことを、サイレンスグループは知つていた。

一九六九年から七二年にかけての六度に及ぶ有人月面探査の結果、大衆の心には確かに月に対する一つの固定概念があがつてしまつた。しかしながらその概念は、NASAの大衆発表や次々と発見された月面の事実、そして非公開の公式記録等の中に数々の矛盾点を見いだした注意深い研究家たちにより反論されてきたのである。

だが彼らが書いた本の多くは、その隠蔽の覆いをある程度貫いてはいるものの、眞の月面環境を確立するには至らなかつた。私はこの覆いをさらに突き破るため、前の各章で述べたごとく希望遠鏡記録の注意深い分析を決意したのだ。それと最近の非公開アポロ計画発見事の記録文書とを照らし合わせれば、月の大気密度、各地域の温度、引

かず、月の表面環境を論ずることが可能となる。

ステックリングの研究

たかは容易に理解できよう。

著書の中でステックリングは、百二十九枚に及ぶNASAの公式写真群を紹介したが、その多くが月面での異星人活動の事実を確証している。数枚の写真には、月面の気候状況や水の存在証拠が示されている。雲や北部高地群内に存在する天然の湖、さらにプラトンとクリーチル・クレーター付近では人工の貯水池とおぼしきものさえも見えるのだ。この両クレーターは、そこに異星人たちの基地があるものと、長い間考えられてきた地域である。

ステックリング自身も認めているように、中には鮮明さを欠き不確定要素を残す写真も見られるが、彼の示した写真の多くは、決定的なほど明確で反論不可能な証拠である。

月面の異星人活動を、九十六キロメートル上空の高軌道から撮影されたNASAの非機密写真群から特定するのはかなりむつかしい。しかしながら、何枚かの写真是明らかにクレーター群の内外に存在するドーム群や各種施設群、宇宙船発着所、そしてその他の人為的な配置物等を写し出しているよう見える。なかには、それら建造物様の物体群に付随しているかのような記号あるいはマークのような物も表面に見られる。なかには、それら建築物様

の結果、月が一般に“よく知られる”真群が、雑誌の単発記事や一般的の月に関する本などで繰り返し紹介され、それらの“最初の一群”から選ばれた写

真群が、雑誌の単発記事や一般的の月に関する本などで繰り返し紹介され、その結果、月が一般に“よく知られる”

ようになつたと言える。十二年に及ん

だ一万枚以上のアポロ・ルナオービタ写真の調査が、ステックリングによつていかに消耗的な探求作業であつ

月面は死の世界ではない

ステックリングは、月面上あるいはその近くにいたUFO群が写っているアポロ写真を十二枚紹介しているが、そのなかには、彼の本の表紙を飾った、アポロ十六号撮影によるあの注目すべき葉巻型巨大宇宙船の写真も含まれて

アポロ16号が撮影した月面の葉巻型巨大宇宙船。別な惑星から来た母船か? (フレッド・ステックリング提供)

いる。彼の調査は完璧であり、その本は素晴らしい内容だ。公式な報告、資料、そして写真記録類を注意深く吟味した結果、彼は月面の異星人基地の存在を立証し得たのである。彼は、米国政府は月面であまりにも多くのことを、少なくとも役人たちが知る必要のあることはすべて発見してしまったため、月探査計画を短縮したのだと結論づけた。

黒イメージの、岩だらけのホコリに覆いつくされた月面を思い描く。これは不毛なアポロ着陸地点群から受けた圧

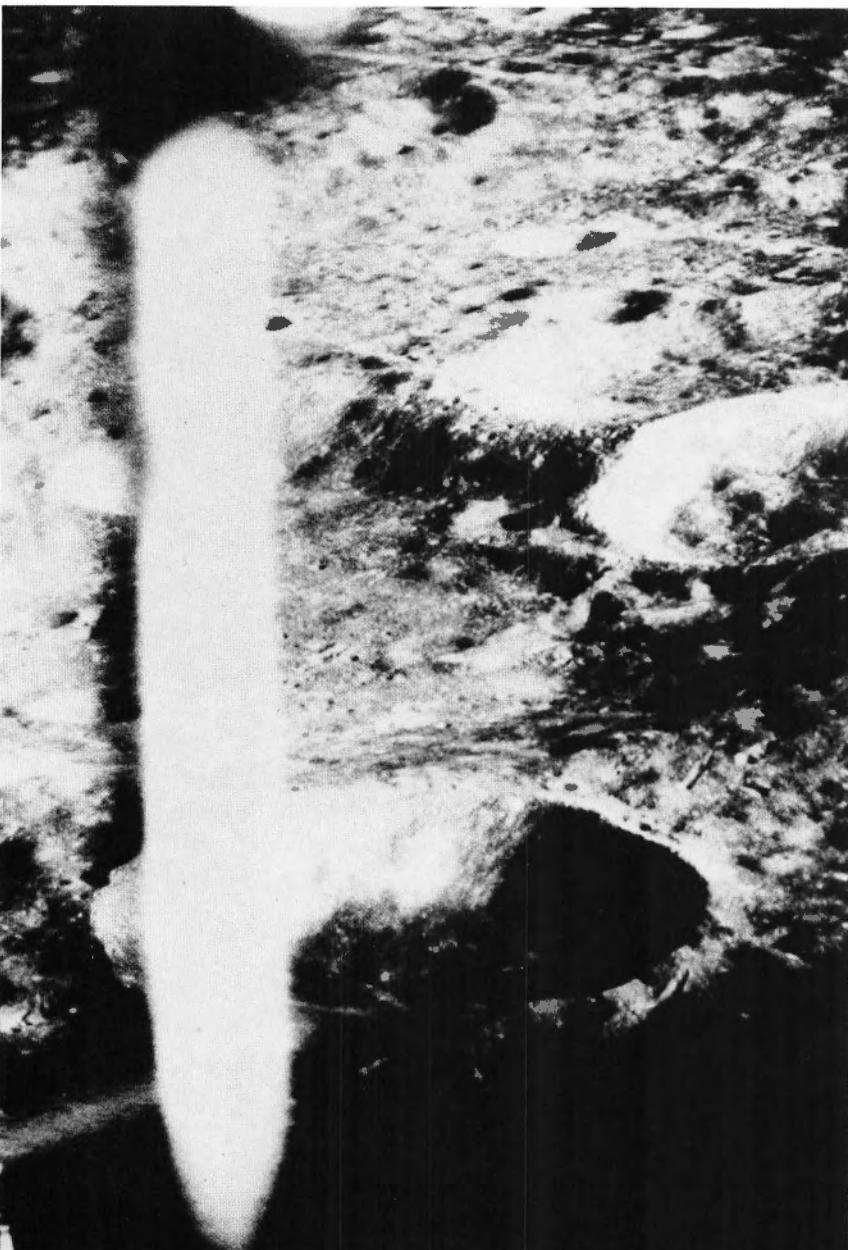
ステックリングや私自身を含むかなりの人々は、おおやけになつたアポロ計画の終了後、完璧に機密扱いの有人空

ステックリングや私自身を含むかなりの人々は、おおやけになつたアポロ計画の終了後、完璧に機密扱いの有人空軍宇宙計画にもとづく月探査が続けられたものと信じている。

月に思いを馳せるとき人々は、白・黒イメージの、岩だらけのホコリに覆いつくされた月面を思い描く。これは満ちた月の圧倒的なイメージを植えつけたのである。すべての無人ルナオービター写真は白・黒で撮影されたものだ。アポロ着陸地点は明暗界線の夜明け付近であり、その情景は薄明かりの中に浮かび上がつたものである。太陽が月地平線上ぎりぎりにあるとき、写真撮影された月面は灰色を呈する。もちろん熔岩から成る平原は常に灰色に見えるだろう。

しかし太陽が頭上になると、月面の広範な地域において、茶色の土壌あるいは自然な土の表面が姿を現す。アポロがカラー撮影した数多くの裏側写真には真実の色であるこの茶色が現れ、さらにクレーター群の内外および山岳地域を覆うさまざまな緑の色調も見えている。各種の本や出版物を注意深く調査することで、これらの写真を見いだすことができよう。

NASAは事実、かつてファーソフ



つである。アポロ10号が高軌道上から撮影した裏側の変化に富む光景を（原書の）写真19と20に示した。これらを見れば、月軌道周回中のアポロ15号乗組員らが、不毛な灰色の世界ではない月を目のあたりにして次のような叫び声を上げたことを理解できるだろう。

「壯觀だ！ そして美しい！」

アポロ着陸地点から持ち帰った土に對し、各種の実験が試みられている。その結果、地球の植物および野菜類のいくつかは、地球の土よりも月の土の中で、『より緑色で丈夫に育つ』ことが判明した。月と地球の土を混合した実験がゼニゴケの種を用いて行なわれたが、それは從来のものと比較して四倍もの速度で発芽・成長している。これらの実験は、月の土が栄養素群のすぐれた供給源であり、生物学的活動を支え得るものであることを証明した。アポロ17号着陸地点における月の土壤の近接像を（原書の）写真16に示す。

本書では、月における水の存在証拠を論じてきた。ステックリングの本は、月面の数々のクレーター群付近にかつた雲の写真群を提供している。前にも述べたように、初期のある望遠鏡専門家たちは、特定のクレーター群内で周期的に変化する植物群繁茂の様子を観測し、その確信に満ちた結論により天文学者としての地位を築いた。もちろん彼らは正しかつたのである。そしてもしもNASAがそれをおおやけに

認めていたならば、宇宙のイメージは根底からくつがえされ、地球外生命の存在を今日だれもが信じることになつていただろう。

月写真を論じるには、複雑な問題が多くある。月面で撮影された写真や映像を除くすべての月写真は、上空約百十キロメートルという高軌道から撮影されたものだ。アポロ宇宙船に乗り込んだ飛行士たちは、月の裏側のほぼ一割の地域を写真に收め、實際NASAは正しい色彩を示す何枚かの軌道写真を公開している。少数の地域写真群には、自然な色合いの茶色、きわだつた緑色、子鹿色（灰色がかつた淡黄色）やピンクの色調などが同時に現れる。

しかし、それらは高軌道からの低解像度写真のため、それらの色彩を生み出した月面環境をこういった少数の例から明確に特定するのではなくだ。ある写真に見える緑色はその地域の植物群繁茂に関連があるかもしれないが、別の写真の緑色は必ずしも何かの意味を持つとは限らない。

これらほとんどの写真には、誇張した色彩と濃淡が施されていると言えよう。様々な色彩出現の源を特定するのは不可能であり、このような高軌道から眺められた月は、一見、陰気で何もない環境であるかのように見える。もちろん月写真を不明瞭な状態に保つことはNASAが意図したことなのだ。

初期の白・黒撮影に始まり、特に月の裏側の写真に関してはなおさらである。存在を今日だれもが信じることになつていただろう。

月写真を論じるには、複雑な問題が多くある。月面で撮影された写真や映像を除くすべての月写真は、上空約百十キロメートルという高軌道から撮影されたものだ。アポロ宇宙船に乗り込んだ飛行士たちは、月の裏側のほぼ一割の地域を写真に收め、實際NASAは正しい色彩を示す何枚かの軌道写真を公開している。少数の地域写真群には、自然な色合いの茶色、きわだつた緑色、子鹿色（灰色がかつた淡黄色）やピンクの色調などが同時に現れる。

しかし、それらは高軌道からの低解像度写真のため、それらの色彩を生み出した月面環境をこういった少数の例から明確に特定するのではなくだ。ある写真に見える緑色はその地域の植物群繁茂に関連があるかもしれないが、別の写真の緑色は必ずしも何かの意味を持つとは限らない。

これらほとんどの写真には、誇張した色彩と濃淡が施されていると言えよう。様々な色彩出現の源を特定するのは不可能であり、このような高軌道から眺められた月は、一見、陰気で何もない環境であるかのように見える。もちろん月写真を不明瞭な状態に保つことはNASAが意図したことなのだ。

月の撮影に工作を加えた？

しかししながら私たちは、その困難だといわれる月面写真撮影のぼやけた結果と、初期のジェミニ二計画における地球写真撮影の素晴らしい結果とを比較する能力がある。

地球上空約七百五十キロメートルの軌道を周回中、ジェミニ11号は、この私達の惑星の各地域を完璧な色彩で撮影し、さらにその解像度もNASAの月写真よりはるかに優れたものだった。それに比べてアポロ宇宙船は、月面上空わずか六分の一の軌道上にいたにもかかわらず、月写真と少なくとも同等のものにさえならなかつたのはなぜだろう？ 色の問題に関しては、どうにかそれらしい説明が付けられたかもしれないが、月写真の解像度がわざと低く押さえられていたことは明白である。つまり、それ以前のジェミニ二飛行で使

NASAがすべきことはただ、ちぐはぐな色彩の低解像度の月写真群を公表することだけだつた。それらの写真是ただちに、待ち望んでいた報道機関に取り上げられ、無傷の正統派理論を強調した付録記事とともに、一般雑誌等を通じて大衆にばらまかれたのである。

一度と見る気が起こりそうもない写真群により、すべてが都合よく証明されたかのようであつた。科学界はたちに、彼らの専売特許である月に生命は存在しないという正統派見解とともに、それらの写真を教科書や他の出版物等に取り入れたのである。今や、古

臭い理論が“科学的真実”として流布することとなり、月は過去の物となってしまった。

NASAはただ彼らが月を行つたことを知らしめたのみで、過去にいつもそうであったように、大衆教育は科学界の手に委ねたのである。結局その隠蔽工作は全く単純なのだ。正統派科学界は、自分たちの理論に疑問を抱くことがないと同様、こうして大衆が疑いを持つことは全くない。偶然手に取った雑誌記事あるいは本にざつと目を通しながら、人は本文の根拠となつてゐるNASAの写真群に裏打ちされた最新の事実や発見事を自分が目のあたりにしているものと考へるだろう。

しかし実際そこで人は新しい事実を何一つ見せられていない。彼が見たものは、これまでどおりのいいかげんなイメージのみなのだ。それは元を正せば、月の高軌道から撮影されたあのいかげんな低解像度写真群に端を発するものである。正当派はそれらの写真を歓迎し、保守的雑誌・教科書等の中で、自分たちの理論を強化した。NASAの隠蔽策は、このようなほほ決まりきつた手順に従つたものなのだ。

月の重力は 地球の六分の一ではない

他の問題に関する数々の矛盾した宇宙発見事が科学文献に現れたことにうながされて、工学者ウイリアム・プラ

イアンは真実の月の重力調査を行なつた。彼の注意深い研究結果は、“ムーンデーター米宇宙計画の隠された発見事”という題で一九八二年に出版されている。NASAの報告および数値資料に関する彼の徹底した分析により、

月の重力がわれわれが聞いていたよりもはるかに重いことが証明された。さらにはブライアンは、NASAの高官たちは空氣のない月のイメージを不朽のものとするため、一般に流布する六分の一重力説に従つた数値を公表し続けているのだと主張している。月探査計画のきわめて早い時期に、重力に関する秘密の発見がなされ、その結果計画は後退し、宇宙船の設計見直しが行なわれていたのだ。

月の六分の一重力理論は、ニュートンの万有引力の法則をもとに長くとなえられてきた。この法則はもと一六八七年に発表されたものである。ニュートンの法則は、『单一惑星の引力圈内にある』物体同士に當てはあるもので、証明された科学基礎理論ではあるが、この法則の惑星間レベルへの拡大は、簡単に帰納的な推理からなる近代の仮定にすぎなかつた。

真の月重力は、月面に落下する物体、あるいは月の軌道を回る物体の動きを観察することによってのみ正確に決定できる。米・ソの宇宙探査機が初めて月に向かつたそのときこそ、飛行軌道を隨時レーダー追跡することにより実

際のニュートラルポイントの位置を決定し、月重力の直接算出が可能となつた。このニュートラルポイントとは、

地球と月を結ぶ空間において、双方からの引力の影響が全く等しくなるポイントである。この位置を決定すること証するまでの必須事項だつた。

ニュートンの法則をもとに、かつて天文学関係の本や発表では常に、ニュートラルポイントは月から三五、五二四ないし四〇、五三六キロメートルの範囲にあるとされていた。この数値の

幅は、月が橢円軌道であるがゆえのものだ。低いほうの数値は月が近地点にあるときのもので、高いほうは遠地点時のものである。もし月の重力が六分の一だとすると、ニュートラルポイントは常にこの範囲内に収まるだろう。しかし、一九六九年のアポロ11号による歴史的宇宙探査中、いくつかの資料の中で、新しいニュートラルポイントの位置が言及された。ここで言及された公式な値は、月からの距離にして六九、五九二キロメートルというもので、それはタイム誌七月十五日号で初めて報道され、また同年一九六九年発行の『エルナー・フォン・プラウンとフレデリック・オルドウェイ共著による「ロケット工学と宇宙飛行の歴史』の中でも触れられている。以後の出版物では、約六万一千ないし約六万三千キロメートルといった数値が引用され

ている。数字にややばらつきがあるものの、実際のニュートラルポイントまでの距離は、以前の天文学的試算である三万五千～四万キロメートルとは、はなはだしく異なつてゐる。

ヴエルナー・フォン・ブラウン博士

は、アポロ11号当時の宇宙飛行センター責任者であったことから、彼の本に引用した六九、九八三という正確な数値を知る立場にいたはずだ。ウイリアム・ブライアンは、実際のニュートラルポイントの位置が一般的の文献に初めて現れたものは一九六九年であつたが、ルナオービターやサーベイア探査活動を成功に導くため、NASAはかなり以前にその位置を確認していたにちがいないと述べている。つまり、一九五九年頃からその直後には、月の表面重力が一般に信じられていた六分の一よりはるかに強いものであることをNASAは知つていたのだ。しかしNASAはこの強い重力のデータを隠していつたからである。

この新しい数値をあてはめると、月



本誌バックナンバー掲載記事目録

*印は絶版。在庫なし。お申し込みの際は郵便振替にて日本GAP宛て送金下さい。バックナンバーに限り送料は不要です。

No.105

平成元年4月25日発行 ¥900

デザートセンター円盤着陸事件——久保田八郎/篠芳史/坂本貢一/茂子
アダムスキーに会った唯一の日本人①——向井 裕
過去生透視法とその実例②——遠藤昭則
輝く星々の彼方へ——齊藤庄一
長野県に巨大UFO出現!——博田文喜
UFO-宇宙からの完全な証拠⑤——ダニエル・ロス

No.104

平成元年1月25日発行 ¥900

UFO問題と世界の運命——久保田八郎
アダムスキーの宇宙的カルマと異星人の援助——アリス・ポマロイ
デザートセンターで円盤着陸痕跡発見!——安藤澄雄/久保田八郎
過去生透視法とその実例——遠藤昭則
UFO-宇宙からの完全な証拠⑦——ダニエル・ロス
GAP活動の原理——ダニエル・ロス

No.103

昭和63年10月25日発行 ¥900

アダムスキーの体験は真実だった!——アリス・ポマロイ
我らの惑星に愛と希望を——久保田八郎
カイロ上空に輝くUFOが出現——伊東芳和
私のUFOコンタクトと宇宙の自覚め——富岡設子
UFO-宇宙からの完全な証拠⑤——ダニエル・ロス

No.102

昭和63年7月25日発行 ¥900

UFO目撃で驚嘆、大変化した私——後藤泰二
仙台市上空にUFO長時間出現——遠藤昭則
富士山周辺でテレパシーに応えるUFO群——長沼宏志
ミラクルワードとイメージ法で奇跡を起こす——田中 正
良い想念であなたの環境は良くなる——
UFO-宇宙からの完全な証拠⑤——ダニエル・ロス

No.101

昭和63年4月25日発行 ¥900

宇宙的家族のUFO目撃の日々——坂本茂子
精神的指導者に対する警告——G.アダムスキー
円盤の窓から手を振る"異星人"——齊藤庄一
長野県に出現したUFOの大群——博田文喜
頻繁なUFO目撃と超能力体験——佐々木八郎
UFO-宇宙からの完全な証拠④——ダニエル・ロス

No.100

昭和63年1月25日発行 ¥900

UFO問題とアダムスキー——久保田八郎
富士山二合目から目撃したUFO——遠藤昭則
私はこうして超能力を開発した——坂本正廣
アメリカの不思議な土地——水野和彦
UFO-宇宙からの完全な証拠③——ダニエル・ロス

No.99

昭和62年10月25日発行 ¥700

UFO-宇宙からの完全な証拠②——ダニエル・ロス
山中湖畔で空中を飛んだ自動車!——清水 南
富士山にUFOが大挙出現——清水敏恵
(写真)大分市上空のUFO——
アダムスキーの大地とマヤの国へ——久保田八郎

No.98

昭和62年7月20日発行 ¥700

木星の衛星イオに古代都市跡を発見!——
UFO-宇宙からの完全な証拠①——ダニエル・ロス
静岡市上空にUFO頻繁に出現——遠藤昭則
太陽系惑星にまだ仲間がいる?——
連夜のテレパシー送信に応じて出現した円盤——片岡 豊
万物の実体と想念の重要性——知念清邦
私は別な惑星へ行ってきた!(最終回)——春川正一

No.97

昭和62年4月20日発行 ¥700

驚異の『生命の科学』と円盤大接近——伊藤達夫
八王子市でUFOを撮影——降旗和彦
別な惑星の偉大な人類と文明——G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきた!④——春川正一

No.96

昭和62年1月20日発行 ¥700

私のオーラ透視とテレパシー現象——清水 南
京都市上空にUFO5回出現——久保田八郎
想念放射、透視、UFO目撃——遠藤昭則
UFOと心霊は無関係——G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきた!③——春川正一

No.95

昭和61年10月20日発行 ¥700

茨城県千代田村のUFO——日本GAP茨城支部
アダムスキー問題に対する考察——内田格男
私のUFO目撃と不思議な体験——中嶋順子
ジャンボジェットに並行して飛んだ円盤——久保田八郎
私の別惑星訪問体験とアダムスキーの眞実性——春川正一

No.94

昭和61年7月20日発行 ¥700

テレパシーで飛来した真っ黒い円盤——堀江健一
八丈富士山麓でUFOを撮影——谷口美雄
地球を救う愛の想念放射運動——山崎清美
母船の周囲には人工大気層がある——G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきた!②——春川正一

No.93

昭和61年4月20日発行 ¥700

月面にいた2機のUFO/
超低空に出現した大型円盤と黒い人影/——笠原弘可
私も光体を見た——伊藤達夫
多くの館——G.アダムスキー
質疑応答——G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきた!①——春川正一

No.92

昭和61年1月20日発行 ¥700

偉大な惑星から来た兄弟たち——野口敏治
サン・ビエトロ大寺院の異星人——久保田八郎
米トップ科学者、UFO墜落の事実を認める——ゴードン・クレイン
質疑応答——G.アダムスキー
地球の哲学と宇宙哲学の相違(完)——松原眞弓

No.91

昭和60年10月20日発行 ¥700

円盤に乗った日本人少年——伊藤達夫
ブラジル人教授の円盤搭乗事件——
質疑応答——G.アダムスキー
太陽系の惑星に知的生命が存在!?
地球の哲学と宇宙哲学の相違②——松原眞弓

No.90

昭和60年7月20日発行 ¥700

朝霧高原の不思議な"月"——伊藤達夫
旭川にも月擬装UFO出現——石川晴道
尾道市に出現したアダムスキー型円盤と母船
ムーンゲート第14章(完)——ウィリアム・L・ブライアン
アダムスキー問題の眞実性と宇宙哲学実践法——久保田八郎

No.89

昭和60年4月20日発行 ¥700

ハケ岳に出現した円盤——秋山京子
富士山麓にUFO頻出——高梨和明
金星文字解読研究——遠藤昭則
ノアの箱舟とアフラハム——久保田八郎
アステロイド帯と月のクレーター——ウィリアム・L・ブライアン

第10回 山形・仙台合同支部大会

午後一時より真剣な雰囲気の中で
大会が始まった。両支部代表の挨拶
の後、久保田会長の「UFO問題と
宇宙的カルマ」と題する講演があつ
た。万人を激励し祝福する久保田会
長の暖かく力強いお話を出席者一同
真剣な面持ちで聞き入った。会長の
お話はいつ拌聴しても深遠な内容で
あり、魂が揺さぶられるような感動
を覚える。会長が話される一言一言
がきらめく宝石の如く輝きながら私
達の心の奥深くに浸透していく。非
常に学ぶ事の多い講演であつた。

次に会長と東京本部役員の遠藤昭
則氏によるテレパシー練習と質疑応
答が行なわれた。出席者から各種の
質問が出され、アダムスキー問題に
関する秘話なども会長によ
り公開され、遠藤氏からも
超能力、転世の問題に関する
大変興味深いお話があり、
場内はいつそう盛り上がり
た。今回はかつてない程の
有意義な素晴らしい支部大
会であつた。

大会終了後は滝の湯ホテ
ルの藤の間にて夕食会が開
催された。山形支部会員の
本山恒明氏によるソロの社
交ダンス、秋田支部の佐藤
春雄氏による東北の民謡な
ども披露され、とても楽し
いひとときを過ごした。

翌五日の観光も天候に恵
まれた素晴らしい一日だつ

た。五月四日、新緑萌える天童市の中央公民館で第十回目の山形・仙台合
同支部大会が開催された。当日は快
晴に恵まれて三十五名の出席者があ
つた。

午後一時より真剣な雰囲気の中で
大会が始まった。両支部代表の挨拶
の後、久保田会長の「UFO問題と
宇宙的カルマ」と題する講演があつ
た。万人を激励し祝福する久保田会
長の暖かく力強いお話を出席者一同
真剣な面持ちで聞き入った。会長の
お話はいつ拌聴しても深遠な内容で
あり、魂が揺さぶられるような感動
を覚える。会長が話される一言一言
がきらめく宝石の如く輝きながら私
達の心の奥深くに浸透していく。非
常に学ぶ事の多い講演であつた。

天童市は合同支部大会開催地とし
て二度目である。将棋の駒の生産地
として名高いこの町は一三〇〇年代
後半から城下町として興り天童頼隆
が最上義光に追われるまで栄えた。
一八三〇年、織田藩の館が出現して
再度城下町となる。全国の将棋駒の
大半を製造する産業は幕末の下級武
士の内職から発展したといふ。また
温泉郷としても知られている。

落ち着いた静かなたたずまいを見
せる天童は、低い山々に囲まれた美
しい町で、会場の窓から新緑萌える
山を遠望すると、似たような筆者の
郷里を思い出してノスタルジアにか
かるが、なによりも快晴に恵まれ
て天の祝福感がわき起つてくる。

講演は「UFO問題と宇宙的カル
マ」と難解な題にしたが、後半
は宇宙哲学を応用して奇跡を起こす

た。最初、天童市効外から車で約三
十分位の山の中腹にある「ジャガラ
モガラ」と呼ばれる非常に不思議な
場所を見学した。山中の谷間のあち
こちの穴から冷気が吹き出すために
この辺一帯は植物が育たないのであ
る。このあと宮城県側の鳴子峡へと
向かった。鳴子が一望できる見晴らし台のレ
ストラン「さつき亭」で昼食をとつ
た後、鳴子峡の遊歩道約二キロを散
策した。溪谷の見事な奇岩、緑に萌
える若葉、川のせせらぎと頬をなで
るさわやかな風――大自然の美しさ
を満喫した観光だった。

ご指導頂いた久保田会長、遠藤昭
則氏、そしてご出席下さった皆様に
心からお礼を申し上げたい。

山形支部代表 柴田光明

天童市は合同支部大会開催地とし
て二度目である。将棋の駒の生産地
として名高いこの町は一三〇〇年代
後半から城下町として興り天童頼隆
が最上義光に追われるまで栄えた。
一八三〇年、織田藩の館が出現して
再度城下町となる。全国の将棋駒の
大半を製造する産業は幕末の下級武
士の内職から発展したといふ。また
温泉郷としても知られている。

遠藤君が語ったところによると、そ
のあと質疑応答の際にも再度光体
が山の上空に出現するのを見たとい
う。私の話しが中だつたので黙つてい
たらしい。大会終了後いつたんホテ
ルへ引き返したとき、横の駐車場の
上空に母船の出現サインを私と柴田
君が見た。

翌日は快晴下をマイクロバスでジ
ヤガラモガラと鳴子峡へ行く。この
峡谷がこうまで雄大な景観の地とは
知らず、驚きと歓喜の交錯するなか
を二キロ歩いたが、非常によい運動
になつた。秋の紅葉は最高だといふ。
カワセミの声が感傷的だった。

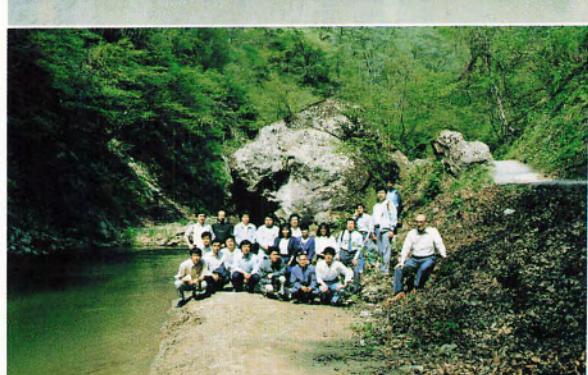
方法の説明に力を注いだ。アダムス
キーの『生命の科学』の一部の解説
とマーフィーの理論や奇跡発生の実
例を列挙して話を続けた。この種の
話は一般人には通用しないけれども
であるから非常に話しやすい。拙い
話ながらも充分に理解されたと思う。
今回は遠藤君が同行して、東京月例
会で行なっているテレパシー練習の
一部を指導したが、好評だったよう
だ。会場内の雰囲気は静謐ながらも
熱気に満ちて最高だった。ただのサ
ークル的なUFO研究会とは全く異
次元な波動が流れるのは日本GAP
の会合の共通した特長である。これ
が良いのだ。

全員自己紹介の際中に埼玉県から
きた高野博敬君が急に窓辺に歩み寄
つて「遠くの山の上に光る物体が見
える」と言い出して、ざわめきが起
こつた。筆者は窓とは反対側の奥の
方にいたので見えなかつたけれども
数名の人は目撃したらしい。あとで
遠藤君が語ったところによると、そ
のあと質疑応答の際にも再度光体
が山の上空に出現するのを見たとい
う。私の話しが中だつたので黙つてい
たらしい。大会終了後いつたんホテ
ルへ引き返したとき、横の駐車場の
上空に母船の出現サインを私と柴田
君が見た。

翌日は快晴下をマイクロバスでジ
ヤガラモガラと鳴子峡へ行く。この
峡谷がこうまで雄大な景観の地とは
知らず、驚きと歓喜の交錯するなか
を二キロ歩いたが、非常によい運動
になつた。秋の紅葉は最高だといふ。
カワセミの声が感傷的だった。



◀左上より支部大会全員記念撮影。
鳴子峡にて。右上より夕食会のケジ
引き賞品渡し所。佐藤春雄氏の民謡
独唱。



(社)平成元年度地方支部大会(その3)

第3回長野支部大会	
日 時	11月5日(日) 午後1:00→5:00
会 場 と 文 通	「諫訪湖インあるが」 2F大広間 ☎0266-52-2680 長野県諫訪市湖岸通り 2-8-9 ※上諫訪駅下車駅前の 国道を左手に進む途中 のガードをくぐらず、 踏み切りを渡り、すぐ に湖方面へ進むと右手 茶色の4階建の建物。 徒歩約10分。車ならば 諫訪インターから約10 分。
会 費	¥2,000(希望者のみ全員記念写真代 ¥800を別納。カラーグラントキャビネ料。送料共)
プロ グ ラ ム	司会 中村公一 1:00 支部代表挨拶 博田文喜 1:10 講演「勇気と希望を与えるアダムスキーフィロソフィー」日本GAP会長・久保田八郎先生 2:30 休憩・全員記念撮影 3:00 自己紹介・意見発表・質疑応答 5:00 閉会 ※雄大な諫訪湖を一望する会場で久保田先生の宇宙の声を聴いて全身にパワーを充電させようではありませんか。支部一同あたたかくお迎えします。
夕食会	大会終了後、6:00から8:00まで同会場にて希望者による夕食会を開催。 会費=¥5,000
宿 舍	大会会場と同じホテル 「諫訪湖インあるが」 ☎0266-52-2680 長野県諫訪市湖岸通り 2-8-9 シングル ¥6,330 ツイン ¥11,630 (税サ込) ※各室トイレ、バス付き。温泉の湯が出る
申 込	大会、夕食会、宿舎、観光の申込はハガキにいづれかを記して10月25までに下記へお申し込み下さい(電話でも可)。 〒399-07長野県塩尻市 広丘吉田948-4 博田文喜(はかたふみよし) ☎0263-58-8510
觀 光	大会翌日は諫訪湖周遊市内見学、紅葉のビーナスライン巡りで信州の秋を存分に満喫し、楽しい一日を過ごします。会費¥2,000(昼食代別)。9:00ホテル出発、4:00上諱駅で解散。
備 考	11月の例会は平常通り開催。

大会が始まり、続いて久保田先生の「宇宙哲学と奇跡を起こす方法」と題する講演に移る。いつものように先生の落ち着いた力強い声が会場に響きわたる。

先生がアダムスキーリーと交流を開始してから通算三十五年に及ぶと言及され、日本におけるGAP活動に専念してこられた苦労話に続き、人生に奇跡を起こすには①ミラクルワード(奇跡を起こす言葉)をとなえ続けること。②実現してしまったイメージを描き続けることを力説された。また人間にとつて最も大切なことは、万物に対して祝福の想念を送ることにあり、これが宇宙最大の力を發揮することなどを話された。こうした内容は平素から先生の講演録音テープや文筆などで私たちの熟知している事柄であるが、今現実に一同の眼前で話される肉声に接すると、あらためてお話を的重要性

平成元年度 大阪支部大会

五月にしては梅雨のような日が続いたが、幸いにも大会当日は晴れ間も広がつてホッとした。今年は二年ぶりの開催ということもあって五十名の参加者で賑わった。

齊藤康美副代表の司会で

が身にしみてくる。特に、実際に奇跡を発生させられた実例として先生ご自身の珍しい体験と多数の会員の実例などをあげられ、実用的ですが役立つ貴重なお話で、私たちに絶大なる勇気と希望を与えて下さった。

また今大会は東京本部役員の遠藤昭則氏にも急遽ご出席頂けることになり、毎月東京月例会で行なつているテレパシー開発法や過去生透視法などを直接ご指導頂いて大きな成果をあげた。今回、先生と遠藤氏のコンビでご指導を頂いたことは今後の日本GAPにとって大変有意義なことであり、さらに飛躍前進するための基礎が確立されてきたと思う。本大会はシンプルで中味の濃い大会にしたいと願つていたが、そのとおりになり、支部一同心から感謝している。遠路をご出席頂いた方々に厚く御礼申し上げたい。

翌日は支部の内輪だけで京都の鞍馬山を登る一行、奥の院。



大阪支部大会は久方ぶりなので期待に燃えて出かけた。遠藤君も同行する。主催者側は当初出席者を三十名、六名とふんでいたところ、五十五名もの盛大な大会になつて欣喜雀躍という。次第に雰囲気も高次元で素晴らしい集いとなつた。大阪は庶民的な都市で解放感があるから、しゃちこ張らずにきさくな態度が保てる。ちょうど米東部のニューヨークランドから西部のカリフォルニアへ来たような感じだ。言語も東京・大阪間では米東西間と似たような相違がある。だから私も田舎弁が出しやすくてリラックスできた。

大会では奇跡発生法を主体に力説した。調査のため焦燥を感じたが、理解頂けたと思う。

他人に勇気と希望を与えるのに抽象的言辞を弄するだけではダメで、具体的な方法と実例を伝えることの重要性を改めて痛感した。

馬山の聖地「奥の院」の調査に行く。六百五十年昔、人種救済の大使命をおびた魔王尊が惑星の金星から降り立つたという伝説の地だ。起伏の激しい山中の小道を本堂から八百メートルほど歩いて行く。一見何の変哲もない小さなお堂がある。遠藤君の透視によると、お堂を斜め右から見るとタマゴ型の銀色の物体が着陸している光景が浮かぶという。約一千年前にここへ宇宙船が着陸したのが伝説化したようだ。

大阪から鞍馬山へ来る途中、私たちの電車の上空に二機の母船と多数の円盤が飛来していたことが写真で判然とした。祝福するためだつたらしい。素晴らしい一日だった。



Letters

本誌を広めよう

高松市 太田育治

ユーロン15号を市内宮脇書店で購入。「アダムスキ」に会った唯一の日本人」を大へん面白く拝見しました。同じ高松市に住む者として、また筆者の向井先生の教え子の一人として感謝しております。

実は私も今年の二月二十六日午前三時ごろ、市内で巨大な光るものに遭遇、UFOではないかと向井先生に報告しています。

中国内戦の危機が核戦争に発展しないことを願っております。そのためにもユーロンを読むことを広げたいと思います。

ユーロンを市内の宮脇書店に限らず他の小さな本屋さんにも置いてあるのでしょうか。潜在購買力はあると思います。UFO宇宙人問題はもう当然のことと思う人が多くなってきています。その後の具体的な問題、例えば病気や病院をなくす運動、貧困、戦争、刑務所をなくす運動など、具体的な問題の提起が「その後」必要になってくるものと思つております。GAPの皆様の御健闘に声援を送ります。

テザートセンター特集に感動

神奈川県 青木美智子

新緑が目にしみる美しい季節ですが、毎日忙しく過ごしていらつしやることと存じます。ユーロン15号のテザートセンター特集に大変感動

ユーロン広場



投稿歓迎 文字数を問わず。匿名発表可なるも住所氏名明記のこと。

しまして、心にジーンとしみ渡るような深い感動が日増しに強くなりますので、ついにペンを取つてしまいました。先生はじめ皆さま方の手記を拝見していますと、私も実際にデザートセンターにて先生の笑顔を見つめにしているような気になつてしまひました。「何かを一筋」ということはなんて美しいのかと、それにまもしてどんなにお喜びでらしたかと思いました。本当に疲れさまでございました。

坂本さんご夫妻といいますと、以前の奥様の手記「宇宙的家族のUFO空襲の日々」(本誌14号に掲載)にも大変感激しましたが、この方のまわりの方々が次々と変化してこられたのは素晴らしいなあと思います。遠藤さんの記事にも大変刺激されまして少しずつレッスンを続けています。

このところUFOを全く見ることなく、見離されつつあるのかなと思うたび、これこそがレッスンなんだ自分に言ひ聞かせて、あの中学のころ毎晩時間も外に立つて空中に呼びかけていたころを思い出し、また続けてみようかと考えています。

私はのんびりやで出来のよくない生徒ですが、UFO側もいつかあきらめて(?)姿を見せてくれると信じています。

人々に夢と希望を与えるたい

秋田市 坂本貢一

いつもお手紙をありがとうございます。それに加え、またもやご署名入りの本を戴き感激しています。先月末から超多忙の日が続き、今、急ぎの翻訳の仕事をひとつ抱えていまして残念ながらまだ読めないです。今月の末には落ち着くと思いますので、そのとき読むの楽しみにしています。

さて、ご存知のように、やつと薬屋をやめて翻訳に専念出来ることになりました。今はとても晴れればとしたりして、今はとても晴れればとしました。翻訳家になつたといふよりも、本格的勉強を始めたという方がまだ正しいと思います。

実は私が翻訳家になることを決意したのは、あなた、お父さんがいたからなんです。(編注)坂本夫妻は編者をいつも「お父さん」と呼ぶ。あなたはアダムスキ全集や、ユーロン等を通して、さまざまな素晴らしさを世の中の人々に提供してきました。それらの書物に接して、またお父さん自身にも接して、同じような仕事が自分にも出来たらどんなに幸せだろうかと考えたのです。もちろんあなたがしてきたこと、そして今もしていることは、あまりにも物凄いことなので、それに近づくことすら大変なことだと思います。

ただがしてきましたように、少しでも明る

大阪府 口ノ町一男
奇跡的治療に驚喜
大阪府 口ノ町一男

本日五月二十一日(大阪支部大会の日)はまさに私達にとって「星の時間」ともいべき最高に輝く一日となりました。私達のためにわざわざ貴重なお時間を頂いて本当にありがとうございました。先生達と別れ

からも妻はしばらくの間、あまりの有難さに喜びの涙をとめることは出来ませんでした。

三ヵ月前に夢にまで見た先生との面会はここに実現することが出来たのです。夫婦そろつて、しかも子供達も含めて、さらに遠藤様や平塚様の暖かいお出迎えを頂いて夢のようです。全てに感謝申し上げます。先生や遠藤様の強烈なプラスの想念に私は完治に向けて新しい一步を踏み出すことができました。本当にありがとうございました。

私は完治に向けて新しい一步を踏み出すことができました。本当にありがとうございました。

編法

大阪支部の会員、口ノ町一男氏の

奥さんの穂子さんは、かねてからエバンス疾患群という血液に関する難病にとりつかれて死の瀕に横たわっていた。病院の治療も限界に達して、奥さんの全身に吹き込んだの見離された状態であった。思いあまつた口ノ町氏は編者に救いを求めてきた。氏の奥さんに対する深く美しい愛情に打たれた編者は、ただちに

ドとイメージ法を夫妻で応用するようになると口ノ町氏に伝えた。

以来、満三ヶ月にして奇跡的に回復し、大阪支部大会当日は病院の許可を得て編者が滞在する新阪急ホテルのロビーまで夫妻で訪ねてきた。

この驚異的治療の原動力は春川氏の強烈な遠隔思念にある。そして口ノ町夫妻のひたむきな治そうという意欲と、必ず治る!という強固な信念をミラクルワードとイメージ法によつて奥さんの全身に吹き込んだのも有効だったようだ。

春川氏は稀代の超能力者だが、これはすべて他人を援助するため応用されている。そして奇跡的に難病を治した実例は他にも多数あるが、公開しないために一般では知られていない。他人を助ける超能力が本当の超能力だろう。



1989年度
あなたに贈る
愛と幸せのための超能力開発セミナー

日本GAP総会

1989 GAP-JAPAN GENERAL ASSEMBLY

今年も日本GAP総会を盛大に開催します。今回は超能力者として第一線で活躍中の3名の方にご登場をお願いし、人間の無限の能力開発指導セミナーとしました。特に秋山眞人氏はテレビ出演、著書等で知られるわが国トップクラスの大超能力者で、宇宙問題にも精通し、日本GAPの有力な支援者です。この総会により皆様が絶大な勇気と希望と信念を持ち、素晴らしい人生を開拓されると確信致します。この機会をお見逃しなきよう多数ご来場下さい。

日本GAP役員代表 篠 芳 史

	総 会	大 夕 食 会	東京ディズニーランド観光
日 時	9月23日(土) <二日連休の初日> 午後1:00→5:30	9月23日(土) 午後6:45→9:30	9月24日(日) <連休の2日目> 午前9:00銀座キャピタルホテルを出発
会 場	<p>「銀座ガスホール」 東京都中央区銀座7丁目9番15号 ☎(03)573-1871</p> <p>J R 有楽町駅の銀座側下車。駅を背にして右方へ歩き、西武デパートと阪急デパートの間の箇抜け(通称マリオン)を通り抜けで有楽町の大通りへ出ます。左方の銀座通りまで徒歩約3分。三越デパート前の十字路を右折し、銀座中央通り(いわゆる銀座通り)を8丁目の方向へ約250m歩くと、左側に「銀座ガスホール」があります(ヤマハ楽器店の左隣)。入口より奥へ行き、エレベーターで6Fへ上がって下さい。有楽町駅より徒歩約10分。</p> <p>*当日、銀座通りは歩行者天国になるため車は通行止めになりますが、晴海通りは通行可能。</p>	<p>「ホテル浦島」 2F大ホー ル「菊の間」 東京都中央区晴海(はるみ)2丁目5番23号 ☎(03)533-5331</p> <p>銀座4丁目の交差点から晴海行きのバスに乗車10分、徒歩40分、タクシー10分。</p> <p>【注意】 夕食会は時間の制限がありますので時間厳守をお願いします。</p>	<p>電車利用が早く便利です。朝9:00に全員でホテルを出て、すぐ近くにある地下鉄有楽町線の新富町(しんとみちょう)駅から電車で新木場(しんきば)駅へ行き、ここでJ R 京葉線に乗り換えて舞浜(まいはま)駅で降ります。ラントまで徒歩数分。片道交通費は合計¥270。ディズニーランド内には広大な敷地に多数の遊戯施設があり、団体行動は困難ですから、少人数のグループか個人で周遊します。退園は各自自由ですが、希望者のみ所定の時間に出口の所に集合して別な場所で夕食会を開きます。(ランド内に荷物預り所あり)</p> <p>*お子様づれ大歓迎!</p>
会 費	¥4,000 (会場受付でご納入下さい。ハガキで大夕食会の申込をされた方はその代金も併せてご納入下さい) 中・高生は¥2,000、小学生以下は無料。	¥8,000 (総会入場時に大夕食会の会費を納入済の方は受付でチケットをお見せ下さい。未納の方は受付でご納入下さい)	入園利用料は「パスポート」(1日限り、各施設乗り放題)が大人¥4,400、小人(4歳~小学生)¥3,000、「ビッグテン」(10カ所のみ利用可能)大人¥4,100、小人¥2,700。
プログラム	<p>1:00 司会者挨拶 篠 芳史 1:05 挨拶 日本GAP会長・久保田八郎 1:15 ↓ 講演「超能力開発の基礎レッスン」 齊藤庄一(日本GAP東京本部役員) ——10分間休憩——</p> <p>2:15 ↓ 講演「宇宙哲学を生かした超能力開発法」 遠藤昭則(日本GAP東京本部役員) ——10分間休憩——</p> <p>3:15 ↓ 講演「超能力開発の新しい視点」 秋山眞人(ポストンクラブ主宰・日本GAP特別会員) ——10分間休憩——</p> <p>4:35 ↓ 質疑応答(講師3名出席)／花束贈呈。 5:20 5:30 終了</p>	<p>6:45 会長挨拶 7:00 乾杯音頭 田 中 正 (東京本部役員) 祝宴、演芸 9:30 閉会</p> <p>*演芸は例によってすべてGAP会員のプロ級芸達者が出演。佐藤春雄(秋田)の秋田民謡(津軽三味線と太鼓の伴奏)/坂本貢一・茂子夫妻(秋田)のアメリカ民謡コーラス/升田裕子(広島・音楽大学声楽教授)の歌曲独唱/ロックバンド「スカウトシップ」(枝川文好、他8名・東京)の楽団演奏等、豪華出演陣。</p> <p>*勝手ながら飛び入り出演はお断り致します。</p>	<p>■この総会は非会員の方でも入場できますので、お誘い合わせの上、多数ご来場下さい。ただし役員の指示に従い静粛にお願い致します。</p> <p>■総会入場時に質問用紙を渡しますから、3人の講師の内から回答者を指名の上、質問を書いて係員にお渡し下さい。質問多数の場合は当方で選ばせて頂きます。</p> <p>■総会講演のテープ録音、ビデオ録画、ストロボ付き写真撮影を許可しますが、講演と質問応答の内容一切の著作権は日本GAPに帰属しますので、日本GAP発行刊行物以外の刊行物には掲載できません。</p> <p>■大夕食会に出席される方は、ある程度きちんとした服装をお願いします。</p> <p>■大夕食会中に3人の講師をつかまえて質問することは固くお断りします。</p>
申込	<p>9月23日夜の大夕食会、24日の東京ディズニーランド観光、宿舎希望の方は下記の要領でお申込下さい。</p> <p>(1) 大夕食会=ハガキに「大夕食会出席申込」と記して下記の申込先へ9月21日までにお申込下さい(必着)。</p> <p>(2) ディズニーランド観光=9月21日までにハガキで下記へお申込下さい。</p> <p>(3) 宿舎=「銀座キャピタルホテル」をあっせんします。 東京都中央区築地(つきじ)3-1-5 ☎(03)543-8211。 地下鉄有楽町線の有楽町駅から二つ目の新富町(しんとみちょう)駅下車すぐ。 J R 有楽町駅よりタクシー5分。 徒歩20分。 中央区役所ウラ。 シングル=1泊朝食付¥6,800(税込) (9月22日は30室、9月23日は80室予約済) ツイシなし(満室) 希望者はハガキに①宿泊日②住所氏名電話番号を明記して9月10日までにお申込下さい。</p> <p>●申込先=上記の申込はすべて下記へ。</p> <p>〒150 東京都渋谷区東3-24-9 サンイーストビル2F ワールドセブントラベル株 田中正(宛) ☎(03)499-2461 夜間は田中自宅の (0474)77-4728</p>		

ジョージ・アダムスキー全集

久保田八郎訳 全8巻 B6判・本文上質紙・厚手表紙箱入豪華本

偉大な進化をとげた惑星の人々とコントラクトしたアダムスキーの驚くべき体験と、深遠な宇宙的思想を伝えたこの全集は、人類に宇宙的覚醒と真の生き方を示す最高の指針。UFOと宇宙哲学の研究者必読の名著です。

1 宇宙からの訪問者

三三八頁 二五〇〇円

ジョージ・アダムスキーのあまりにも有名な体験記。一九五二年十一月二十日に米カリフォルニア州の砂漠で金星人と会見した体験「空飛ぶ円盤は着陸した」を本書の第一部として、円盤や母船に乗り、多数の異星人と会見した実録を第二部とした驚異的な書物。本文全集の中心をなす最重要なもの。

2 UFO問題の真相

二六二頁 二五〇〇円

第一巻の補遺的なUFOと異星人問題の真相を詳述。特に円盤の推進理論や、製図とUFOとの関係を述べた箇所は重要である。第二部はアダムスキーの世界講演行。各国のGAPグループの活動と反応や、サイレンス・グループの妨害が克明に描写されている。

3 UFOとアダムスキー

三五〇頁 二五〇〇円

アダムスキーが実際に体験した母船による宇宙旅行を詳細に述べた「金星旅行記」と「土星旅行記」から成る本書第一部「死と空間を超えて」が圧巻。またアダムスキーが存命中に日本GAP会長・久保田八郎に送り続けたぼうだな情報と書簡類を収録して第二部とした。

4 宇宙哲学

一四八頁 一三〇〇円

人間のセンス・マインド(宇宙の心)と宇宙の意識との一体化を中心思想として、人間を進化させる方法を明快に理路整然と説く。この哲学は、人間の意識と物質との関係の解明と应用とをめざす21世紀の科学の最先端をゆくもので、アダムスキーの哲学関係三著作の中となるもの。

発行所宛直接注文の場合に限り、左記のように定価・送料をサービスいたします。
一冊注文 ↓ 送料無料。書籍代のみご送金下さい。
☆第一巻より第四巻まで一括注文(正価 八八〇〇円)
第一巻より第八巻まで一括注文(正価 一六九〇〇円)
↓ 特別セット価格 八九〇〇円(送料共込)
全巻セット価格 八九〇〇円(送料共込)

5 テレパシー開発法

一九〇頁 一八〇〇円

人間に内在する宇宙的な能力のうち、テレパシー能力の開発法を説いたもの。特に目・耳・鼻・口の四官能をコントロールして、内部の意識から来るテレパシックな印象を感じ受ける方法を詳しく解説。他人の無言の会話をを行う技術を述べた。類書の全く存在しないガイドブック。

6 生命の科学

一一〇五頁 一八〇〇円

アダムスキーが他界数年前に出した「Science of Life」と題する十二分冊の講義と、書評して「書にまたがったもの。アダムスキーの宇宙の哲学の総まとめての大金塔塔で、真実のテレパシーと心靈的な靈界通信の相違を明確にし、心靈現象への接近を警告する画期的な書」。

7 アダムスキー論説集

三七〇頁 二五〇〇円

日本GAP機関誌に掲載されたのみ、単行本化されていなかったアダムスキーの論説や講演録等を収録してある。第五部にはアダムスキー研究家として名高い久保田八郎が度数濃米にてアダムスキーの高弟たちとインビュートで講義を受けた記事を収録。アダムスキーの偉大な面が描写されている。

日本GAP機関誌・季刊

UFO contactee

106号 秋季号

編集発行人 久保田八郎

発行所 日本国GAP

〒133 東京都江戸川区本一色1-12-1

☎ 03-651-0958 511-0958

振替 東京4-359-12

平成元年七月二十五日発行

* 本号はベルギーにおけるアダムスキーの対話特集として連載第一回分を掲載しました。知られる秘話が続出して読者を唸らせます。今後をお楽しみに。

●「アダムスキー」に会った唯一の日本人の連載第一回も筆者・向井氏のアダムスキーに連絡取れた痛快かつ真摯な長文の書簡に打たれました。だからこそアダムスキーが会見を承諾したのでしょう。これも貴重な記録です。

●編者の拙文「宇宙哲学で奇跡を起こす方法」はもうと長くなる筈でしたが、スペースの都合により簡略にしました。しかしこの記事だけでも起死回生のインパクトを受ける人がいるかもしれません。それを心から望みます。

●遠藤氏の超能力開発講座第三弾「ヒーリングとテレパシー」も他人をひそかに助けています。誰もが死ぬのが恐いですが、それでも死回生のインパクトを受ける人がいるかもしれません。それを心から望みます。

●UFO「宇宙からの完全な証拠」のダニエル・ロス氏は六月の後半、デンマークGAPの招待で講演に行きました。このところ各地をとび回って大活躍中のようです。

●UFOの予告どおり本年九月にも盛大な総会を東京で開催します。今回は人間に内在する偉大なパワーを引き出すための能力開発セミナーとしますので有益な内容です。非会員でも入場できますから多数ご来場下さい。

●UFO自撃報告、UFO写真、超能力開発

体験、宇宙哲学研究、宇宙科学等の原稿を募集しています(心靈的なものはご遠慮下さい)。採用分には謝謝を呈します。

●本誌は多数の会員ボランティアにより全国

の主要書店に卸されています。この協力下さい。

説明書をお送りします。

編集後記

平成元年度

日本GAP全国月例研究会案内

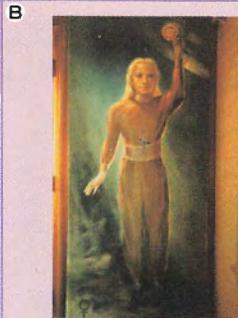
支部名	日 時	会 場	会 費	プログラム・テキスト
東京本部	毎月第2土曜日 午後1:30→6:00 ※8月のみ第4土曜日(26日)に変更。会場は同じ。 ※9月は平常どおり月例会を開催。 ※11月のみ第1土曜日(4日)に変更。会場も皇居北の丸公園「科学技術館」6F第1会議室に臨時変更。詳細は本号39頁「GAP短信」。	上野公園内「東京文化会館」4F会議室。 ☎03-828-2111。JR上野駅「公園口」下車。改札口の真向かい。 連絡先=日本GAP本部 ☎03-651-0958	会場費 ¥500 セミナー受講料 ¥1000 計 ¥1500	1:30→2:10 会員による体験講演。 2:15→3:30 久保田会長による講義。 テキスト=「生命の科学」「アダムスキーライフ」 テレパシー開発法、テレパシーレッスン、 近況報告、自己紹介、質疑応答。
大阪支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	大阪府吹田市出口町4丁目「吹田市民会館」 ☎388-7351。JRまたは阪急電車吹田駅下車。 連絡先=平塚和義 ☎06-436-3478	¥300	東京月例会における久保田会長の講義録音テープを公開。 テキストその他=東京本部に同じ。
新潟支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	長岡市今朝白1丁目「けさじろ荘」 ☎0258-33-7400。長岡駅東口より徒歩5分。無料駐車場あり。 連絡先=星 富治夫 ☎02579-2-5562	¥500	同 上
名古屋支部	毎月第2日曜日 午後1:00→4:30	名古屋市中区金山1丁目5番1号「名古屋市民会館」特別会議室。 ☎052-331-2141㈹。 JR東海・名鉄・地下鉄の金山橋より徒歩5分。 連絡先=林 国宣 ☎0586-45-6468	¥300	同 上
仙台支部	毎月第4日曜日 午後1:10→4:20	仙台市青葉区1番町4丁目「141(イチヨンイチ)ビル」内5F 「エル・パーク仙台セミナー室」☎022-268-8300。仙台駅よりバスで県庁市役所前下車、三越デパート隣。 連絡先=笠原弘可 ☎022-295-0725	¥300	同 上
山形支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※8月より会場を右記のとおり天童市に変更。	山形県天童市老野森1丁目1-1「天童市中央公民館」 ☎0263-54-1511。天童駅から徒歩10分、タクシー4分。天童市役所の裏側。 連絡先=柴田光明 ☎0233-25-3261	¥300	同 上
札幌支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30	中央区北一条西13丁目「札幌市教育文化会館」会議室。 ☎011-271-5821。 連絡先=高野省志 ☎011-571-9874	¥500	同 上
旭川支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	旭川市6条通4丁目「勤労者福祉会館」2F小会議室 ☎0166-26-1304。 連絡先=川上三秀 ☎0166-61-0044	¥500	同 上
青森支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	青森市松原「青森市民文化センター」教養室。 ☎0177-34-0163。 連絡先=田村嘉彦 ☎0177-38-0416	¥500	同 上
沖縄支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	那霸市寄宮1-2-1「那霸市民会館」1F、A会議室。 ☎0988-55-5081。与儀公園の隣。 連絡先=比嘉政広 ☎09893-2-2889	¥500	同 上
秋田支部	毎月第2日曜日 午後1:00→5:00	秋田市八橋運動公園1-2「中央公民館」趣味の間。 ☎0188-24-5377。 連絡先=伊藤正治 ☎0188-62-2831	¥200	同 上
横浜支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	横浜市中区万代町2-4-7「横浜市技能文化会館」7F、703号室。 ☎045-681-6511。JR関内駅、地下鉄・伊勢崎線・町駅より徒歩3分。 連絡先=清水 正 ☎0488-66-7048	¥500	同 上
茨木支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00 ※7月のみ第5日曜日(30日)に変更。	水戸市梅香1-2「三の丸公民館」小集会室。 ☎0292-24-6600。水戸駅北口より徒歩10分。 連絡先=清水勝一 ☎0292-73-1903	¥300	同 上
長野支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00 ※12月のみ第3日曜日(17日)に変更。	塙尻市大門7番町「塙尻総合文化センター」第1会議室。 ☎0263-54-1253。 連絡先=博田文喜 ☎0263-58-8510	¥500	同 上
紀南会	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※代表が長期療養のため月例会は当分休会。	和歌山県新宮市新宮6682-1「新宮市福祉センター」1F相談室。 ☎0735-21-2760。JR西日本新宮駅下車、徒歩5分。 連絡先=松口幸之助 ☎0735-34-0605(呼・田中)	¥300	同 上
栃木支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	鹿沼市役所裏「御殿山会館」1F小会議室。 ☎0289-64-4334。JR鹿沼駅から西へ1.5km。東武新鹿沼駅から北へ1.5km、市内行きのバスに乗り天神町下車。徒歩5分。 連絡先=渡辺克明 ☎0289-62-3319	¥500	同 上
南九州支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※6月より旧薩摩会を南九州支部と改称	鹿児島市与次郎2丁目3-1「鹿児島市民文化ホール」 ☎0992-57-8111。 連絡先=鶴田清則 ☎0993-25-4398	¥500	同 上
高松支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	高松市玉藻町9番10号「香川県民ホール」5F第1会議室。 ☎0878-23-3131。JR高松駅より徒歩7分。 連絡先=鶴 高明 ☎0878-88-1334	¥400	同 上

A あなたも超能力者になれる! テレパシーESPカード

テレパシー、透視力開発用のESPカードはアメリカのニューヨーク大学で科学的に開発されたゼナーカードが主体になっています。色カードは目を閉じたまま各カードの上に手をかざして色の発する波動を感じながら色を言いあてる練習に使用するものです。堅牢なプラスチック製。



50枚1セットケース入り 使用説明書付き
¥4,800 送料¥360(2~5個¥670)



①オーソン肖像写真 ②シンボルマーク

①1952年11月20日、カリフォルニアの砂漠でアダムスキーが劇的な最初のコンタクトをした金星人は「宇宙からの訪問者」第二部でオーソンという名で出てくるが、これをアリス・ウエルズのスケッチにもとづいて女流画家ガイ・ベッツが描いた名画の写真。(キャビテ判・カラー写真) 上半身写真もあり。定価¥600
②この金星のシンボル・マークの中央にある眼は“すべてを見透す眼”で、宇宙の意識をあらわし、周囲の四層の星は人間のマインド(心)の発達状態をあらわしている。(サービス判・カラー写真) 上記2点共、重要な資料となるものです。他所では入手できません。

①¥600 送料¥120 } 一括注文の場合送料¥120
②¥300 送料¥62 }

C 大いなる信念と勇気を与えるGAP能力開発テープ

毎月行なわれている日本GAP東京本部月例研究会のなかから、日本GAP会長・久保田八郎先生が宇宙的フィーリングをもってアダムスキーの名著を解説した講義などが収められたテープ。ドライブ中や、通勤・通学電車内で、あるいは就寝前に聞いたりすれば絶大な信念と勇気がわき起ります。※8月からテキストが変わります(月例会案内参照)。

■日本GAP東京本部月例研究会録音テープ①

内容=「宇宙哲学」「アダムスキー論説集」解説講義/近況報告/質疑応答(一部)

テープ1本(120分) ¥1300 送料¥200

*このテープは日本GAPでは取り扱いません

◆申込先◆ 〒133 東京都江戸川区本一色1-24-3-202 松村芳之 ☎03-653-9387 振替・東京0-162644

■日本GAP東京本部月例研究会録音テープ②

内容=「宇宙哲学」「アダムスキー論説集」解説講義/テレパシー実践講義/テレパシー練習(テキスト付)/近況報告/質疑応答(全部)

テープ2本(90分×2本) ¥1900 送料¥250

会員募集

日本GAPはUFO研究界の大先駆者・久保田八郎が故アダムスキー氏と提携して1961年に創立したわが国最大のUFOと宇宙哲学の研究大集団! 多数の会員と共に宇宙的人間を目指そう! 入会案内書をハガキで日本GAPへ申し込もう!

—日本GAP—



GAP特製 テレホンカード

第2弾テレホンカードは大好評裡に品切れ。ここにデザイン一新の上GAPが放つ第3弾! アダムスキー撮影の名高いスカウトシップの写真を美しい金色であしらった優美なカードは見るだけでも宇宙の高次元なフィーリングを起こさせて心がなごみます。

1枚¥1500 送料1枚まで¥120

会員バッジ



ジョージ・アダムスキーが金星人から与えられた唯一のバッジと形、色共全く同様に複製した径18mmの丸い優美なバッジです。薄青色地に金色のシンボルマークが浮彫りされており、縁も金色です。表面には透明樹脂がかけてありますからキスがつかず、光を反射してキラキラ輝きます。男性用は裏側が心棒ネジ式め、女性用は裏側が安全ピン式です。ぜひお求め下さい。ご注文のさいは男性用・女性用の別を明記して下さい。(無断複製を禁じます)

1個¥2000 送料4個まで¥120

F

幸せを呼ぶ

GAPシール

シールを作成しました。WITH COSMIC CONSCIOUSNESS(宇宙の意識と共に)の文字がシンボルマークを取り囲む優雅なデザイン。径6cm、5cm、4cm、3cm、2cmの5枚1セット。青と赤の2種類あります。自動車の窓、運転台、カバン、書籍・ノートの表紙、その他の持ち物に貼つておけばいつも宇宙のフィーリングに満ちて気分さわやか。良き想が良い物事を招きよせます。表面光沢。防水加工。裏面のり付。ご注文の際は青、赤の区別をお忘れなく。

1セット¥900 送料5セットまで¥62

◎を除く商品の 申込先・申込方法

住所・氏名・電話番号・商品名・種類・色・個数等を明記の上右記へ郵便振替または現金書留でお申し込み下さい。

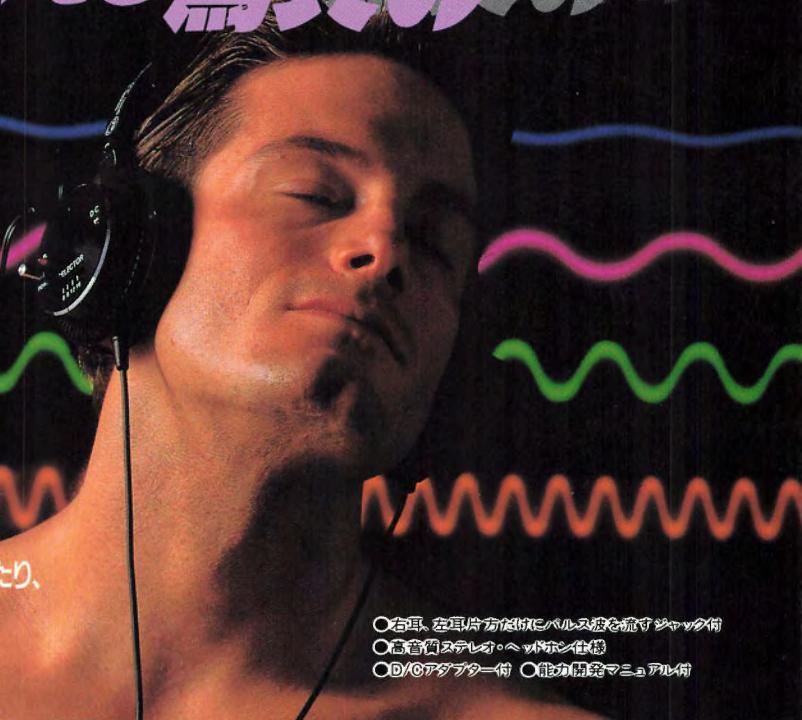
〒133 東京都江戸川区本一色1-12-1-511 日本GAP
振替/東京4-35912 ☎03-651-0958

*商品価格に消費税は含まれてありません。

潜在能力が目覚める
『記憶力・集中力の増大』『知能の向上』
真の自分が目覚める
『恋愛・人間関係成功』『強い自分の養成』

あなたを変える驚異のヘッドホン

アメリカで数年前から話題になっている、
『大脳の脳波を誘導し、
人間の無限の可能性を引き出す
というヘッドホンが遂に日本へやってきた。
普通のヘッドホンと同じように
音楽等を聴いているだけで
内蔵されたパルス波発生装置が作動して
大脳を心地よく刺激してくれる。
何度も愛用しているうちに
知らず知らずのうちに潜在能力が開発されたり、
精神力が強化されてしまうというしきけ。
一度、試してみる価値はある。



- 右耳、左耳片方だけにパルス波を流すジャック付
- 高音質ステレオ・ヘッドホン仕様
- D/Aアダプター付 ○能力開発マニュアル付



シンクロ・アルファーの多様な効能

■シンクロ・アルファーは4種類のパルス波の周波数モードの切換えができる。

α波音楽テープ無料プレゼント中!
今、お申込みの方にもれなく、大脳を活性化させ心をなませるアメリカでも人気のα波音楽テープを一本無料でプレゼント。

商品名・住所・氏名・電話番号・年令・職業・一括分割の別を明記の上、左記までハガキか電話で。

■申込み方法

一括払・一九八〇〇円(送料八〇〇円)
分割払・三、五〇〇円×6回(送料同)

7日間無料試用できる

この「シンクロ・アルファー」ステレオヘッドホンを今なら7日間無料試用できる。

■価格(消費税3%は別)

利用できる。

その他、テープ教材の記憶学習用に、安眠誘導あるいは眠気防止用に幅広い目的で

①自分的好きな音楽を聴く——音楽鑑賞しながら、潜在脳力開発や自己開発ができる。

②アルファ一波音楽テープ、サブリミナルテープ、自己暗示テープを聞く——これらのテープの効果をより「層引き出す」ことができる。

③勉強中に利用する——BGM音楽をかけながら、あるいは全く無音の状態で使用し、学習能率を上げ記憶効果を倍増させる。

④読書中や他の事をやっている時に装着する。その他、テープ教材の記憶学習用に、安眠誘導あるいは眠気防止用に幅広い目的で

- ①安眠 深いくつろぎ・性格改善
- ②瞑想・直観力開発・知能開発・精神力強化
- ③記憶力・集中力強化・学習能率向上
- ④大脳の覚醒・自信・意欲・行動力の強化

電話 東京03-479-5864
(受付 AM8~PM24日・祭日も受付中)
東京都港区南青山1-26-4
アメリカンライブラリー社 UO⑦保